

平成30年度

# 植物防疫事業年報

平成31年(2019年)3月

滋賀県病害虫防除所

# 目次

第1	病害虫防除所事務分掌表	1
第2	病害虫発生予察事業	
1	事業の目的	2
2	事業対象作物および病害虫	2
3	気象概況	4
4	普通作物病害虫発生予察事業	
(1)	イネ	5
(2)	ムギ	31
(3)	ジャガイモおよびサツマイモ	34
(4)	ダイズ	36
5	野菜(露地)病害虫発生予察事業	39
6	果樹等病害虫発生予察事業	
(1)	果樹	54
(2)	チャ	62
(3)	花き(キク)	71
7	病害虫防除員	72
8	滋賀県病害虫防除所ホームページ	75
9	本年度新たに発生が確認された病害虫	76
10	病害虫の診断および生態調査	76
第3	重要病害虫の特別防除等推進事業	
1	チチュウカイミバエの侵入警戒調査	79
2	ウメ輪紋ウイルスの発生状況調査	79
3	キウイフルーツかいよう病(Psa3系統)の発生状況調査	79
第4	農薬安全使用等総合推進事業	
1	農薬安全使用対策	80
2	農薬販売者の届出状況	80
3	農薬取扱者への巡回点検・指導の結果	80
第5	病害虫発生予察情報発表内容	
1	予報	81
2	注意報および警報	91
3	特殊報	93
4	防除情報	93
第6	試験成績	98

注：本文中の「平年値」とは、特に記載のない限り平成20年から平成29年の平均値を指す。  
表中の「－」は、データの欠測または該当なしを示す。

# 第1 病虫害防除所事務分掌表

	所次	長	江	波	義	成	
分 掌 事 務	主 任		豊	岡	幸	二	
1. 所事務の総括に関する事 2. 関係機関および団体との連絡調整に関する事	豊岡次長					下川主幹 沢田主任主事	
3. 植物防疫事業に関する事 4. 予察情報作成会議に関する事							下川主幹
1. 公印の管理に関する事 2. その他庶務に関する事							
1. 予算の執行および決算に関する事 2. 諸給与・その他経理に関する事 3. 文書の收受編さんに関する事							川上主事 中山主事
1. 病虫害発生予察の計画および情報作成に関する事 2. 病虫害防除員に関する事	下川主幹					近藤(博)主査 小幡技師	
1. 農薬取締法に関する事 2. 作物の発生予察に関する事	重久副主幹					下川主幹 近藤(博)主査 塚本主任技師	
1. 地域発生予察の取りまとめに関する事 2. 薬剤抵抗性害虫検定および虫害の診断に関する事 3. 野菜・花の発生予察に関する事	近藤(博)主査					重久副主幹 小幡技師	
1. いもち病発生予察システムに関する事 2. 病害の診断に関する事 3. 薬剤耐性菌検定に関する事	柴田技師					下川主幹 小幡技師	
1. 病虫害発生量の調査報告に関する事 2. 総合的病虫害管理(IPM)の推進に関する事 3. 予察手法調査手法の検討事業に関する事	塚本主任技師					重久副主幹 柴田技師	
1. 予察灯およびトラップ調査等に関する事 2. ホームページ等による情報提供に関する事	小幡技師					塚本主任技師 柴田技師	
1. 果樹の発生予察事業および防除に関する事	小嶋副主幹					重久副主幹	
1. 茶の発生予察事業および防除に関する事	近藤(知)副主幹					近藤(博)主査	
1. 県南部地域における発生予察事業に関する事	近藤(博)主査					塚本主任技師	
1. 大津・南部地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	村井主査					近藤(博)主査 塚本主任技師	
2. 甲賀地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	落合技師						
3. 東近江地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	野口副主幹						
1. 県北部地域における発生予察事業に関する事	柴田技師					小幡技師	
1. 湖東地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	改田主査					柴田技師 小幡技師	
2. 湖北地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	青木技師						
3. 高島地域の病虫害発生情報収集および防除指導に関する事	宮村主幹						

## 第2 病害虫発生予察事業

### 1 事業の目的

農作物の生産安定と品質の向上を図ると同時に環境に優しい病害虫防除を推進するためには、病害虫の防除を適時かつ効率的に行う必要がある。

このため、発生予察事業は広域に発生し、急激にまん延して農作物に重大な被害を与える病害虫について、その発生動向等を調査し、防除を要する病害虫や防除対策に関する情報を農業者等に提供することにより、病害虫の防除を効果的かつ効率的に適期に行い、その被害を防止して農業生産の安定と助長を図ることを目的とする。

### 2 事業対象作物および病害虫 (H28年度見直し、指定有害動植物は交付金の対象)

作物	対象作物	指定	有害動植物名	
		指定外	病害	虫害
普通作物	イネ	指定	いもち病、紋枯病、稲こうじ病、もみ枯細菌病（苗腐敗病）、ばか苗病、縞葉枯病	イネミズゾウムシ、ニカメイガ、ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロコバヤ、斑点米カメムシ類（ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、コバネヒョウタンナガカメムシ）、コブノメイガ、フタオビコヤガ
		指定外	白葉枯病、黄萎病、ごま葉枯病	イネドロオイムシ、イチモンジセセリ、コバネイナゴ、イネクロカメムシ
	ムギ	指定	うどんこ病、赤かび病	
		指定外	さび病類、黒節病	
	ダイズ	指定		アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ、ダイコンアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ）、吸実性カメムシ類（ホソハリカメムシ、イチモンジカメムシ、アオクサカメムシ）、ハスモンヨトウ※、オオタバコガ※
		指定外	べと病、葉焼病	フタスジヒメハムシ、ハダニ類、タバコガ類（オオタバコガを除く）
野菜	トマト	指定	灰色かび病、疫病、葉かび病	アブラムシ類（モモアカアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、コナジラミ類（タバココナジラミ、オンシツコナジラミ）、オオタバコガ※
		指定外		タバコガ類（オオタバコガを除く）
	ナス	指定	うどんこ病、灰色かび病	アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）、アザミウマ類（ミナミキイロアザミウマ）、オオタバコガ※
		指定外		ニジュウヤホシテントウ類、タバコガ類（オオタバコガを除く）
	ばれいしょ	指定	疫病	アブラムシ類（ワタアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ）、ハスモンヨトウ※
		指定外		ニジュウヤホシテントウ類
	キュウリ	指定	うどんこ病、灰色かび病、べと病、褐斑病	アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、アザミウマ類（ミナミキイロアザミウマ、ネギアザミウマ）、コナジラミ類（タバココナジラミ、オンシツコナジラミ）、オオタバコガ※
		指定外		ハダニ類
	すいか	指定		アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ）
		指定外		ハダニ類

作物	対象作物	指定	有害動植物名	
		指定外	病害	虫害
野菜	キャベツ	指定	黒腐病、菌核病	アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ダイコンアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、オオタバコガ※、ヨトウガ※、コナガ※
		指定外	軟腐病	タバコガ類（オオタバコガを除く）、カブラヤガ（ネキリムシ類）、モンシロチョウ、ハイマダラノメイガ
	はくさい	指定		アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ダイコンアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、オオタバコガ※、ヨトウガ※、コナガ※
		指定外	軟腐病	タバコガ類（オオタバコガを除く）、モンシロチョウ
	だいこん	指定		アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、ヨトウガ※、コナガ※
		指定外		
	ブロッコリー	指定		ハスモンヨトウ※、ヨトウガ※、コナガ※
		指定外	黒腐病	
	ねぎ	指定	さび病、黒斑病、べと病	アブラムシ類（ネギアブラムシ）、ハスモンヨトウ※、アザミウマ類（ネギアザミウマ）、シロイチモジヨトウ※
		指定外		
	たまねぎ	指定	べと病、白色疫病	アザミウマ類（ネギアザミウマ）
		指定外	さび病	
	ほうれんそう	指定		アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ）、ハスモンヨトウ※
		指定外		
かんしょ	指定		ハスモンヨトウ※	
	指定外			
サトイモ	指定		ハスモンヨトウ※	
	指定外			
花き	キク	指定	白さび病	アブラムシ類（ワタアブラムシ、キクヒメヒゲナガアブラムシ）、アザミウマ類（ヒラズハナアザミウマ、ネギアザミウマ）
		指定外		
果樹	ナシ	指定	黒斑病、黒星病	果樹カメムシ類※（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）、シンクイムシ類（ナシヒメシンクイ、モモシンクイガ）、ハマキムシ類（チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）、アブラムシ類（ナシアブラムシ、ナシミドリアブラムシ）
		指定外	うどんこ病、赤星病	
	ブドウ	指定	べと病、灰色かび病、晩腐病	果樹カメムシ類※（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
		指定外	うどんこ病	カイガラムシ類（クワコナカイガラムシ）、フタテンヒメヨコバイ、コガネムシ類、アザミウマ類（チャノキイロアザミウマ）
	カキ	指定	炭疽病	果樹カメムシ類※（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類（チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）、アザミウマ類（カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ）、カイガラムシ類（フジコナカイガラムシ）
		指定外	円星落葉病、角斑落葉病、うどんこ病	マイマイガ
茶樹	チャ	指定	炭疽病	ハマキムシ類（チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）、ハダニ類（カンザワハダニ）、チャノホソガ
		指定外	もち病、新梢枯死症、輪斑病	チャノミドリヒメヨコバイ、アザミウマ類（チャノキイロアザミウマ）、カメムシ類（ツマグロアオカスミカメ）、クワシロカイガラムシ、チャトゲコナジラミ

※ 作物共通の指定有害動植物については、本県での対象作物ごとに示した。

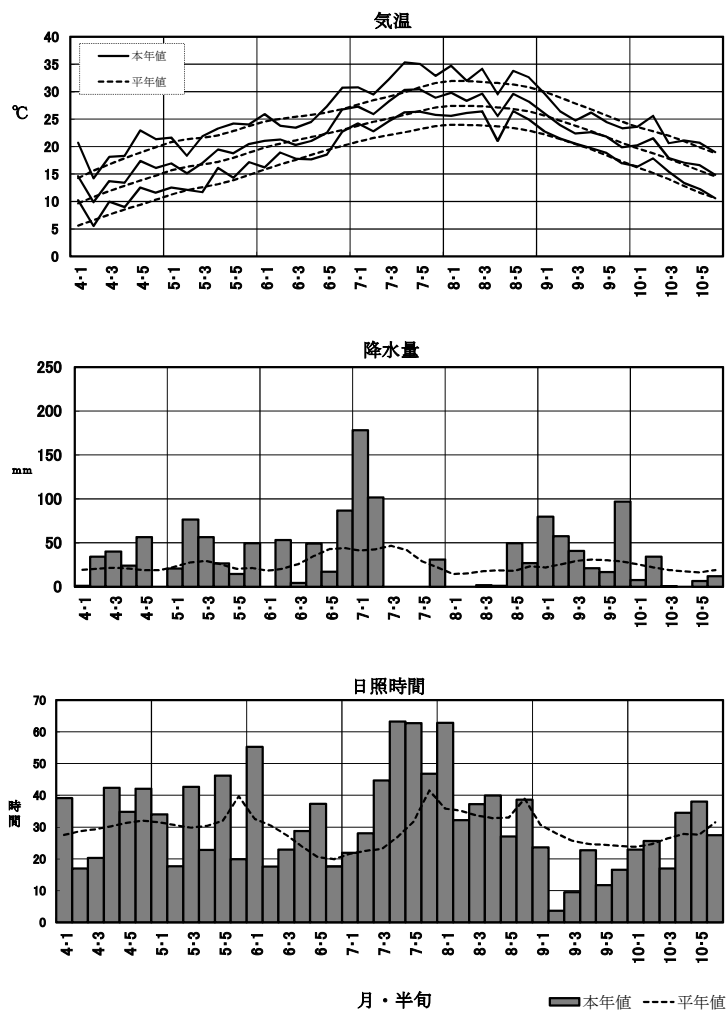
### 3 気象概況

#### (1) 年間の概況〔彦根アメダス観測値〕

- ・平均気温：15.7℃（平年値14.7℃※、H29年14.8℃）※平年値は1981年～2010年の平均
- ・日照時間：平年比110%
- ・降水量：平年比119%
- ・特筆すべき気象として、夏期(6月後半～8月)の気温が平年と比較して、非常に高く推移したことが挙げられる。さらに、7月5日から7日にかけての平成30年7月豪雨の影響により記録的な大雨（3日間計274mm）となった。

#### (2) 稲作期間(4月～10月)の概況〔彦根アメダス観測値〕

- ・平均気温：21.8℃（平年値20.6℃※、H29年21.1℃）※平年値は1981年～2010年の平均
- ・日照時間：平年比108%
- ・降水量：平年比129%
- ・水稻の生育に影響を及ぼした特筆すべき気象としては、6月後半から8月の気温が非常に高く推移したことや7月3半旬から8月4半旬の降水量が少なく推移したこと、大型台風の接近（台風20号、21号）が挙げられる。
- ・梅雨入り：6月5日ごろ（平年値6月7日）、梅雨明け：7月9日ごろ（平年値7月21日）
- ・台風：本県の風雨について影響のあった台風は、台風12号（7月29日最接近）、台風20号（8月23日最接近）、台風21号（9月4日最接近）、台風24号（9月30日最接近）であった。



## 4 普通作物病害虫発生予察事業

イネ、ムギおよびダイズを対象として、主要病害虫を重点的に調査した。その結果に基づき病害虫発生予察情報として、発生予報9回および防除情報4回（ムギ赤かび病、ダイズハダニ類、ダイズハスモンヨトウ、イネ縞葉枯病）を発表した。

### (1) イネ

#### ア 生育概況（近江米情報第49巻第5号P11-12を参考に作成）

5月中旬以降の高温により過繁茂となる傾向が見られた。そのため、有効茎歩合が低下するとともに細莖化し、夏期の異常高温に耐えきれず、籾数の減少による収量低下や白未熟粒等の増加による品質低下が見られた。一方、初期生育が遅れ、還元障害により被害を受けた場合は、十分に分げつを確保できないまま幼穂形成期を迎えることもあった。近畿農政局が平成30年12月10日に公表した県内の作況指数は「99」で「平年並」であった。

農業技術振興センターにおける作況調査<sup>\*</sup>では、移植時の苗質が軟弱であったことから活着が遅れ、初期生育は緩慢であった。それに加えて、還元障害の影響を強く受け、生育が抑制された。6月下旬以降、生育は徐々に回復したものの、「みずかがみ」では最高莖数が平年より少なくなり、「コシヒカリ」および「秋の詩」では最高分げつ期が平年より遅くなった。草丈および主稈葉数は平年並に推移した。

幼穂形成期は「みずかがみ」が平年より2日遅く、「コシヒカリ」が平年並、「秋の詩」が平年より1日遅かった。出穂期は「みずかがみ」が平年より1日遅く、「コシヒカリ」が平年より1日早く、「秋の詩」が平年より3日遅かった。早生品種では幼穂形成期以降の高温により、幼穂形成期から出穂期までの期間が短縮された。「みずかがみ」および「コシヒカリ」は台風20号の影響を受け、平年よりも倒伏程度が大きくなった。「秋の詩」では9月上旬以降の最高気温が低く、日照時間が少なく経過したため、成熟期は平年より3日遅くなった。

「みずかがみ」について、穂数は少なかったものの（平年比91%）、7月中旬以降が高温多照に経過したこと、葉色がやや濃く推移したこと、一穂籾数がかなり多くなったため（同比115%）、 $\text{m}^2$ あたり籾数は多くなった（同比105%）。登熟歩合は平年並（同比99%）で、千粒重はやや小さくなった（同比97%）。精玄米重は平年並となった（同比102%）。「コシヒカリ」について、穂数は平年並（平年比98%）で、一穂籾数は「みずかがみ」と同様にかなり多くなり（同比115%）、 $\text{m}^2$ あたり籾数はかなり多くなった（同比113%）。台風の影響により倒伏程度が大きくなったため、登熟歩合は低く（同比92%）、千粒重はやや少なくなった（同比97%）。精玄米重は平年より多くなった（同比105%）。「秋の詩」について、穂数は少なかったものの（平年比94%）、一穂籾数はかなり多くなったため（同比118%）、 $\text{m}^2$ あたり籾数はかなり多くなった（同比111%）。台風による不稔籾や登熟期間後半が低温多雨寡照に経過したこと、登熟歩合はかなり低くなり（同比90%）、千粒重は、やや少なくなった（同比96%）。精玄米重は平年より、やや少なくなった（同比96%）。

「コシヒカリ」および「秋の詩」は、籾数過多と登熟期間の高温により、乳白粒の発生が多くなった。また、3品種とも青未熟粒が増加し、外観品質は平年と比べて、やや不良となった。また、作付の遅い早生品種や中生・晩生品種では、台風による倒伏や、9月が低温多雨寡照に推移したことによる不稔籾や登熟不良、穂発芽の発生により、収量・品質ともに低下が見られた。

<sup>\*</sup> 今回用いた農業技術振興センターの作況調査データでは、過去5年の値の平均を基準としているが、本生育概況では、それらを平年値とした。

## イ 発生状況

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
葉いもち	平年並	やや少	ほ場での初発確認は6月21日であり、置き苗いもちの発生は6月4日であった。ほ場での発生量は、やや少となった。	広域的な感染好適日は6月11、12日に現れ、発生時期は平年並であった。6月6半旬、7月1-3半旬の高温により、発生は拡大しなかったため、発生量は、やや少となった。	移植時の育苗箱施薬の普及。その後、葉いもちが発生したほ場を中心に防除の実施。
穂いもち	平年並	少	ほ場での初発確認は7月30日であった。発生時期は平年並であった。発生が少ないまま推移し、発生量は少となった。	7月3半旬から8月4半旬にかけて降水量が少なく、日照時間は多かったことから、発生時期は、やや遅く、感染拡大は抑制されたため、発生量は少となった。	出穂期前後に地上一斉防除や無人ヘリ等による防除の実施。ドリフト対策として、粒剤による防除の普及。
紋枯病	平年並	少	ほ場での初発確認は6月26日であった。発生時期は平年並であった。発生が多いほ場は一部に留まり、全体の発生量は少発生であった。	6月中旬の気温が低く推移したことで、水平感染が抑制された。その後、7月中旬から8月中旬にかけて降水量が少なかったことで垂直進展が抑制された。	移植時の箱粒剤による防除及び本田防除が一部の地域で導入。
白葉枯病	遅	平年並	ほ場での初発確認は8月24日であった。8月下旬以降発生したが、発生した地域は一部の常発の地域に限られた。	8月18日の台風20号の影響により、風雨に叩かれたため一部地域で発生があったが、発生は一部に限られた。	本病に効果のある育苗箱施薬剤が一部の地域で導入。
ばか苗病	-	-	ほ場での初発確認は5月30日であった。発生は一部の常発地に限られた。	種子消毒により発生は一部地域にとどまった。	種子消毒による防除の実施。
もみ枯細菌病	-	-	ほ場での発生は認められなかった。	7月第3-5半旬の出穂期に降水がなかったことから、発生が抑制され、発生が認められなかった。	種子消毒、移植時の箱粒剤による防除の実施。いもち病防除時に同時防除が実施。
ごま葉枯病	遅	やや少	ほ場での初発確認は8月18日であった。発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。発生は一部の地域に限られ、ほ場での広がりも少なかった。	ほとんどのほ場で施肥が適切であり、肥料切れがほとんどおこらなかったことから、発生量は、やや少となった。	本病への薬剤防除は未実施。
縞葉枯病	早	やや多	ほ場での初発確認は6月26日であった。立毛中の発生は県内全域で見られ、一部で多発生ほ場も見られた。刈株再生芽での発生も全域で見られた。	ヒメトビウカの発生量は少なく、越冬世代の保毒虫率も低かった。しかし、7月上旬以降、縞葉枯病ウイルス保毒虫は全域で確認された。	移植時の箱粒剤による防除でヒメトビウカの発生は抑制されている。
黄萎病	遅	少	立毛中および刈株再生芽での発生は認められなかった。	媒介虫であるツマグロヨコバイの発生量は、やや少なく、箱粒剤や共同防除により防除が実施されていることから、発生量は少となった。	移植時の箱粒剤によるツマグロヨコバイに対する防除で発生は抑制されている。
稲こうじ病	平年並	やや少	ほ場での初発確認は8月21日であった。発生時期は平年並であったが、発生は一部の常発地にとどまり、ほ場での広がりも少なかった。	前年度の発生量が少なく、8月第1-4半旬の気温が高かったので発生は拡大しなかった。	いもち病防除時に同時防除が実施。



病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ニカメイガ 第1世代	早	やや少	越冬世代成虫の発が最盛期は早く、フェロモントラップでの誘殺時期も、やや早かったことから、ほ場での発生時期は早かった。なお、ほ場での発生量は、やや少なかった。	前年の第2世代幼虫の発生量は、やや少なかった。越冬世代成虫のフェロモントラップへの初飛来は4月20日で、やや早かったが、発が最盛期は5月第4半旬で、前後にばらついた。5月の気温が高く、発生量の増加に好適な条件であったが、ニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤の導入が進んでおり、発生量は、やや少となった。	移植時の育苗箱施薬剤が普及している。
ニカメイガ 第2世代	やや遅	やや少	ほ場での初発確認は7月30日で、やや遅かった。発生量は、やや少なかった。	第1世代幼虫の発生時期は、やや早く、第1世代成虫の発が最盛期も早まった。第1世代成虫の発が最盛期は、7月第5～6半旬であった。第1世代幼虫の発生量が、やや少なく、第2世代幼虫の発生量も、やや少なかった。	第1世代幼虫が多発したほ場では、主に粒剤を用いた防除。近年、被害ほ場は減少しており、防除面積も減少。
トビイロウンカ	遅	少	10月1日現在、予察灯への飛来およびほ場での発生を認めていない。	海外からの飛来が極めて少なかったと考えられる。	育苗箱施薬剤の利用により発生が抑制。また、出穂期の防除により、斑点米カミシ類と併せて防除されることが多い。
セジロウンカ	遅	少	予察灯への初飛来は7月30日で、9月上旬までほとんど見られなかった。ほ場での発生量は、8月下旬以降の成熟期調査では少なかった。	8月下旬まで海外からの飛来は、ほとんどなかった。そのため、早生品種の栽培期間中、ほ場での発生量は少なかった。	育苗箱施薬剤の利用により発生が抑制。また、出穂期の防除により、斑点米カミシ類と併せて防除されることが多い。
ヒメトビウンカ	遅	少	予察灯への初飛来は5月1日と遅く、越冬世代の発生量は、やや少なかった。ほ場での7月上旬の発生量は平年並であったが、8月下旬の発生量は少なかった。	越冬量はやや少なく、予察灯への初飛来は遅かった。6月下旬の高温により増殖に好適な条件となり、7月上旬の発生量は平年並であった。7月と8月は高温・少雨が続いたため、増殖に好適な条件となったが、発生量は少なく、海外からの飛来が少なかったと考えられる。	育苗箱施薬剤の利用により発生が抑制。また、出穂期の防除により、斑点米カミシ類と併せて防除されることが多い。近年、本虫が媒介する縞葉枯病の増加が問題となりつつある。
ツマグロヨコバイ	早	やや少	予察灯への飛来時期は平年より早かった。越冬世代の発生量は平年並であった。ほ場での7月上旬の発生量は少なく、8月下旬の発生量は、やや少なかった。	越冬量は平年並であった。6月中旬の低温により一時的に増殖が抑制され、7月5日の豪雨もあり、7月上旬の発生量は少なかった。その後、7月と8月は高温・少雨が続いたため、増殖に好適な条件となり、発生量は、平年よりやや少なくなった。地域・ほ場間差は、育苗箱施薬剤および出穂期防除の有無によるところが大きい。	育苗箱施薬剤の利用により発生が抑制。また、出穂期の防除により、斑点米カミシ類と併せて防除されることが多い。
イチモンジセセリ	平年並	やや少	ほ場での初発確認は6月12日で平年並であった。発生量は、やや少なかった。	前年の発生量は、やや少なかった。ニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤の導入が進んだため、同時に防除され、発生量が抑制された。	ニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤が使用されているほ場では、同時防除されている。
フタオビコヤガ	-	-	ほ場での初発確認は6月27日で平年並であった。発生は一部の地域・ほ場のみで確認された。	本県での発生量は近年少ない。さらにニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤が導入されているほ場では、同時に防除され、発生量が抑制されている。	ニカメイガに効果の高い育苗箱施薬剤が使用されているほ場では、同時防除されている。
コブノメイガ	遅	少	ほ場での初発確認は7月31日で遅かった。栽培期間中、一貫して、発生量は少なかった。	海外からの初飛来時期が遅く、7月下旬の発生量も少なかった。それ以降もほ場への飛来および増殖は少なく、発生量は少なかった。	多発年を除き、通常は防除されない。
イネミズゾウムシ	平年並	やや少	本田への飛び込み時期は平年並であった。5月下旬の食害程度は、やや少であったが、一部の地域で甚発生ほ場も見られるなど、ほ場間差が認められた。	田植と同時に本田に侵入する。育苗箱施薬剤の施用有無により、被害のほ場間差が顕著になる。甚発生ほ場では、効果のある育苗箱施薬剤が使用されていない。	育苗箱施薬剤による防除が実施されている。
イネドロオイムシ	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月28日で平年並であった。6月下旬の食害程度は平年並であったが、中山間地域など、一部で多発生ほ場も見られた。	前年の発生量は平年並であった。成虫の本田への侵入時期も平年並であったと考えられる。6月第2～3半旬の日照量が少なく、増殖に適した条件となり、発生量は平年並となった。	育苗箱施薬剤による防除。発生が多いほ場では本田施用の粒剤による防除。
斑点米カメムシ類	早	平年並	越冬世代成虫の発生時期は早かった。第1世代成虫の発生量は平年並で、イネ出穂後の本田侵入量も平年並であった。	4月中旬～5月の気温が高く推移したことから、発生時期は早くなった。7月～8月の気温が高く、増殖に好適な条件となったが、7月5日や8月23日の豪雨により発生量は抑制された。	畦畔のイネ科雑草が出穂しないよう、多くのほ場で適正に除草作業が実施され、本田への侵入抑制が図られている。また、出穂後に一斉防除がされている。使用薬剤は液剤や粉剤が主であるが、ドリフト対策として粒剤が使用されている地域もある。しかしながら、ほ場内が適切に除草されていない場合、カメムシの被害が甚大となる。
コバネイナゴ	やや早	少	ほ場での初発確認は5月14日で、やや早かった。ほ場での発生量は少なかった。	前年の発生量は平年並であった。7月の高温により増殖に適した条件となったが、出穂期防除により発生量が抑制された。	斑点米カミシ類と併せて防除されることが多い。

ウ 定点における調査

(ア) いもち病発生予察システム

a 判定結果(JPP-NET版BLASTAMの判定結果)

平成30年(2018年) B L A S T A M 結果

		今津	長浜	米原	南小松	彦根	東近江	大津	信楽	土山
6/1	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/2	土	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/3	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/4	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/5	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	水	●	●	●	-	●	-	-	-	-
6/7	木	●	-	●	●	●	●	-	-	-
6/8	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/9	土	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	月	●	●	-	●	-	●	●	-	●
6/12	火	●	●	●	●	-	●	●	●	-
6/13	水	○4	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	土	-	-	-	-	-	-	●	-	○4
6/17	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	水	-	-	-	-	-	○4	○4	○1	-
6/21	木	●	●	-	●	-	●	●	-	-
6/22	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	土	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	日	-	●	-	-	-	-	-	-	-
6/25	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/29	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/30	土	-	-	-	○2	-	-	-	-	-
7/1	日	○2	-	-	○3	-	-	-	-	-
7/2	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/3	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/4	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/5	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/6	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/7	土	●	-	-	-	○2	○2	-	●	-
7/8	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/9	月	●	-	-	●	-	-	-	-	-
7/10	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/11	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/12	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/13	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/14	土	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/15	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/16	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/17	火	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/18	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/19	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/20	金	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[判定結果の指標]

●=感染好適条件

湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めた前5日間の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある

○=準好適条件

- 1：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満
- 2：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上
- 3：湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃~25℃以外
- 4：湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い

-：好適条件なし

?：判定不能

b 情報提供

病害虫防除所のホームページ上にて、感染好適条件の出現状況（上記）を随時公開した。

(イ) 予察灯による調査

ニカメイガ発生型一覧

ウ. 予察灯による調査

ニカメイガ発生型一覧

事項		大津市里			守山市矢島町			近江八幡市安土町大中		
		本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差
越冬世代	初飛来日 (月日)	5/19	5/9	+10	4/30	5/3	-3	4/21	4/30	-9
	最盛日 (月日)	5/17	5/17	±0	5/23	5/30	-7	5/15	5/26	-11
	50%誘殺日 (月日)	5/19	5/21	-2	5/24	5/29	-5	5/16	5/25	-9
	終息日 (月日)	5/19	6/14	-26	6/30	6/22	+8	6/25	6/25	±0
	誘殺日数 (日)	1	5	-4	35	28	+7	28	18	+10
	誘殺数 (頭)	1	6	-5	186	123	+63	66	36	+30
	性比 (♂/♀, %)	0	111	-111	49	94	-45	43	74	-31
第1世代	初飛来日 (月日)	7/19	7/24	-5	7/9	7/15	-6	7/13	7/14	-1
	最盛日 (月日)	8/9	8/1	+8	7/22	7/28	-6	7/28	7/26	+2
	50%誘殺日 (月日)	8/9	8/2	+7	7/30	7/29	+1	7/29	7/29	±0
	終息日 (月日)	8/11	8/21	-10	9/17	8/31	+17	9/6	9/5	+1
	誘殺日数 (日)	3	5	-2	53	22	+31	30	22	+8
	誘殺数 (頭)	6	6	±0	427	88	+339	83	49	+34
	性比 (♂/♀, %)	25	68	-43	140	126	+14	102	97	+5
総誘殺日数 (日)		4	10	-6	88	50	+38	58	41	+17
総誘殺数 (頭)		7	11	-4	613	211	+402	149	85	+64
性比 (♂/♀, %)		20	94	-74	102	106	-4	71	84	-13
第1世代/越冬世代 (%)		600	127	+473	230	152	+78	126	168	-42

事項		長浜市難波町			高島市今津町日置前		
		本年	平年	差	本年	平年	差
越冬世代	初飛来日 (月日)	5/1	5/12	-11	4/27	5/9	-12
	最盛日 (月日)	5/15	5/27	-12	5/15	5/26	-11
	50%誘殺日 (月日)	5/18	5/28	-10	5/16	5/26	-10
	終息日 (月日)	6/9	6/18	-9	6/17	6/26	-9
	誘殺日数 (日)	22	18	+4	29	27	+2
	誘殺数 (頭)	56	72	-16	157	173	-16
	性比 (♂/♀, %)	47	108	-61	89	101	-12
第1世代	初飛来日 (月日)	7/10	7/16	-6	7/15	7/14	+1
	最盛日 (月日)	7/19	7/30	-11	8/2	8/1	+1
	50%誘殺日 (月日)	7/22	8/1	-10	8/1	8/1	±0
	終息日 (月日)	9/5	8/22	+14	8/30	9/12	-13
	誘殺日数 (日)	23	16	+7	30	32	-2
	誘殺数 (頭)	62	94	-32	129	216	-87
	性比 (♂/♀, %)	100	35	+65	26	63	-37
総誘殺日数 (日)		45	33	+12	59	60	-1
総誘殺数 (頭)		118	166	-48	286	390	-104
性比 (♂/♀, %)		71	70	+1	55	78	-23
第1世代/越冬世代 (%)		111	175	-64	82	143	-61

大津市里の平均値は10年間(H20~H29)の平均値。

守山市矢島町と近江八幡市安土町大中の平均値は10年間(H20~H29)の平均値。

長浜市難波町の平年値は9年間(H21~H29)の平均値。

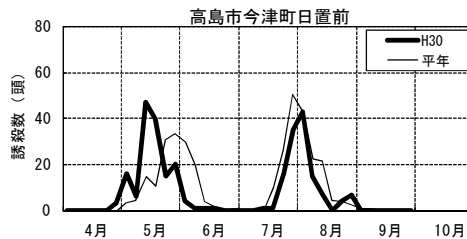
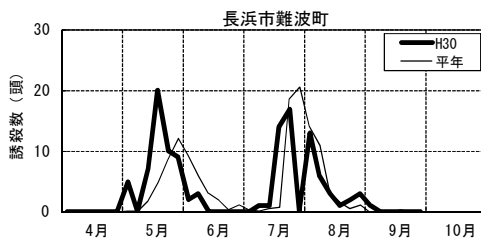
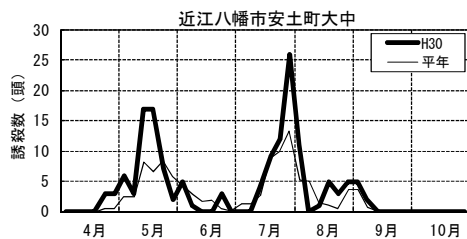
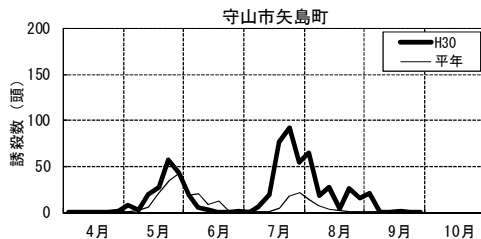
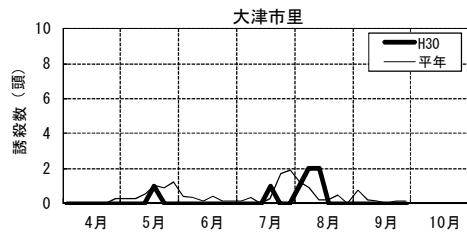
高島市今津町日置前の平年値は6年間(H24~H29)の平均値。

# ニカメイガ半旬別誘殺状況（予察灯）

		大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
月	半旬	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	3	3	0.4	0.4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
	6	0	0	0.3	0.3	1	1	0.4	0.4	3	6	0.4	0.8	0	0	0.0	0.0	3	3	0.0	0.0
5	1	0	0	0.3	0.5	8	9	1.0	1.4	6	12	2.4	3.2	5	5	0.1	0.1	16	19	3.4	3.4
	2	0	0	0.3	0.8	3	12	1.9	3.3	3	15	2.4	5.6	0	5	0.1	0.3	6	25	4.2	7.6
	3	0	0	0.6	1.3	19	31	5.4	8.7	17	32	8.1	13.7	7	12	1.7	1.9	47	72	14.7	22.3
	4	1	1	1.0	2.3	27	58	20.3	29.0	17	49	6.6	20.3	20	32	4.9	6.8	40	112	10.8	33.1
	5	0	1	0.9	3.2	57	115	34.3	63.3	7	56	8.3	28.6	10	42	8.6	15.4	15	127	30.7	63.8
	6	0	1	1.2	4.4	43	158	42.5	105.8	2	58	5.9	34.5	9	51	12.0	27.4	20	147	33.3	97.1
6	1	0	1	0.4	4.9	20	178	19.1	124.9	5	63	4.3	38.8	2	53	9.3	36.6	4	151	30.0	127.1
	2	0	1	0.3	5.2	5	183	20.0	144.9	1	64	2.9	41.7	3	56	5.8	42.4	1	152	19.8	146.9
	3	0	1	0.1	5.3	3	186	8.1	153.0	0	64	1.6	43.3	0	56	3.1	45.5	1	153	3.8	150.8
	4	0	1	0.4	5.8	0	186	12.9	165.9	0	64	1.9	45.2	0	56	1.9	47.4	1	154	2.0	152.8
	5	0	1	0.1	5.9	0	186	1.6	167.4	3	67	0.5	45.7	0	56	0.4	47.7	0	154	0.5	153.3
	6	0	1	0.1	6.0	1	187	0.7	168.1	0	67	0.2	45.9	0	56	1.1	48.9	0	154	1.0	154.3
7	1	0	1	0.1	6.1	0	187	0.5	168.6	0	67	1.3	47.2	0	56	0.3	49.1	0	154	0.3	154.6
	2	0	0	0.3	0.3	6	6	0.3	0.3	0	0	1.2	1.2	1	1	0.1	0.1	0	0	0.2	0.2
	3	0	0	0.0	0.3	19	25	1.0	1.3	4	4	2.7	3.9	1	2	0.6	0.7	1	1	0.3	0.5
	4	1	1	0.3	0.6	76	101	4.4	5.7	9	13	8.8	12.7	14	16	0.8	1.4	1	2	10.3	10.8
	5	0	1	1.7	2.3	92	193	18.1	23.8	12	25	10.0	22.7	17	33	18.7	20.1	16	18	26.2	37.0
	6	0	1	1.9	4.2	55	248	21.2	45.0	26	51	13.2	35.9	0	33	20.6	40.7	35	53	50.7	87.7
8	1	1	2	1.2	5.5	65	313	14.3	59.3	11	62	5.3	41.2	13	46	14.1	54.8	43	96	42.7	130.3
	2	2	4	0.9	6.4	18	331	7.6	66.9	0	62	5.1	46.3	6	52	10.9	65.7	15	111	22.5	152.8
	3	2	6	0.2	6.6	27	358	3.1	70.0	1	63	1.4	47.7	3	55	3.2	68.9	7	118	21.5	174.3
	4	0	6	0.2	6.8	4	362	2.6	72.6	5	68	1.1	48.8	1	56	1.6	70.4	0	118	4.2	178.5
	5	0	6	0.5	7.3	26	388	1.2	73.8	3	71	0.5	49.3	2	58	0.6	71.0	4	122	3.7	182.2
	6	0	6	0.0	7.3	15	403	0.6	74.4	5	76	3.7	53.0	3	61	1.1	72.1	7	129	2.3	184.5
9	1	0	6	0.8	8.0	21	424	1.2	75.6	5	81	3.7	56.7	1	62	0.0	72.1	0	129	0.8	185.3
	2	0	6	0.2	8.3	0	424	0.8	76.4	2	83	0.6	57.3	0	62	0.0	72.1	0	129	0.7	186.0
	3	0	6	0.1	8.4	0	424	0.4	76.8	0	83	0.2	57.5	0	62	0.0	72.1	0	129	0.3	186.3
	4	0	6	0.0	8.4	1	425	0.0	76.8	0	83	0.0	57.5	0	62	0.3	72.4	0	129	0.2	186.5
	5	0	6	0.1	8.5	0	425	0.0	76.8	0	83	0.1	57.6	0	62	0.0	72.4	0	129	0.0	186.5
	6	0	6	0.1	8.6	0	425	0.1	76.9	0	83	0.0	57.6	0	62	0.0	72.4	0	129	0.0	186.5
10	1									0	83	0.0	57.6								
	2									0	83	0.0	57.6								
	3									0	83	0.0	57.6								
	4									0	83	0.0	57.6								
	5									0	83	0.0	57.6								
	6									0	83	0.0	57.6								

越冬世代

第1世代



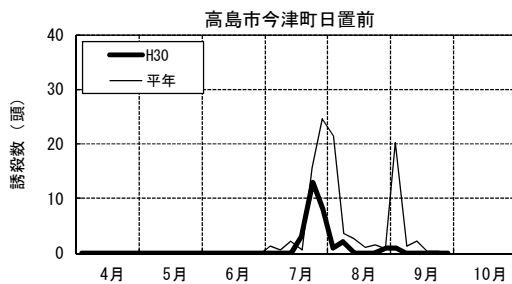
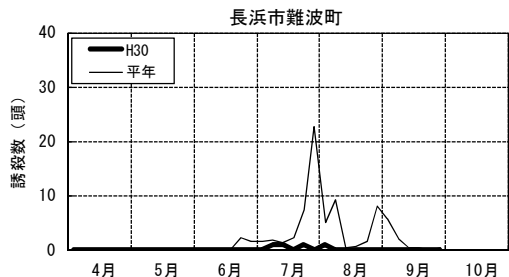
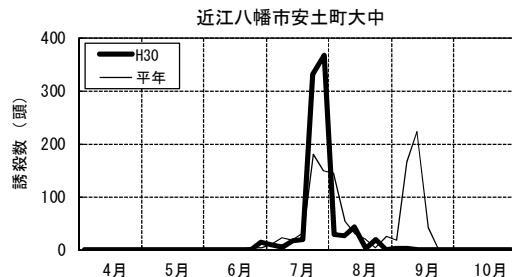
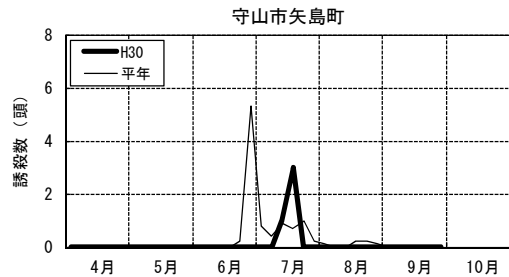
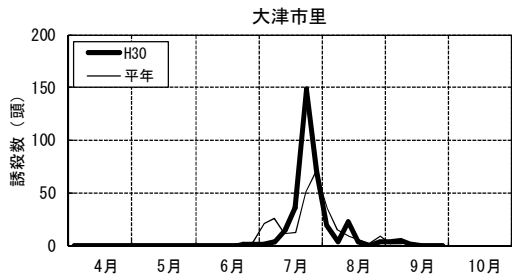
○表中の累積誘殺頭数は、越冬世代と第1世代を区別するため、4月第1半旬～7月第1半旬を越冬世代、7月第2半旬～調査終了時を第1世代として積算している。

○平年値は基本的に過去10年間（H20～H29）の平均値であるが、長浜市、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。

- ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値
- ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値

# ツマグロヨコバイ半旬別誘殺状況（予察灯）

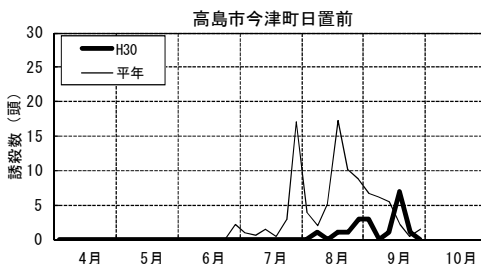
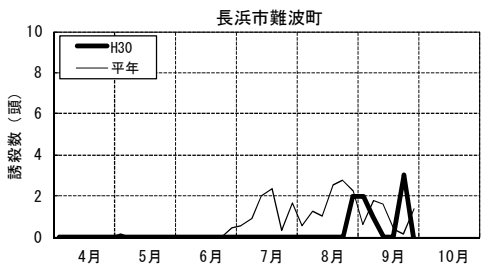
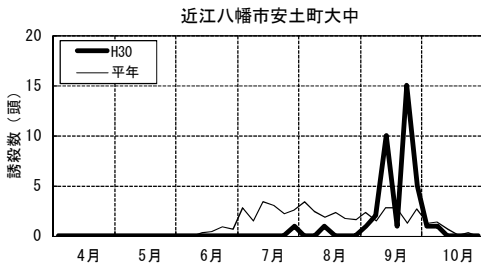
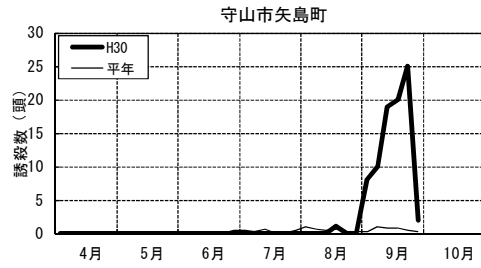
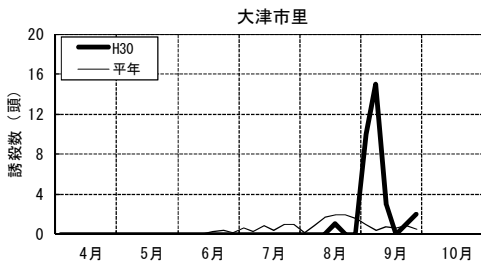
月 半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前				
	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	
4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.2	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	1	0	0	0.6	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.3	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0
5	2	0	0	0.0	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.4	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
5	3	0	0	0.0	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.4	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
5	4	0	0	0.2	0.8	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.5	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
5	5	0	0	0.1	1.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.5	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
5	6	0	0	0.0	1.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.5	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	1	0	0	0.0	1.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.5	0	0	0.0	0.1	0	0	0.2	0.2
6	2	0	0	0.0	1.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.5	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.2
6	3	0	0	0.0	1.0	0	0	0.0	0.0	0	0	1.0	1.5	0	0	0.2	0.3	0	0	0.0	0.2
6	4	0	0	0.1	1.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.6	2.1	0	0	0.2	0.6	0	0	0.0	0.2
6	5	0	0	2.4	3.5	0	0	0.2	0.2	1	1	2.5	4.6	0	0	2.2	2.8	0	0	0.2	0.3
6	6	1	1	2.7	6.2	0	0	5.3	5.6	15	16	2.5	7.1	0	0	1.4	4.2	0	0	0.0	0.3
7	1	1	2	21.2	27.4	0	0	0.8	6.4	9	25	10.9	18.0	0	0	1.6	5.8	0	0	1.3	1.7
7	2	4	6	26.0	53.4	0	0	0.4	6.8	5	30	21.6	39.6	1	1	1.7	7.5	0	0	0.7	2.3
7	3	14	20	11.9	65.3	1	1	0.9	7.7	17	47	16.9	56.5	1	2	1.3	8.8	0	0	2.2	4.5
7	4	36	56	12.1	77.4	3	4	0.7	8.4	20	67	32.8	89.3	0	2	2.2	11.0	3	3	0.5	5.0
7	5	148	204	50.5	127.9	0	4	1.0	9.4	330	397	179.4	268.7	1	3	7.3	18.3	13	16	15.5	20.5
7	6	71	275	70.6	198.5	0	4	0.2	9.6	366	763	148.9	417.6	0	3	22.7	41.0	8	24	24.7	45.2
8	1	19	294	35.4	233.9	0	4	0.1	9.7	28	791	144.3	561.9	1	4	5.0	46.0	1	25	21.3	66.5
8	2	4	298	14.8	248.7	0	4	0.0	9.7	27	818	53.6	615.5	0	4	9.1	55.1	2	27	3.7	70.2
8	3	23	321	9.4	258.1	0	4	0.0	9.7	43	861	29.9	645.4	0	4	0.4	55.6	0	27	2.7	72.8
8	4	3	324	5.3	263.4	0	4	0.2	9.9	3	864	19.9	665.3	0	4	0.7	56.2	0	27	1.0	73.8
8	5	0	324	2.2	265.6	0	4	0.2	10.1	20	884	4.4	669.7	0	4	1.6	57.8	0	27	1.5	75.3
8	6	3	327	9.3	274.9	0	4	0.1	10.2	0	884	25.8	695.5	0	4	8.0	65.8	1	28	0.8	76.2
9	1	4	331	1.6	276.5	0	4	0.0	10.2	2	886	18.1	713.6	0	4	5.6	71.4	1	29	20.3	96.5
9	2	5	336	1.2	277.7	0	4	0.0	10.2	2	888	165.0	878.6	0	4	2.0	73.4	0	29	1.3	97.8
9	3	1	337	3.1	280.8	0	4	0.0	10.2	1	889	222.8	1101.4	0	4	0.3	73.7	0	29	2.2	100.0
9	4	0	337	0.9	281.7	0	4	0.0	10.2	0	889	42.3	1143.7	0	4	0.4	74.0	0	29	0.3	100.3
9	5	0	337	0.6	282.3	0	4	0.0	10.2	0	889	1.8	1145.5	0	4	0.0	74.0	0	29	0.3	100.7
9	6	0	337	0.9	283.2	0	4	0.0	10.2	0	889	0.6	1146.1	0	4	0.3	74.3	0	29	0.2	100.8
10	1											0.2	1146.3								
10	2											0.6	1146.9								
10	3											0.0	1146.9								
10	4											0.1	1147.0								
10	5											0.1	1147.1								
10	6											0.0	1147.1								



○平年値は基本的に過去10年間（H20～H29）の平均値であるが、長浜市、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。  
 ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値  
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値

# セジロウカ半旬別誘殺状況（予察灯）

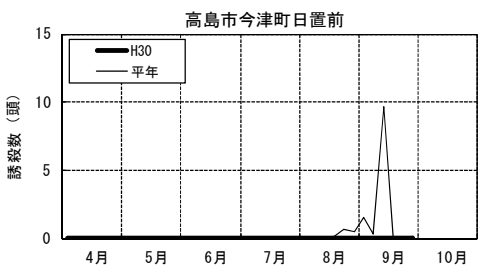
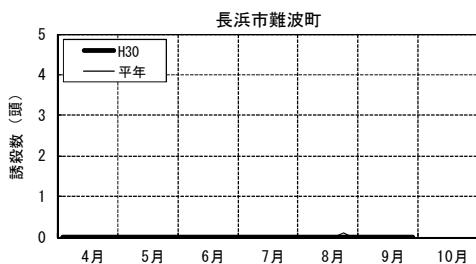
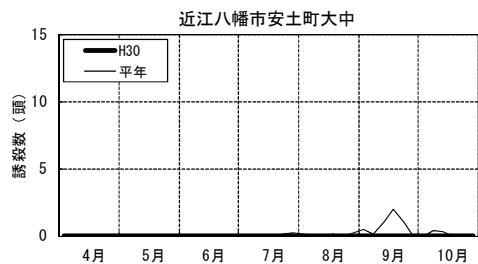
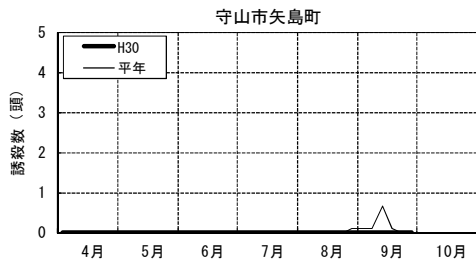
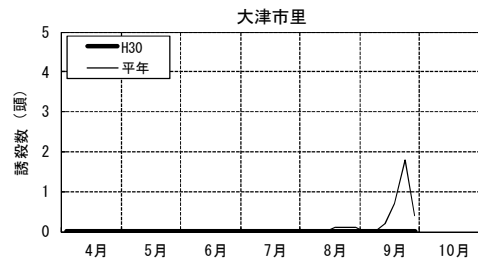
月 半旬		大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0
5	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0
5	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
5	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
5	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
5	6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.3	0.4	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	4	0	0	0.2	0.2	0	0	0.3	0.3	0	0	0.4	0.8	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	5	0	0	0.4	0.7	0	0	0.1	0.4	0	0	0.9	1.7	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	6	0	0	0.1	0.8	0	0	0.4	0.9	0	0	0.7	2.4	0	0	0.4	0.6	0	0	2.2	2.2
7	1	0	0	0.6	1.4	0	0	0.4	1.3	0	0	2.8	5.2	0	0	0.6	1.1	0	0	1.0	3.2
7	2	0	0	0.2	1.6	0	0	0.2	1.5	0	0	1.5	6.7	0	0	0.9	2.0	0	0	0.7	3.8
7	3	0	0	0.9	2.5	0	0	0.6	2.1	0	0	3.4	10.1	0	0	2.0	4.0	0	0	1.5	5.3
7	4	0	0	0.4	2.9	0	0	0.1	2.2	0	0	3.0	13.1	0	0	2.3	6.3	0	0	0.5	5.8
7	5	0	0	1.0	3.9	0	0	0.1	2.3	0	0	2.2	15.3	0	0	0.3	6.7	0	0	2.8	8.7
7	6	0	0	1.0	4.9	0	0	0.4	2.7	1	1	2.6	17.9	0	0	1.7	8.3	0	0	17.0	25.7
8	1	0	0	0.1	5.0	0	0	1.0	3.7	0	1	3.4	21.3	0	0	0.6	8.9	0	0	3.8	29.5
8	2	0	0	0.9	5.9	0	0	0.6	4.3	0	1	2.5	23.8	0	0	1.2	10.1	1	1	2.0	31.5
8	3	0	0	1.7	7.6	0	0	0.5	4.8	1	2	1.9	25.7	0	0	1.0	11.1	0	1	5.2	36.7
8	4	1	1	2.0	9.6	1	1	0.7	5.5	0	2	2.3	28.0	0	0	2.6	13.7	1	2	17.3	54.0
8	5	0	1	1.9	11.5	0	1	0.1	5.6	0	2	1.7	29.7	0	0	2.8	16.5	1	3	10.2	64.2
8	6	0	1	1.6	13.1	0	1	0.3	5.9	0	2	1.6	31.3	2	2	2.2	18.7	3	6	8.8	73.0
9	1	10	11	1.0	14.1	8	9	0.3	6.2	1	3	2.3	33.6	2	4	0.6	19.3	3	9	6.7	79.7
9	2	15	26	0.4	14.6	10	19	1.0	7.2	2	5	1.5	35.1	1	5	1.8	21.1	0	9	6.2	85.8
9	3	3	29	0.8	15.4	19	38	0.9	8.1	10	15	2.8	37.9	0	5	1.6	22.7	1	10	5.5	91.3
9	4	0	29	0.7	16.0	20	58	0.8	8.9	1	16	2.8	40.7	0	5	0.4	23.1	7	17	2.2	93.5
9	5	1	30	0.9	16.9	25	83	0.4	9.3	15	31	1.3	42.0	3	8	0.1	23.2	1	18	0.5	94.0
9	6	2	32	0.6	17.5	2	85	0.3	9.6	5	36	2.7	44.7	0	8	1.4	24.6	0	18	1.5	95.5
10	1									1	37	1.3	46.0								
10	2									1	38	1.4	47.4								
10	3									0	38	0.7	48.1								
10	4									0	38	0.1	48.2								
10	5									0	38	0.3	48.5								
10	6									0	38	0.0	48.5								



○平年値は基本的に過去10年間（H20～H29）の平均値であるが、長浜市、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。  
 ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値  
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値

# トビイロウカ半旬別誘殺状況（予察灯）

月半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積
4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
7	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.2	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
8	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.2	0.2
5	0	0	0.1	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.5	0	0	0.1	0.1	0	0	0.7	0.8
6	0	0	0.1	0.3	0	0	0.1	0.1	0	0	0.2	0.7	0	0	0.0	0.1	0	0	0.5	1.3
9	0	0	0.0	0.3	0	0	0.1	0.2	0	0	0.5	1.2	0	0	0.0	0.1	0	0	1.5	2.8
2	0	0	0.0	0.3	0	0	0.1	0.3	0	0	0.1	1.3	0	0	0.0	0.1	0	0	0.3	3.2
3	0	0	0.2	0.5	0	0	0.7	1.0	0	0	1.0	2.3	0	0	0.0	0.1	0	0	9.7	12.8
4	0	0	0.7	1.2	0	0	0.1	1.1	0	0	2.0	4.3	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	12.8
5	0	0	1.8	3.0	0	0	0.0	1.1	0	0	1.0	5.3	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	12.8
6	0	0	0.4	3.4	0	0	0.0	1.1	0	0	0.0	5.3	0	0	0.0	0.1	0	0	0.2	13.0
10	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	5.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
2	0	0	0.4	5.7	0	0	0.0	0.0	0	0	0.4	5.7	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
3	0	0	0.3	6.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.3	6.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	0	0	0.0	6.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	6.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	0	0	0.0	6.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	6.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
6	0	0	0.0	6.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	6.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0

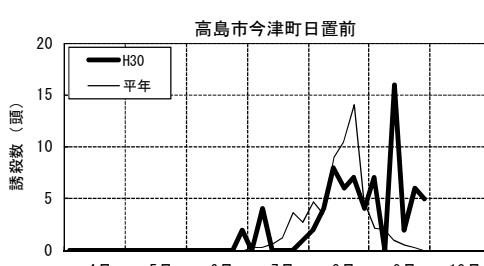
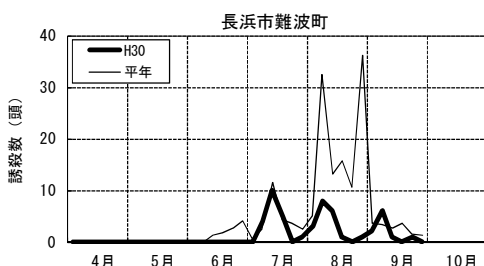
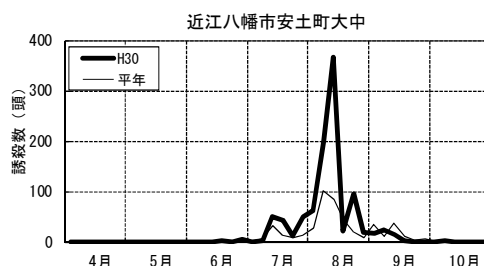
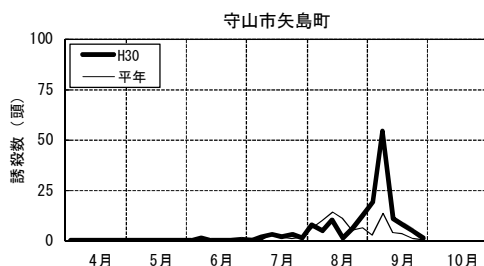
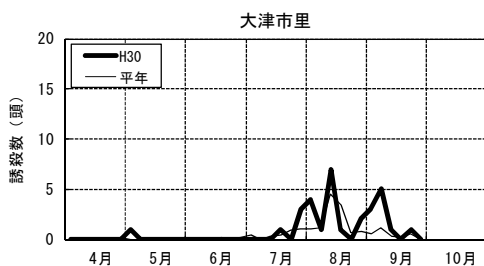


○平年値は基本的に過去10年間（H20～H29）の平均値であるが、長浜市、高島市の子察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。

- ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値
- ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値

# ヒメトビウカ半旬別誘殺状況（予察灯）

月 半旬		大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.3	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.5	0.8	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.4	1.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.1	0	0	0.1	1.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	6	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	1.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	1	1	1	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.2	1.5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	2	0	1	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.1	1.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	3	0	1	0.0	0.1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	1.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
5	4	0	1	0.0	0.1	0	0	0.1	0.2	0	0	0.0	1.6	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0
5	5	0	1	0.0	0.1	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	1.6	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
5	6	0	1	0.0	0.1	0	0	0.1	0.3	0	0	0.0	1.6	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	1	0	1	0.0	0.1	0	0	0.0	0.3	0	0	0.3	1.9	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	2	0	1	0.0	0.1	1	1	0.3	0.6	0	0	0.5	2.4	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0
6	3	0	1	0.0	0.1	0	1	0.5	1.1	0	0	1.2	3.6	0	0	1.2	1.3	0	0	0.0	0.0
6	4	0	1	0.2	0.3	0	1	0.4	1.5	2	2	1.0	4.6	0	0	1.8	3.1	0	0	0.2	0.2
6	5	0	1	0.1	0.5	0	1	0.8	2.3	0	2	0.7	5.3	0	0	2.7	5.8	0	0	0.0	0.2
6	6	0	1	0.2	0.7	0	1	1.4	3.8	4	6	0.6	5.9	0	0	4.0	9.8	2	2	0.0	0.2
7	1	0	1	0.4	1.1	0	1	0.7	4.5	1	7	0.9	6.8	0	0	0.6	10.3	0	2	0.3	0.5
7	2	0	1	0.0	1.1	2	3	0.5	5.0	2	9	6.6	13.4	4	4	2.6	12.9	4	6	0.3	0.8
7	3	0	1	0.3	1.4	3	6	3.0	8.0	50	59	31.2	44.6	10	14	11.4	24.3	0	6	0.7	1.5
7	4	1	2	0.4	1.8	2	8	1.4	9.4	44	103	12.2	56.8	5	19	4.3	28.7	0	6	1.2	2.7
7	5	0	2	0.9	2.7	3	11	1.1	10.5	13	116	8.0	64.8	0	19	3.6	32.2	0	6	3.7	6.3
7	6	3	5	1.0	3.7	1	12	1.5	12.0	51	167	12.4	77.2	1	20	2.3	34.6	1	7	2.7	9.0
8	1	4	9	1.0	4.7	8	20	6.3	18.3	63	230	27.4	104.6	3	23	5.1	39.7	2	9	4.7	13.7
8	2	1	10	1.1	5.8	5	25	9.9	28.2	199	429	101.5	206.1	8	31	32.4	72.1	4	13	3.5	17.2
8	3	7	17	4.5	10.3	10	35	13.8	42.0	367	796	85.3	291.4	6	37	13.1	85.2	8	21	9.0	26.2
8	4	1	18	3.4	13.7	1	36	11.1	53.1	21	817	43.7	335.1	1	38	15.8	101.0	6	27	10.5	36.7
8	5	0	18	0.7	14.4	6	42	5.3	58.4	96	913	20.6	355.7	0	38	10.6	111.6	7	34	14.0	50.7
8	6	2	20	0.8	15.2	12	54	6.1	64.5	19	932	7.8	363.5	1	39	36.1	147.7	4	38	4.8	55.5
9	1	3	23	0.6	15.8	19	73	2.5	67.0	17	949	33.6	397.1	2	41	3.6	151.3	7	45	2.2	57.7
9	2	5	28	1.1	16.9	54	127	13.1	80.1	23	972	11.5	408.6	6	47	3.4	154.7	0	45	2.0	59.7
9	3	1	29	0.3	17.2	11	138	4.0	84.1	14	986	36.0	444.6	1	48	2.8	157.4	16	61	1.0	60.7
9	4	0	29	0.2	17.4	8	146	3.3	87.4	2	988	11.0	455.6	0	48	3.5	160.9	2	63	0.5	61.2
9	5	1	30	0.6	18.0	5	151	0.7	88.1	1	989	3.5	459.1	1	49	1.6	162.6	6	69	0.3	61.5
9	6	0	30	0.0	18.0	1	152	0.2	88.3	0	989	5.1	464.2	0	49	1.4	163.9	5	74	0.0	61.5
10	1										989	0.8	465.0								
10	2										991	0.3	465.3								
10	3										991	0.1	465.4								
10	4										991	0.3	465.7								
10	5										992	0.9	466.6								
10	6										992	1.4	468.0								



○ 平年値は基本的に過去10年間（H20～H29）の平均値であるが、長浜市、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。

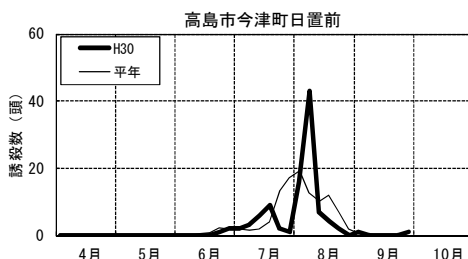
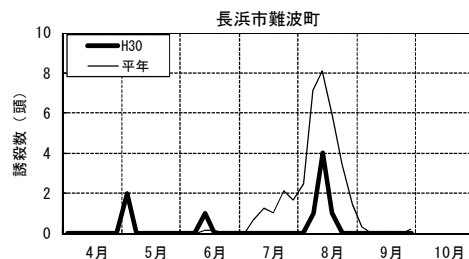
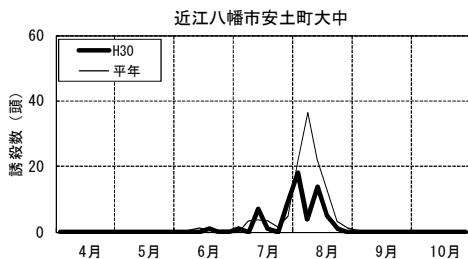
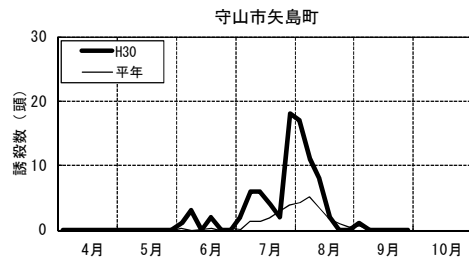
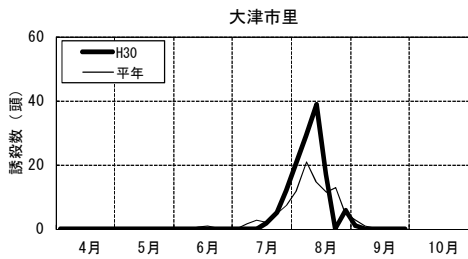
- ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値
- ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値



フタオビコヤガ半旬別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月	半旬	大津市里			守山市矢島町			近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前						
		H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	
4	1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
4	2	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
4	3	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
4	4	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
4	5	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
4	6	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
5	1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	2	2	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
5	2	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.1	0	2	0.0	0	0	0.0	0	0	0.2
5	3	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	2	0.0	0	0	0.0	0	0	0.2
5	4	0	0	0.3	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.1	0	2	0.0	0	0	0.0	0	0	0.2
5	5	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.1	0	2	0.0	0	0	0.0	0	0	0.4
5	6	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.3	0	2	0.0	0	0	0.0	0	0	0.5
6	1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	2	0.0	0	0	0.0	0	0	0.5
6	2	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.7	0	2	0.0	0	0	0.0	0	0	0.5
6	3	0	0	0.7	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	1.1	1	3	0.1	0	0	0.0	0	0	1.2
6	4	0	0	0.8	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	2.8	0	3	0.1	0	0	0.0	0	0	2.0
6	5	0	0	0.3	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.6	0	3	0.0	0	0	0.0	0	0	4.2
6	6	0	0	0.1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.5	0	3	0.1	0	0	0.0	0	0	6.0
7	1	0	0	0.2	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.3	0	3	0.0	0	0	0.0	0	0	7.9
7	2	0	0	1.6	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	3.2	0	3	0.7	0	0	0.0	0	0	9.5
7	3	0	0	2.7	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	3.6	0	3	1.2	0	0	0.0	0	0	11.5
7	4	2	2	2.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	3.4	0	3	1.0	0	0	0.0	0	0	15.4
7	5	5	7	4.6	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	1.6	0	3	2.1	0	0	0.0	0	0	28.7
7	6	12	19	7.5	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	4.7	0	3	1.7	0	0	0.0	0	0	46.0
8	1	21	40	11.7	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	20.8	0	3	2.4	0	0	0.0	0	0	65.2
8	2	29	69	20.8	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	36.3	0	4	7.1	0	0	0.0	0	0	77.7
8	3	39	108	14.8	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	22.1	0	8	8.1	0	0	0.0	0	0	88.0
8	4	17	125	11.3	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	12.2	0	9	5.8	0	0	0.0	0	0	100.0
8	5	0	125	13.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	3.5	0	9	3.4	0	0	0.0	0	0	106.9
8	6	6	131	5.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	1.4	0	9	1.4	0	0	0.0	0	0	108.9
9	1	1	132	2.6	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.6	0	9	0.3	0	0	0.0	0	0	109.4
9	2	0	132	1.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.3	0	9	0.0	0	0	0.0	0	0	109.9
9	3	0	132	0.1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.1	0	9	0.0	0	0	0.0	0	0	109.9
9	4	0	132	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.1	0	9	0.1	0	0	0.0	0	0	110.0
9	5	0	132	0.1	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	9	0.0	0	0	0.0	0	0	110.0
9	6	0	132	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	9	0.2	0	0	0.0	0	0	110.0
10	1												0									
10	2												0									
10	3												0									
10	4												0									
10	5												0									
10	6												0									



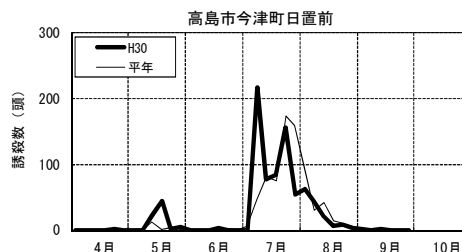
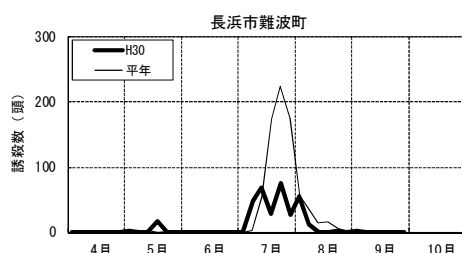
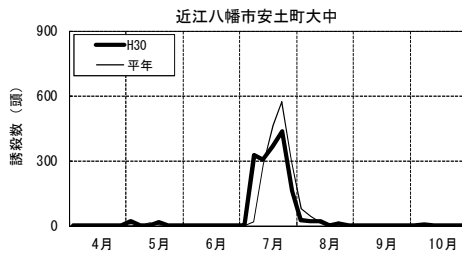
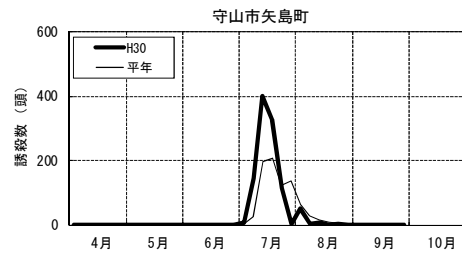
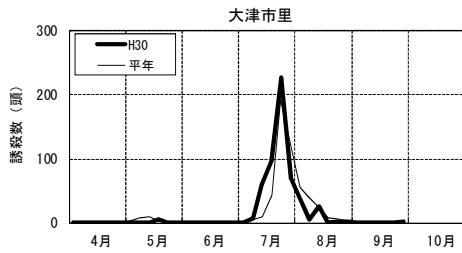
○ 平年値は基本的に過去10年間（H20～H29）の平均値であるが、長浜市、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。

- ・ 長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値
- ・ 高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値

# イネミズゾウムシ半旬別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月 半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前					
	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積		
4	1	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0		
4	2	0	0	0.1	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0		
4	3	0	0	0.0	0	0	0.2	0.3	0	0	0.2	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0		
4	4	0	0	0.0	0	0	0.1	0.4	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0		
4	5	0	0	0.0	0	0	0.0	0.4	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0		
4	6	1	1	1.5	1.6	0	0	0.4	0	0	0.3	0.5	0	0	0.0	0.0	1	3	0.4	0.4		
5	1	1	2	2.6	4.2	0	0	0.0	0.4	20	20	2.6	3.1	2	2	0.8	0.8	0	3	0.0	0.4	
5	2	0	2	8.4	12.7	0	0	0.2	0.6	3	23	1.3	4.4	0	2	0.1	0.9	0	3	0.4	0.8	
5	3	0	2	10.4	23.1	0	0	3.4	4.0	4	27	14.0	18.4	0	2	2.8	3.7	24	27	12.5	13.3	
5	4	6	8	3.4	26.6	0	0	0.8	4.8	15	42	3.1	21.5	17	19	0.4	4.1	44	71	0.7	14.0	
5	5	1	9	2.0	28.6	0	0	0.3	5.1	1	43	6.6	28.1	0	19	0.7	4.8	2	73	4.0	18.0	
5	6	0	9	1.3	29.9	0	0	0.0	5.1	0	43	3.9	32.0	0	19	0.7	5.4	5	78	1.7	19.6	
6	1	0	9	1.4	31.3	0	0	0.0	5.1	1	44	3.1	35.1	0	19	0.3	5.7	0	78	0.8	20.5	
6	2	0	9	0.6	31.9	0	0	0.0	5.1	0	44	0.5	35.6	1	20	1.0	6.7	1	79	1.5	22.0	
6	3	0	9	0.1	32.0	0	0	0.0	5.1	0	44	1.0	36.6	0	20	0.3	6.9	1	80	1.3	23.3	
6	4	1	10	0.2	32.2	0	0	0.0	5.1	0	44	0.3	36.9	0	20	0.1	7.1	3	83	2.3	25.6	
6	5	1	11	1.4	33.7	0	0	0.0	5.1	2	46	0.4	37.3	0	20	0.1	7.2	1	84	3.2	28.8	
6	6	0	11	0.3	34.0	1	1	0.3	5.4	0	46	0.6	37.9	1	21	0.2	7.4	0	84	0.8	29.6	
7	1	0	11	0.5	34.5	7	8	1.9	7.3	2	48	0.6	38.5	0	21	0.0	7.4	1	85	6.3	36.0	
7	2	7	18	4.1	38.6	144	152	28.0	35.3	326	374	19.7	58.2	47	68	3.0	10.4	217	302	48.0	84.0	
7	3	59	77	10.2	48.8	402	554	198.2	233.5	309	683	287.0	345.2	68	136	55.1	65.5	77	379	81.2	165.1	
7	4	97	174	43.8	92.6	325	879	209.0	442.5	369	1052	464.8	810.0	29	165	174.8	240.3	85	464	75.2	240.3	
7	5	227	401	192.9	285.5	116	995	123.9	566.4	435	1487	572.6	1382.6	75	240	224.0	464.3	157	621	173.3	413.6	
7	6	69	470	122.9	408.4	6	1001	135.6	702.0	160	1647	301.5	1684.1	27	267	175.4	639.7	55	676	159.3	573.0	
8	1	40	510	55.3	463.8	53	1054	63.9	765.9	27	1674	81.5	1765.6	55	322	56.1	695.8	62	738	94.8	667.8	
8	2	5	515	39.9	503.7	3	1057	29.9	795.8	24	1698	45.7	1811.3	12	334	33.9	729.7	45	783	30.5	698.3	
8	3	26	541	24.2	527.9	7	1064	17.1	812.9	20	1718	16.9	1828.2	0	334	15.4	745.2	22	805	42.3	740.6	
8	4	0	541	8.4	536.3	1	1065	9.4	822.3	2	1720	10.3	1838.5	0	334	16.8	761.9	7	812	14.2	754.8	
8	5	3	544	6.5	542.8	4	1069	4.7	827.0	13	1733	8.9	1847.4	2	336	6.1	768.1	9	821	11.7	766.5	
8	6	2	546	3.3	546.1	0	1069	1.2	828.2	0	1733	3.1	1850.5	1	337	0.6	768.7	3	824	6.2	772.6	
9	1	0	546	0.8	546.8	0	1069	2.5	830.7	0	1733	2.0	1852.5	2	339	0.3	768.9	2	826	2.3	775.0	
9	2	0	546	0.8	547.6	1	1070	0.1	830.8	0	1733	1.5	1854.0	1	340	0.9	769.8	0	826	0.7	775.6	
9	3	0	546	1.1	548.7	0	1070	1.2	832.1	2	1735	0.8	1854.8	0	340	0.1	769.9	2	828	0.0	775.6	
9	4	0	546	0.2	548.9	1	1071	0.3	832.4	0	1735	0.3	1855.1	1	341	0.1	770.1	1	829	0.2	775.8	
9	5	0	546	0.3	549.3	0	1071	0.1	832.5	0	1735	1.7	1856.8	0	341	0.3	770.3	0	829	0.7	776.5	
9	6	3	549	0.1	549.4	0	1071	0.0	832.5	0	1735	1.1	1857.9	0	341	0.1	770.4	0	829	0.8	777.3	
10	1										0	1735	1.0	1858.9								
10	2										6	1741	0.2	1859.1								
10	3										0	1741	0.2	1859.3								
10	4										0	1741	0.1	1859.4								
10	5										0	1741	0.6	1860.0								
10	6										0	1741	0.1	1860.1								



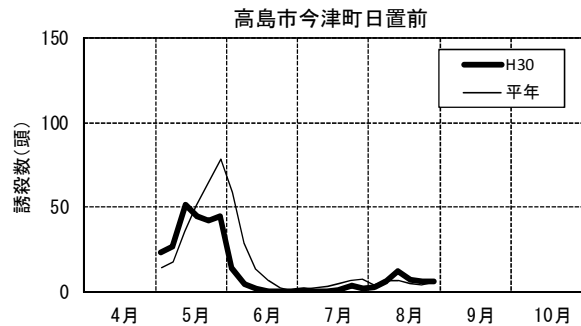
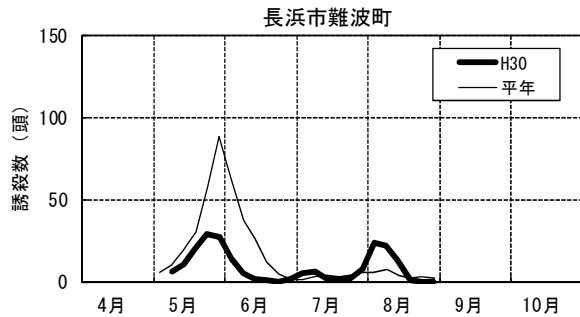
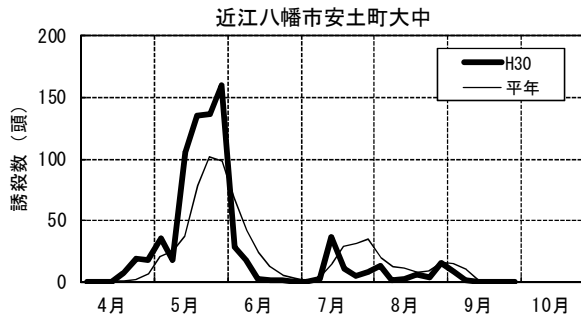
○平年値は基本的に過去10年間（H20～H29）の平均値であるが、長浜市、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。  
 ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値  
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値

(ウ) フェロモントラップによる調査  
ニカメイガ半旬別誘殺状況 (フェロモントラップ)

		近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前				(頭)	
月	半旬	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積		
4	1	0	0	0.1	0.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2	0	0	0.0	0.1										
	3	0	0	0.3	0.4										
	4	7	7	0.4	0.8										
	5	19	26	2.2	3.0										
	6	18	44	6.1	9.1										
5	1	35	79	20.6	29.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2	18	97	25.2	54.9										
	3	106	203	37.1	92.0										
	4	135	338	78.3	170.3										
	5	136	474	101.7	272.0										
	6	160	634	98.0	370.0										
6	1	28	662	68.7	438.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2	18	680	42.3	481.0										
	3	3	683	24.8	505.8										
	4	1	684	12.4	518.2										
	5	1	685	5.6	523.8										
	6	0	685	3.5	527.3										
7	1	0	685	1.2	528.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2	2	2	3.1	3.1										
	3	37	39	15.1	18.2										
	4	11	50	28.6	46.8										
	5	5	55	31.0	77.8										
	6	8	63	34.8	112.6										
8	1	13	76	19.8	132.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2	1	77	12.8	145.2										
	3	2	79	11.2	156.4										
	4	6	85	8.1	164.5										
	5	4	89	9.3	173.8										
	6	15	104	15.9	189.7										
9	1	8	112	14.6	204.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2	1	113	9.7	214.0										
	3	0	113	2.2	216.2										
	4	0	113	1.1	217.3										
	5	0	113	1.2	218.5										
	6	0	113	1.1	219.6										

越冬世代

第1世代



- ・表中の累積誘殺頭数は、越冬世代と第1世代を区別するため、4月第1半旬～7月第1半旬を越冬世代、7月第2半旬～調査終了時を第1世代として積算している。
- ・近江八幡市安土町大中の平年値はH20～H29の10年間の平均値。
- ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値。
- ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値。

## エ 一般ほ場における調査

### (ア) すくい取りおよび払い落とし調査

#### a ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ (越冬量調査)

(頭)

調査地点名		害虫名	ツマグロヨコバイ			ヒメトビウンカ		
			成虫	幼虫	合計	成虫	幼虫	合計
		調査月日	4/3~4					
大津市	里		10	0	10	0	0	0
	和邇		27	0	27	1	0	1
草津市	下笠町		1	1	2	2	0	2
守山市	赤野井町		0	0	0	3	1	4
栗東市	上砥山		0	0	0	0	0	0
野洲市	北		0	0	0	3	1	4
湖南市	岩根		0	0	0	0	0	0
甲賀市	水口町伴谷		0	0	0	0	0	0
	甲賀町滝		0	0	0	2	1	3
	信楽町黄瀬		0	0	0	2	0	2
近江八幡市	若宮町		11	0	11	1	0	1
	安土町上豊浦		2	0	2	1	0	1
日野町	日田		1	0	1	0	0	0
竜王町	小口		0	0	0	0	0	0
東近江市	大森町		7	0	7	3	0	3
	川合町		2	0	2	2	0	2
	石谷町		1	0	1	0	0	0
	五個荘平阪町		0	0	0	0	0	0
	栗見新田町		0	0	0	0	0	0
	鯉江町		1	0	1	0	0	0
彦根市	新海町		0	0	0	0	0	0
愛荘町	東円堂		0	0	0	0	0	0
甲良町	法養寺		0	0	0	1	0	1
多賀町	大岡		0	0	0	0	1	1
米原市	入江		0	1	1	1	0	1
	世継		0	0	0	1	0	1
	本市場		0	0	0	0	0	0
長浜市	永久寺町		0	0	0	0	0	0
	湯次		0	0	0	0	0	0
	早崎町		0	0	0	0	0	0
	高月町柳野中		0	0	0	0	0	0
	余呉町坂口		0	0	0	0	2	2
高島市	マキノ町知内		0	0	0	0	0	0
	今津町下弘部		0	0	0	1	0	1
	安曇川町北船木		3	0	3	0	0	0
	新旭町北畑		12	4	16	0	0	0

すくい取り：1地点 1筆50回振 合計虫数（成幼合計）

b セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ

(頭)

調査地点名	害虫名 調査方法 調査月日	セジロウンカ			トビイロウンカ			ヒメトビウンカ		ツマグロヨコバイ		フタオビコヤガ
		すくい取り		払落	すくい取り		払落	すくい取り		すくい取り		払落
		7/4~10	8/8~17	8/8~17	7/4~10	8/8~17	8/8~17	7/4~10	8/8~17	7/4~10	8/8~17	6/26~27
大津市	関津	0	0	2	0	0	0	6	138	0	0	0
	和邇南浜	0	0	0	0	0	0	0	136	1	69	0
草津市	下笠町	0	0	0	0	0	0	4	239	2	696	0
守山市	赤野井町	0	0	0	0	0	0	24	631	0	0	0
栗東市	上砥山	0	0	0	0	0	0	11	191	0	0	0
野洲市	北	0	0	0	0	0	0	25	501	0	65	0
湖南市	岩根	0	0	0	0	0	0	2	30	0	0	0
甲賀市	水口町山	0	0	0	0	0	0	3	18	0	0	0
	甲賀町滝	0	0	0	0	0	0	2	133	0	0	0
	信楽町黄瀬	0	0	0	0	0	0	7	37	0	0	0
近江八幡市	野村町	0	0	0	0	0	0	5	64	0	0	0
	安土町西老蘇	0	0	0	0	0	0	25	658	0	0	0
日野町	十禅師	0	0	0	0	0	0	1	460	0	2	0
竜王町	小口	0	0	0	0	0	0	10	57	0	0	0
東近江市	林田町	0	0	0	0	0	0	20	436	0	0	0
	川合町	0	0	0	0	0	0	1	93	0	0	0
	石谷町	0	0	0	0	0	0	6	3	0	0	0
	五個荘平阪町	0	0	0	0	0	0	17	169	0	0	0
	栗見新田町	0	0	0	0	0	0	4	22	0	1	0
	鯉江町	0	0	0	0	0	0	55	41	0	16	0
彦根市	新海町	0	0	0	0	0	0	1	36	0	0	0
愛荘町	東円堂	0	1	0	0	0	0	28	991	0	7	0
甲良町	法養寺	0	0	0	0	0	0	24	335	0	0	0
多賀町	月之木	0	0	0	0	0	0	20	316	0	0	0
米原市	本市場	0	0	0	0	0	0	1	17	0	0	0
	入江	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0
	西円寺	0	0	0	0	0	0	5	24	0	4	0
長浜市	永久寺町	0	0	0	0	0	0	0	12	0	1	0
	湯次町	0	0	0	0	0	0	3	7	1	0	0
	早崎町	0	0	0	0	0	0	9	113	1	4	0
	高月町柳野中	0	0	0	0	0	0	1	120	0	47	0
	余呉町坂口	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0
高島市	マキノ町知内	0	0	0	0	0	0	1	32	0	0	0
	今津町上弘部	0	3	0	0	0	0	3	70	0	0	0
	安曇川町北船木	0	0	0	0	0	0	1	50	0	0	1
	新旭町北畑	0	0	0	0	0	0	0	73	0	14	0

すくい取り：1地点 1筆10回 5筆50回振 合計虫数（成幼合計）

払い落とし：1地点 1筆5株 5筆25株 合計虫数（成幼合計、ただしフタオビコヤガは幼虫のみ）

c 斑点米カメムシ類（7月11日基準調査）

（頭）

調査地点名	調査月日 調査場所 害虫名	7/4～10									
		本田					畦畔				
		ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカスジ カスミカメ	その他 斑点米 カメムシ類	ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカスジ カスミカメ	その他 斑点米 カメムシ類
大津市	関津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	和邇南浜	0	1	0	0	0	0	4	0	78	14
草津市	下笠町	0	0	0	0	0	1	0	0	9	0
守山市	赤野井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
栗東市	上砥山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
野洲市	北	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
湖南市	岩根	0	0	0	0	0	4	0	0	15	0
甲賀市	水口町山	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	甲賀町滝	1	2	0	0	0	3	2	0	3	5
	信楽町黄瀬	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
近江八幡市	野村町	0	0	0	0	0	6	0	0	19	2
	安土町西老蘇	0	0	0	0	0	0	0	0	21	4
日野町	十禅師	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3
竜王町	小口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
東近江市	林田町	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
	川合町	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0
	石谷町	0	0	0	0	0	3	0	0	10	0
	五個荘平阪町	0	0	0	0	0	1	0	0	16	6
	栗見新田町	0	0	0	0	0	6	0	0	10	5
	鯉江町	2	0	0	0	0	2	0	0	8	0
彦根市	新海町	0	0	0	0	0	2	0	0	7	6
愛荘町	東円堂	0	0	0	0	0	0	0	0	173	17
甲良町	法養寺	0	0	0	0	0	2	0	0	54	14
多賀町	月之木	0	0	0	1	0	3	7	0	56	18
米原市	本市場	0	0	0	0	0	0	0	0	47	25
	入江	1	0	0	0	0	6	0	1	3	1
	西円寺	0	0	0	0	1	6	1	0	32	11
長浜市	永久寺町	0	0	0	1	0	11	0	0	14	0
	湯次町	0	0	0	0	1	2	0	0	22	7
	早崎町	0	0	0	0	0	9	0	0	52	14
	高月町柳野中	0	0	0	0	0	2	0	1	106	17
	余呉町坂口	0	0	0	0	0	2	0	0	40	5
高島市	マキノ町知内	0	0	0	0	0	0	0	1	37	15
	今津町上弘部	0	0	0	0	0	5	0	0	238	6
	安曇川町北船木	0	0	0	0	0	3	0	0	21	1
	新旭町北畑	0	0	0	0	0	28	0	4	76	3

すくい取り：1地点 1筆10回 5筆50回振 合計虫数（成幼合計）

d 斑点米カメムシ類（糊熟期調査）

(頭)

調査地点名		調査月日	8/8～17				
		イネの生育ステージ	糊熟期				
		害虫名	ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカスジ カスミカメ	その他 斑点米 カメムシ類
大津市	関津	0	0	0	0	0	
	和邇南浜	1	5	1	5	0	
草津市	下笠町	0	0	1	2	0	
守山市	赤野井町	0	0	0	0	1	
栗東市	上砥山	0	0	0	0	0	
野洲市	北	0	0	0	2	0	
湖南市	岩根	2	1	0	0	0	
甲賀市	水口町山	0	0	0	0	0	
	甲賀町滝	4	0	0	2	0	
	信楽町黄瀬	0	0	0	0	0	
近江八幡市	野村町	0	0	0	0	0	
	安土町西老蘇	0	0	0	0	0	
日野町	十禅師	1	1	0	2	0	
竜王町	小口	0	0	0	0	0	
東近江市	林田町	0	0	0	0	0	
	川合町	0	0	0	0	1	
	石谷町	0	0	0	0	0	
	五個荘平阪町	0	0	0	0	0	
	栗見新田町	0	0	0	0	0	
	鯨江町	0	0	0	0	0	
彦根市	新海町	0	0	0	0	0	
愛荘町	東円堂	1	0	0	61	0	
甲良町	法養寺	0	0	0	2	0	
多賀町	月之木	0	0	0	0	0	
米原市	本市場	0	0	0	0	0	
	入江	1	0	0	0	0	
	西円寺	0	0	0	0	0	
長浜市	永久寺町	0	0	0	1	0	
	湯次町	0	0	0	0	0	
	早崎町	0	0	0	0	0	
	高月町柳野中	0	0	0	4	0	
	余呉町坂口	0	1	0	0	0	
	マキノ町知内	0	0	1	0	0	
高島市	今津町上弘部	0	0	0	0	0	
	安曇川町北船木	0	0	0	0	0	
	新旭町北畑	0	0	0	8	0	

すくい取り：1地点 1筆10回 5筆50回振 合計虫数（成幼合計）

e コバネイナゴ

(頭)

調査地点名	調査月日 調査場所	7/4~10		8/8~17
		本田	畦畔	本田
大津市	関津	1	0	1
	和邇南浜	35	4	0
草津市	下笠町	10	0	6
守山市	赤野井町	1	0	0
栗東市	上砥山	1	0	0
野洲市	北	0	0	0
湖南市	岩根	3	0	2
甲賀市	水口町山	2	0	0
	甲賀町滝	5	2	6
	信楽町黄瀬	1	0	0
近江八幡市	野村町	14	0	0
	安土町西老蘇	1	0	0
日野町	十禅師	0	1	0
竜王町	小口	3	0	0
東近江市	林田町	0	0	0
	川合町	0	0	0
	石谷町	5	0	1
	五個荘平阪町	11	0	1
	栗見新田町	2	0	0
	鯨江町	14	0	0
彦根市	新海町	0	1	0
愛荘町	東円堂	10	0	0
甲良町	法養寺	3	0	1
多賀町	月之木	1	0	0
米原市	本市場	3	0	0
	入江	12	0	2
	西円寺	5	0	0
長浜市	永久寺町	3	0	0
	湯次町	6	1	0
	早崎町	1	0	0
	高月町柳野中	29	9	2
	余呉町坂口	7	6	3
高島市	マキノ町知内	1	2	3
	今津町上弘部	11	0	1
	安曇川町北船木	12	0	6
	新旭町北畑	5	0	0

すくい取り：1地点 1筆10回 5筆50回振 合計虫数 (成幼合計)



## (イ) 発生量調査

## a 地点別調査結果

病害虫名 調査地点名		葉いもち		穂いもち		紋 枯 病		もみ枯細菌病		白葉枯病	
		発 生 ほ場率	平 均 発病度	発 生 ほ場率	平均発 病穂率	発 生 ほ場率	平 均 発病度	発 生 ほ場率	平均発 病株率	発 生 ほ場率	平 均 発病度
大 津 市	関 津	100	12.0	20	0.04	100	2.6	0	0	20	0.2
	和 邇 南 浜	0	0	0	0	60	0.6	0	0	0	0
草 津 市	下 笠 町	0	0	40	0.07	80	1.0	0	0	0	0
守 山 市	赤 野 井 町	80	4.0	0	0	100	5.6	0	0	0	0
栗 東 市	上 砥 山	80	4.0	0	0	80	0.8	0	0	0	0
野 洲 市	北	20	0.8	20	0.03	100	7.4	0	0	0	0
湖 南 市	岩 根	0	0	20	0.04	100	10.2	0	0	20	0.4
甲 賀 市	水 口 町 山	0	0	0	0	80	1.4	0	0	0	0
	甲 賀 町 滝	0	0	40	0.07	40	0.6	0	0	0	0
	信 楽 町 黄 瀬	0	0	20	0.04	100	4.0	0	0	0	0
近 江 八 幡 市	野 村 町	20	0.8	40	0.13	100	6.0	0	0	0	0
	安 土 町 西 老 蘇	0	0	60	0.10	100	2.4	0	0	0	0
日 野 町	十 禅 師	0	0	20	0.04	100	12.4	0	0	0	0
竜 王 町	小 口	0	0	20	0.04	100	11.2	0	0	0	0
東 近 江 市	林 田 町	0	0	60	0.10	100	4.6	0	0	0	0
	川 合 町	0	0	0	0	100	11.2	0	0	0	0
	石 谷 町	0	0	40	0.06	60	1.6	0	0	20	0.2
	五 個 荘 平 阪 町	0	0	0	0	100	1.4	0	0	0	0
	栗 見 新 田 町	0	0	0	0	100	1.8	0	0	0	0
	鯉 江 町	0	0	40	0.06	100	4.8	0	0	0	0
彦 根 市	新 海 町	20	0.8	20	0.04	40	0.6	0	0	0	0
愛 荘 町	東 円 堂	0	0	20	0.03	100	5.6	0	0	0	0
甲 良 町	法 養 寺	0	0	20	0.04	100	1.6	0	0	0	0
多 賀 町	月 之 木	0	0	20	0.03	100	3.0	0	0	0	0
米 原 市	本 市 場	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0
	入 江	0	0	0	0	100	1.0	0	0	0	0
	西 円 寺	0	0	0	0	20	0.2	0	0	0	0
長 浜 市	永 久 寺 町	0	0	60	0.11	80	2.2	0	0	0	0
	湯 次 町	0	0	0	0	40	0.4	0	0	0	0
	早 崎 町	0	0	0	0	100	16.0	0	0	0	0
	高 月 町 柳 野 中	0	0	40	0.07	100	24.4	0	0	0	0
	余 呉 町 坂 口	0	0	0	0	20	0.2	0	0	0	0
高 島 市	マキノ町知内	0	0	20	0.04	40	1.2	0	0	0	0
	今津町上弘部	0	0	20	0.04	20	0.2	0	0	0	0
	安曇川町北船木	100	4.0	100	0.19	60	1.6	0	0	0	0
	新旭町北畑	20	0.8	0	0	80	0.8	0	0	0	0

1 地点5筆調査。発生ほ場率(%)は、5筆中に対象病害が発生した筆数より算出。

平均発病度は、1筆あたり25株の発病度を調査し、5筆の平均を算出したもの。

平均発病穂(株)率(%)は、1筆あたり25株を調査して発病穂(株)率を求め、5筆の平均を算出したもの。

発病度の算出は、発生予察事業の調査実施基準(平成28年農林水産省生産局植物防疫課)に従った。

地点別調査結果（つづき）

調査地点名	病害虫名	ごま葉枯病		稲こうじ病		ばか苗病		黄萎病（立毛中）		黄萎病（再生芽）	
		発生 ほ場率	平均 発病度	発生 ほ場率	平均発 病株率	発生 ほ場率	平均発 病株率	発生 ほ場率	平均発 病株率	発生 ほ場率	平均発 病株率
大津市	関津	20	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
	和邇南浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草津市	下笠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
守山市	赤野井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗東市	上砥山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野洲市	北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湖南市	岩根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲賀市	水口町山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	甲賀町滝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	信楽町黄瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江八幡市	野村町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	安土町西老蘇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日野町	十禅師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竜王町	小口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東近江市	林田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	川合町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石谷町	40	0.6	0	0	0	0	0	0	0	0
	五個荘平阪町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栗見新田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鯉江町	0	0	20	0.4	0	0	0	0	0	0
彦根市	新海町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛荘町	東円堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲良町	法養寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多賀町	月之木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
米原市	本市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入江	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西円寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長浜市	永久寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	湯次町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	早崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高月町柳野中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	余呉町坂口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高島市	マキノ町知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今津町上弘部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	安曇川町北船木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新旭町北畑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1 地点5筆調査。発生ほ場率（％）は、5筆中に対象病害が発生した筆数より算出。

平均発病度は、1筆あたり25株の発病度を調査し、5筆の平均を算出したもの。

平均発病株率（％）は、1筆あたり稲こうじ病で50株、ばか苗病で100株、黄萎病（立毛中）で25株、黄萎病（再生芽）で400株を調査して発病株率を求め、5筆の平均を算出したもの。

発病度の算出は、発生予察事業の調査実施基準（平成28年農林水産省生産局植物防疫課）に従った。

地点別調査結果（つづき）

調査地点名	病害虫名	縞葉枯病(立毛中)		縞葉枯病(再生芽)		イネミズゾウムシ		イネドロオイムシ	
		発生ほ場率	平均発病株率	発生ほ場率	平均発病株率	発生ほ場率	平均被害度	発生ほ場率	平均被害度
大津市	関津	80	3.2	80	0.7	100	20.2	0	0
	和邇南浜	0	0	40	0.1	100	1.0	40	1.2
草津市	下笠町	20	0.8	100	7.3	100	15.0	0	0
守山市	赤野井町	100	4.0	100	8.0	80	8.2	0	0
栗東市	上砥山	100	4.0	100	12.0	100	2.0	20	0.2
野洲市	北	100	6.4	100	25.4	100	26.2	0	0
湖南市	岩根	100	7.2	100	3.2	100	19.8	0	0
甲賀市	水口町山	60	2.4	80	0.6	100	5.4	100	6.0
	甲賀町滝	40	1.6	60	0.4	60	10.4	60	1.6
	信楽町黄瀬	100	5.6	100	2.1	80	1.0	80	2.6
近江八幡市	野村町	100	4.0	100	9.4	100	7.0	0	0
	安土町西老蘇	100	7.2	100	0.9	20	0.2	0	0
日野町	十禅師	100	4.0	100	0.7	100	29.6	20	0.4
竜王町	小口	100	10.4	100	40.4	60	10.0	0	0
東近江市	林田町	100	4.0	100	0.5	20	0.2	0	0
	川合町	100	8.8	100	1.2	100	28.2	0	0
	石谷町	80	3.2	0	0	80	3.4	0	0
	五個荘平阪町	100	5.6	80	0.3	80	5.0	0	0
	栗見新田町	80	3.2	100	1.9	80	0.8	0	0
	鯉江町	100	4.8	80	1.9	100	31.0	0	0
彦根市	新海町	40	1.6	100	0.4	100	1.0	0	0
愛荘町	東円堂	40	1.6	80	0.6	100	7.0	0	0
甲良町	法養寺	60	2.4	80	0.3	100	11.0	0	0
多賀町	月之木	0	0	80	0.2	100	3.0	0	0
米原市	本市場	40	1.6	20	0.1	60	5.0	0	0
	入江	0	0	60	0.2	100	12.0	0	0
	西円寺	0	0	80	0.3	60	4.2	40	0.4
長浜市	永久寺町	0	0	0	0	60	6.2	0	0
	湯次町	0	0	0	0	80	5.6	0	0
	早崎町	20	0.8	80	0.3	100	5.0	0	0
	高月町柳野中	0	0	0	0	100	18.0	0	0
	余呉町坂口	0	0	0	0	20	0.2	20	0.2
高島市	マキノ町知内	0	0	20	0.1	100	21.4	0	0
	今津町上弘部	0	0	20	0.1	100	12.0	0	0
	安曇川町北船木	0	0	100	0.3	100	30.0	20	0.2
	新旭町北畑	0	0	20	0.1	100	17.0	0	0

1 地点5筆調査。発生ほ場率(%)は、5筆中に対象病害虫が発生した筆数より算出。

平均発病株率(%)は、1筆あたり縞葉枯病(立毛中)で25株、縞葉枯病(再生芽)で400株を調査して発病株率を求め、5筆の平均を算出したもの。

平均被害度は、1筆あたり25株の被害度を調査し、5筆の平均を算出したもの。

被害度の算出は、発生予察事業の調査実施基準(平成28年農林水産省生産局植物防疫課)に従った。

地点別調査結果（つづき）

調査地点名		病害虫名		ニカメイガ(1)		ニカメイガ(2)		イチモンジセセリ	コブノメイガ		イネクロカメムシ
		発生ほ場率	平均被害株率	発生ほ場率	平均被害株率	発生ほ場率	発生ほ場率	平均被害株率	発生ほ場率		
大津市	関津	60	3.2	0	0	0	0	0	0	0	
	和邇南浜	80	4.0	100	4.0	0	0	0	0	0	
草津市	下笠町	100	12.8	20	1.6	0	0	0	0	0	
守山市	赤野井町	100	12.8	100	6.4	20	0	0	0	0	
栗東市	上砥山	100	5.6	40	1.6	20	0	0	0	0	
	北	100	29.6	100	6.4	20	0	0	0	0	
湖南市	岩根	80	3.2	60	2.4	80	0	0	0	0	
甲賀市	水口町山	80	3.2	40	1.6	20	0	0	0	0	
	甲賀町滝	40	1.6	60	2.4	0	0	0	0	0	
	信楽町黄瀬	20	0.8	0	0	0	0	0	0	0	
近江八幡市	野村町	80	15.2	80	3.2	0	0	0	0	0	
	安土町西老蘇	100	5.6	100	4.0	0	0	0	0	0	
日野町	十禅師	80	4.0	40	1.6	0	0	0	0	0	
竜王町	小口	100	10.4	60	2.4	0	0	0	0	0	
東近江市	林田町	100	11.2	80	4.8	40	0	0	0	0	
	川合町	100	5.6	40	3.2	20	0	0	0	0	
	石谷町	100	10.4	80	3.2	0	0	0	0	0	
	五個荘平阪町	100	6.4	60	2.4	0	0	0	0	0	
	栗見新田町	80	6.4	100	4.0	0	0	0	0	0	
	鯉江町	100	6.4	80	3.2	20	0	0	0	0	
彦根市	新海町	80	3.2	80	3.2	0	0	0	0	0	
愛荘町	東円堂	100	6.4	0	0	0	0	0	0	0	
甲良町	法養寺	100	10.4	100	4.0	0	0	0	0	0	
多賀町	月之木	100	7.2	60	2.4	0	20	0.2	0	0	
米原市	本市場	60	2.4	100	4.0	0	0	0	0	0	
	入江	40	1.6	100	4.0	0	0	0	0	0	
	西円寺	100	8.8	100	4.0	0	0	0	0	0	
長浜市	永久寺町	100	8.8	100	4.0	0	0	0	0	0	
	湯次町	60	2.4	40	1.6	0	0	0	0	0	
	早崎町	100	9.6	100	4.0	0	0	0	0	0	
	高月町柳野中	100	8.0	80	3.2	20	0	0	0	0	
	余呉町坂口	0	0	20	0.8	0	0	0	0	0	
高島市	マキノ町知内	20	1.6	100	4.0	0	0	0	0	0	
	今津町上弘部	100	4.0	100	4.0	0	0	0	0	0	
	安曇川町北船木	80	3.2	100	4.0	20	0	0	0	0	
	新旭町北畑	100	7.2	100	4.0	0	0	0	0	0	

1 地点5筆調査。発生ほ場率（％）は、5筆中に対象害虫が発生した筆数より算出。

平均被害株率（％）は、1筆あたり25株を調査し、被害株率を求めた上で、5筆の平均を算出したもの。

b 地域別集計表

病害虫名	薬いもち				穂いもち				紋枯病			
	発病度		ほ場率(%)		発病率(%)		ほ場率(%)		発病度		ほ場率(%)	
	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
地域	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
大津南部	3.5	2.7	46.7	40.6	0.0	0.5	13.3	51.4	3.0	14.7	86.7	87.1
甲賀	0	1.9	0	32.8	0.0	1.0	20.0	48.0	4.1	7.0	80.0	75.6
東近江	0.1	1.4	2.0	28.5	0.1	0.6	28.0	54.2	5.7	14.9	96.0	88.1
湖東	0.2	0.6	5.0	7.9	0.0	0.3	20.0	48.7	2.7	7.1	85.0	68.1
湖北	0	0.4	0	10.4	0.0	0.4	12.5	47.1	5.6	5.5	57.5	64.9
高島	1.2	1.8	30.0	26.0	0.1	2.0	35.0	73.0	1.0	7.7	50.0	71.0
全県	0.8	1.4	12.2	24.2	0.0	0.7	21.1	52.8	4.2	10.0	77.8	76.9

病害虫名	もみ枯細菌病				白葉枯病				ごま葉枯病			
	発病株率(%)		ほ場率(%)		発病度		ほ場率(%)		発病度		ほ場率(%)	
	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
地域	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
大津南部	0	-	0	-	0.0	0.4	3.3	17.4	0.0	0.2	3.3	7.4
甲賀	0	-	0	-	0.1	3.2	5.0	31.2	0	0.4	0	12.8
東近江	0	-	0	-	0.0	0.5	2.0	21.9	0.1	0.3	4.0	7.9
湖東	0	-	0	-	0	0.0	0	1.6	0	0.0	0	1.5
湖北	0	-	0	-	0	0.0	0	1.1	0	0.1	0	4.2
高島	0	-	0	-	0	0.0	0	2.5	0	0.4	0	8.5
全県	0	-	0	-	0.0	0.5	1.7	13.1	0.0	0.2	1.7	6.9

病害虫名	稲こうじ病				ばか苗病				黄萎病(立毛中)			
	発病株率(%)		ほ場率(%)		発病株率(%)		ほ場率(%)		発病株率(%)		ほ場率(%)	
	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
地域	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
大津南部	0	0.1	0	0.9	0	-	0	-	0	0	0	0
甲賀	0	0.1	0	2.0	0	-	0	-	0	0	0	0
東近江	0.0	0.1	2.0	2.8	0	-	0	-	0	0	0	0
湖東	0	0.2	0	2.7	0	-	0	-	0	0	0	0
湖北	0	0.9	0	8.0	0	-	0	-	0	0	0	0
高島	0	0.2	0	3.5	0	-	0	-	0	0	0	0
全県	0.0	0.3	0.6	3.6	0	-	0	-	0	0	0	0

病害虫名	黄萎病(再生芽)				縞葉枯病(立毛中)				縞葉枯病(再生芽)			
	発病株率(%)		ほ場率(%)		発病株率(%)		ほ場率(%)		発病株率(%)		ほ場率(%)	
	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
地域	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
大津南部	0	0.0	0	0.3	3.1	-	66.7	-	8.9	1.6	86.7	59.3
甲賀	0	0.0	0	1.6	4.2	-	75.0	-	1.6	0.6	85.0	43.0
東近江	0	0.0	0	1.2	5.5	-	96.0	-	5.7	0.9	86.0	54.5
湖東	0	0	0	0	1.4	-	35.0	-	0.3	0.5	85.0	47.5
湖北	0	0.0	0	1.1	0.3	-	7.5	-	0.1	0.7	30.0	45.3
高島	0	0.0	0	1.0	0	-	0	-	0.0	0.1	40.0	15.6
全県	0	0.0	0	0.9	2.7	-	51.7	-	3.3	0.8	68.3	47.1

病害虫名	イネミズゾウムシ				イネドロオイムシ				ニカメイガ第1世代			
	被害度		ほ場率(%)		被害度		ほ場率(%)		被害株率(%)		ほ場率(%)	
	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
地域	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
大津南部	12.1	12.8	96.7	83.1	0.2	0.2	10.0	8.6	11.3	16.8	90.0	76.0
甲賀	9.2	14.6	85.0	81.6	2.6	0.8	60.0	23.6	2.2	10.2	55.0	60.4
東近江	11.5	17.0	74.0	83.7	0.0	0.5	2.0	11.1	8.2	13.5	94.0	78.8
湖東	5.5	4.9	100	72.7	0	0.1	0	2.1	6.8	13.0	95.0	66.7
湖北	7.0	14.9	72.5	74.9	0.1	0.2	7.5	9.1	5.2	9.7	70.0	57.3
高島	20.1	37.2	100	97.0	0.1	0.4	5.0	16.5	4.0	4.0	75.0	43.5
全県	10.6	16.0	84.4	81.3	0.4	0.4	11.1	11.4	6.8	11.8	81.7	66.1

病害虫名	ニカメイガ第2世代				イチモンジセセリ		コブノメイガ				イネクロカメムシ	
	被害株率(%)		ほ場率(%)		ほ場率(%)		被害株率(%)		ほ場率(%)		ほ場率(%)	
	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
地域	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平	本	平
大津南部	3.3	9.0	60.0	67.4	10.0	18.6	0	4.0	0	21.1	0	1.7
甲賀	1.6	6.3	40.0	62.0	25.0	9.6	0	4.1	0	16.0	0	0
東近江	3.2	9.9	72.0	81.3	8.0	16.8	0	2.4	0	17.2	0	3.4
湖東	2.4	6.8	60.0	86.5	0	18.5	0.1	0.8	5.0	18.9	0	0
湖北	3.2	4.8	80.0	79.6	2.5	22.9	0	2.0	0	32.0	0	0.4
高島	4.0	3.4	100	67.5	5.0	18.5	0	6.7	0	41.0	0	0
全県	3.0	7.1	70.0	75.4	7.8	17.7	0.0	3.0	0.6	23.7	0	1.2

発病度および被害度の算出は、発生予察事業の調査実施基準（平成28年農林水産省生産局植物防疫課）に従った。

もみ枯細菌病、ばか苗病、縞葉枯病（立毛中）は平成28年度から調査開始のため平年値なし。

縞葉枯病（再生芽）の平年は過去8年の平均値。

c 精密調査ほ調査結果

調査地点名	害虫名 月日	斑点米カメムシ類(頭)		斑点米被害率(%)				
		畦畔発生量	本田発生量	標準斑点米	黒触粒	尻黒粒	基部加害型	合計
		6/26~27	7/30~8/3	収穫後				
大津市	関津	9	0	0.11	0.02	0.08	0.02	0.21
	和邇南浜	19	16	0.21	0	0.01	0	0.22
草津市	下笠町	13	1	0	0	0.01	0	0.01
守山市	赤野井町	-	0	0.01	0	0	0	0.01
栗東市	上砥山	1	0	0.03	0	0.06	0	0.09
野洲市	北	5	-	0	0	0.14	0	0.14
湖南市	岩根	2	-	0.01	0	0.08	0	0.10
甲賀市	水口町山	-	0	0.10	0.07	0.15	0	0.31
	甲賀町滝	-	18	0.21	0.03	0.03	0.13	0.40
	信楽町黄瀬	-	0	0.07	0	0	0.04	0.11
近江八幡市	野村町	0	0	0.05	0	0.03	0	0.08
	安土町西老蘇	-	2	0.02	0	0.02	0	0.04
日野町	十禅師	13	-	0.02	0	0.06	0	0.08
竜王町	小口	0	0	0.06	0	0.02	0	0.08
東近江市	林田町	-	1	0	0	0	0	0
	川合町	7	2	0.10	0	0.11	0	0.22
	石谷町	-	-	0.06	0	0.05	0	0.11
	五個庄平阪町	-	0	0.01	0.03	0.01	0	0.06
	栗見新田町	20	0	0.02	0	0.07	0	0.09
	鯉江町	-	1	0.10	0	0	0	0.10
彦根市	新海町	-	0	0	0	0.01	0	0.01
愛荘町	東円堂	-	39	2.04	0.52	0.57	0	3.13
甲良町	法養寺	-	11	0.35	0.02	0.21	0	0.58
多賀町	月之木	13	0	0.17	0.03	0.11	0	0.31
米原市	本市場	-	3	0.36	0.03	0.10	0	0.49
	入江	0	-	0.74	0.01	0.12	0	0.87
	西円寺	17	1	0.03	0	0.03	0.01	0.06
長浜市	永久寺町	1	2	0.07	0.01	0.17	0	0.25
	湯次町	-	2	0.01	0	0.03	0	0.04
	早崎町	-	0	0	0.02	0.06	0	0.08
	高月町柳野中	-	-	0.01	0.08	0.11	0	0.20
	余呉町坂口	-	0	0.01	0	0	0	0.01
高島市	マキノ町知内	-	-	0.38	0.01	0.01	0	0.40
	今津町上弘部	-	2	0.20	0	0	0	0.20
	安曇川町北船木	11	2	0	0	0.08	0	0.08
	新旭町北畑	14	29	0.10	0.02	0.07	0	0.19

畦畔の斑点米カメムシ類発生量は捕虫網10回振り調査、-は畦畔除草されていたことを示す。  
 本田の斑点米カメムシ類発生量は捕虫網50回振り調査、-は出穂していなかったことを示す。  
 斑点米被害率はランダムにサンプリングした100穂の全粒から求めた値。なお各斑点米被害率の値は四捨五入をしているため、それらの合計が、合計欄の値と合致しない場合がある。

d 水稻病虫害発生量調査定点配置図 (36か所)



## オ 初発見月日と初発見場所

病害名	初発見月日	初発見場所
葉いもち(置苗)	6/4	近江八幡市島町
葉いもち	6/21	近江八幡市島町
穂いもち	7/30	高島市マキノ町蛭口
紋枯病	6/26	東近江市鯉江町
白葉枯病	8/24	近江八幡市安土町大中
ぼか苗病	5/30	東近江市芝原町
もみ枯細菌病	-	-
ごま葉枯病	9/3	東近江市石谷町
縞葉枯病	6/26	野洲市北
黄萎病	-	-
稲こうじ病	8/21	東近江市鯉江町

害虫名	初発見月日	初発見場所
ニカメイガイ	4/20	近江八幡市安土町大中 (PT)
	5/29	長浜市湖北町山本 (L)
セジロウンカ	7/30	近江八幡市安土町大中 (A予察灯)
トビイロウンカ	-	-
ヒメトビウンカ	4/3	野洲市北 (Aすくい取り)
ツマグロヨコバイ	4/3	草津市下笠町 (Aすくい取り)
イナズマヨコバイ	5/1	大津市里 (A予察灯)
イネドロオイムシ	5/28	長浜市島羽上町 (L)
イネクロカメムシ	6/5	近江八幡市安土町大中 (A)
ホソハリカメムシ	5/1	近江八幡市西生来町 (A)
クモヘリカメムシ	6/26	米原市西円寺 (Aすくい取り)
トゲシラホシカメムシ	5/15	甲良町法義寺 (A)
アカスジカスミカメ	5/14	近江八幡市安土町大中 (A)
アカヒゲホソミドリカスミカメ	5/14	近江八幡市安土町大中 (A)
イネカメムシ	7/4	大津市里 (A予察灯)
イチモンジセセリ	6/12	野洲市北 (L)
フタオビコヤガ	6/5	守山市矢島町 (A予察灯)
イネヨトウ	5/13	長浜市難波町 (A予察灯)
コブノメイガイ	7/31	多賀町月之木 (L)
イネミズゾウムシ	4/21	高島市今津町日置前 (A予察灯)
コバネイナゴ	5/14	近江八幡市安土町大中 (L)
クサキ	6/27	野洲市北 (Lすくい取り)
サキ	6/27	野洲市北 (Lすくい取り)
スクミリンゴガイ	5/14	野洲市小南 (A)

注：初発見場所（ ）内

A：成虫、L：幼虫、PT：フェロモントラップ

## カ 程度別発生面積と防除面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
イネ	32,900	葉いもち	0	0	100	3900	4000	12.2	0.3	13000	13000
		穂いもち	0	0	100	6800	6900	21.0	0.3	6900	6900
		紋枯病	0	0	1500	15000	16500	50.2	4.6	1600	1600
		白葉枯病	0	0	0	1000	1000	3.0	0.0	6000	6000
		ぼか苗病	0	0	0	400	400	1.2	0.0	7000	7000
		もみ枯細菌病	0	0	0	0	0	0.0	0.0	1000	1000
		ごま葉枯病	0	0	0	500	500	1.5	0.0	0	0
		縞葉枯病	0	0	1000	16000	17000	51.7	3.0	23000	24000
		黄萎病	0	0	0	10	10	0.0	0.0	0	0
		稲こうじ病	0	0	0	800	800	2.4	0.0	2000	2000
		ニカメイガイ I	0	50	600	12000	12650	38.4	2.0	13000	13000
		ニカメイガイ II	0	10	450	12000	12460	37.9	1.4	9000	9000
		セジロウンカ	0	0	0	5000	5000	15.2	0.0	24000	25000
		トビイロウンカ	0	0	0	100	100	0.3	0.0	24000	25000
		ヒメトビウンカ	0	100	200	13000	13300	40.4	0.9	24000	25000
		ツマグロヨコバイ	0	0	100	13000	13100	39.8	0.3	24000	25000
		イネドロオイムシ	0	0	200	6000	6200	18.8	0.6	14000	14000
		斑点米カメムシ類	0	30	500	14500	15030	45.7	1.6	23000	24000
		イチモンジセセリ	0	0	0	2000	2000	6.1	0.0	3000	3000
		フタオビコヤガ	0	0	0	2000	2000	6.1	0.0	9000	9000
コブノメイガイ	0	0	0	400	400	1.2	0.0	0	0		
イネミズゾウムシ	30	100	500	23000	23630	71.8	1.9	14000	14000		
コバネイナゴ	0	10	10	25000	25020	76.0	0.1	8000	8000		

ニカメイガイ I、II は第 1 世代、第 2 世代を指す

被害面積率 = 甚～中発生面積 / 栽培面積 × 100



## (2) ムギ (平成29年秋播き)

### ア 生育概況

10月下旬は降雨が続き、降水量も非常に多かったため、ほ場の乾田化が進まず、全般に播種作業は平年より遅れた。播種後、気温が低く推移したため、平年よりも出芽までに日数を要した。

播種時期が遅れたことに加え、11月中旬以降の低温により生育は遅れ、平年より草丈は短く、生育量は小さくなった。特に、11月中旬に播種されたほ場では、分けつが進まず、茎数は平年よりかなり少なくなった。2月第3半旬以降、気温は平年並～やや高く、日照時間は多くなったことから生育の遅れを取り戻し、平年並まで生育量は回復したが、11月中旬以降に播種されたほ場では生育の差がみられた。

出穂期は平年よりやや遅れたが、4月下旬の平均気温が高かったことから開花までの日数は平年より短く、開花期は平年並～やや早く、穂数は概ね平年並となった。出穂にばらつきが見られたが、遅れ穂の発生は少なかった。5月は平年並の気温で推移したが、開花期が早まったことにより、成熟期は、小麦で平年より1～2日早く、六条大麦で3日早くなった。6月は周期的に降雨があったが、収穫作業は概ね順調に進み、小麦では、収量は概ね平年並～やや多く、品質は良く、大麦では、収量・品質ともに平年並～やや良となった。

### イ 発生状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
コムギ	うどんこ病	遅	平年並	ほ場での初発確認は5月29日であった。発生時期は遅く、発生も一部地域に限られた。	肥培管理が適正に行われ、窒素過多のほ場が少なかったことから、発生量は平年並となった。	本病への薬剤防除は未実施。
	赤かび病	平年並	やや多	ほ場での初発確認は5月9日であった。発生時期は平年並であった。発生は全域であり、発生量はやや多となった。	4月5半旬に降水が確認されなかったことから、菌の増殖に好適条件となり、4月6半旬の開花期にかけて降水がなかったため、菌の飛散と感染に好適条件になった。全体として、発生量は、やや多となった。	開花期頃から1～2回の薬剤防除。
	黒節病	遅	やや少	ほ場での初発確認は4月10日であった。発生時期は遅く、発生は一部地域に限られた。	1-2月にかけて気温が低く、生育が遅れたため、初発時期は遅く、発生量は、やや少なくなった。	排水対策の徹底や適期播種などによる耕種防除。
オオムギ	うどんこ病	遅	多	ほ場での初発確認は4月24日であった。発生は一部地域に限られた。	4月第3-6半旬の気温が高かったため、一部の地域で発生が増加した。近年、発生がほとんどなかったため、発生量は多となった。	本病への薬剤防除は未実施。
	赤かび病	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月8日であった。発生時期、発生量ともに平年並であったが、発生地域は全域であった。	1-2月にかけて気温が低く、生育が遅れたが、3-4月の気温が高かったことから、生育が促進され、出穂期は平年並となり、発生時期は平年並となった。4月の気温は高く、降水量は多かったため、全域での発生が見られたが、全体での発生量は平年並となった。	開花期から1～2回の薬剤防除。
	黒節病	遅	少	ほ場での初発確認は4月20日であった。発生時期は遅く、発生量は少となった。	1-2月にかけて気温が低く、生育が遅れたため、初発時期は遅く、発生量は少なくなった。	排水対策の徹底や適期播種などによる耕種防除。

## ウ 発生量調査

### (ア) オオムギ

病害虫名 調査地点名	小さび病		うどんこ病		赤かび病		黒節病		縞萎縮病
	発生 ほ場率(%)	発生 面積率(%)	発生 ほ場率(%)	発生 面積率(%)	発生 ほ場率(%)	平均 発病度	発生 ほ場率(%)	平均発病 茎率(%)	発病 面積率(%)
大津市 関津	0	0	0	0	20	0.1	0	0	0
近江八幡市 長田町	0	0	0	0	20	0.1	60	0.6	0
竜王町 岡屋	0	0	0	0	80	0.5	20	0.2	0
東近江市 芝原町	0	0	0	0	60	0.4	0	0	0
長浜市 湖北町山本	0	0	100	1.4	20	0.1	0	0	0
長浜市 口分田町	0	0	0	0	40	0.3	0	0	0
高島市 今津町上弘部	0	0	0	0	60	0.4	0	0	0
高島市 新旭町藁園	0	0	0	0	100	0.7	20	0.2	0
全 県 平 均	0	0	12.5	0.2	50	0.3	12.5	0.1	0

※調査品種

大津市関津、竜王町岡屋、東近江市芝原町、長浜市口分田町は「ミノリムギ」

近江八幡市長田町は「サチホゴールデン」

長浜市湖北町山本、高島市今津町上弘部、高島市新旭町藁園は「ファイバースノウ」

### (イ) コムギ

病害虫名 調査地点名	赤さび病		うどんこ病		赤かび病		黒節病		縞萎縮病
	発生 ほ場率(%)	発生 面積率(%)	発生 ほ場率(%)	発生 面積率(%)	発生 ほ場率(%)	平均 発病度	発生 ほ場率(%)	平均発病 茎率(%)	発病 面積率(%)
草津市 下笠町	0	0	0	0	100	0.7	0	0	1
守山市 矢島町	20	0.1	0	0	100	0.8	20	0.2	0
守山市 木浜町	0	0	0	0	100	1.3	40	0.4	0
栗東市 上砥山	0	0	0	0	20	0.1	100	1.0	0
野洲市 木部	0	0	0	0	80	0.5	60	0.6	0
野洲市 上屋	0	0	20	0.0	60	0.5	0	0	0
野洲市 野田	0	0	0	0	40	0.3	40	0.4	0
湖南市 菩提寺	0	0	0	0	100	0.8	80	0.8	0
甲賀市 水口町酒人	0	0	0	0	60	0.5	20	0.2	0
甲賀市 甲南町杉谷	0	0	0	0	100	0.7	0	0	0
近江八幡市 野村町	0	0	0	0	100	1.6	40	0.4	0
近江八幡市 安土町上豊浦	0	0	0	0	60	0.4	0	0	0
近江八幡市 上田町	0	0	0	0	100	0.7	0	0	0
日野町 日田	0	0	0	0	80	0.5	20	0.2	3
竜王町 小口	0	0	0	0	100	0.8	60	0.6	20
東近江市 川合町	0	0	0	0	20	0.1	40	0.4	0
東近江市 上羽田町	0	0	0	0	20	0.1	20	0.2	70
東近江市 福堂町	0	0	0	0	100	0.7	20	0.2	0
東近江市 一式町	20	0.1	0	0	100	0.7	40	0.4	1
東近江市 南菩提寺	0	0	0	0	80	0.5	20	0.2	5
彦根市 甘呂町	0	0	0	0	80	0.5	20	0.2	0
彦根市 本庄町	20	0.0	0	0	100	0.7	20	0.2	0
愛荘町 東円堂	0	0	0	0	100	0.7	0	0	0
豊郷町 八町	0	0	0	0	60	0.4	0	0	0
甲良町 法養寺	0	0	0	0	80	0.5	20	0.2	0
多賀町 敏満寺	0	0	0	0	100	0.7	0	0	0
米原市 世継	0	0	0	0	100	0.7	60	0.6	30
長浜市 高月町西柳野	0	0	0	0	100	0.7	0	0	0
長浜市 永久寺	0	0	0	0	100	0.7	0	0	0
長浜市 早崎町	40	0.0	0	0	40	0.3	40	0.4	0
長浜市 湖北町山本	100	0.4	0	0	60	0.4	0	0	20
全 県 平 均	6.7	0.0	0.7	0.0	78.7	0.6	25.3	0.3	5.0

※調査品種

守山市矢島町、野洲市野田「シログネコムギ」

東近江市川合町、彦根市甘呂町、彦根市本庄町、愛荘町東円堂、豊郷町八町、甲良町法養寺、多賀町敏満寺、

長浜市高月町西柳野は「ふくさやか」

その他の地点は全て「農林61号」

## エ 発生状況一覧表

病害虫名	オオムギ		コムギ	
	初発見月日	初発見場所	初発見月日	初発見場所
さび病類	—	—	5/14	彦根市本庄町
うどんこ病	4/24	長浜市湖北町山本	5/24	野洲市上屋
赤かび病	5/8	長浜市湖北町山本	5/9	甲良町法養寺
黒節病	4/20	近江八幡市長田町	4/10	栗東市上砥山
株腐病	4/10	近江八幡市長田町	4/10	湖南市岩根
縞萎縮病	—	—	3/13	東近江市林田町
アブラムシ類	4/9	高島市今津町上弘部	3/13	東近江市南菩提寺町
ハモグリバエ類	4/9	高島市今津町上弘部	4/9	長浜市湖北町山本
ムギダニ	—	—	4/10	野洲市高木

## オ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
オオムギ	676	さび病類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		うどんこ病	0	0	0	80	80	11.8	0	0	0
		赤かび病	0	0	20	200	220	32.5	3.0	676	1352
		黒節病	0	0	0	80	80	11.8	0	0	0
コムギ	6946	さび病類	0	0	0	400	400	5.8	0	0	0
		うどんこ病	0	0	0	50	50	0.7	0	0	0
		赤かび病	0	0	100	1200	1300	18.7	1.4	6946	10000
		黒節病	0	0	100	1700	1800	25.9	1.4	0	0

被害面積率 = (程度別発生面積の甚～中の和) / (栽培面積)

### (3) ジャガイモおよびサツマイモ

#### ア 発生状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ジャガイモ	疫病	早	平年並	ほ場での初発確認は5月29日で発生時期は平年並、発生量は、やや少なかった。	5月中旬から6月下旬にかけて降水量は平年並で推移したことから、発生時期は平年並となった。その後、7月の高温により発生量は、やや少となった。	発生初期に防除の実施。
	アブラムシ類	遅	やや少	ほ場での初発確認は5月14日で、発生時期は遅く、全体の発生量は、やや少なかった。	4月～9月まで、黄色水盤での誘殺数は全般に少なかった。多雨や集中豪雨の後、減少する傾向がみられた。	定植時の粒剤施用など、多くは発生初期の防除。
ジャガイモ サツマイモ	ハスモンヨトウ	-	少	ほ場での発生は認められなかった。なお、9月第2半旬にフェロントラップでの誘殺が急増し、多飛来が確認された。	フェロントラップへの誘殺数は平年並で、野菜類での発生量は、やや少なかった。8月23日と9月4日の台風通過時に若齢幼虫が死滅しやすい条件となり、ほ場内での増殖が抑制された。9月第2半旬に多飛来が確認されたが、通常に防除が実施されたことに加え、9月第2半旬以降、低温で推移したことから発生量は、やや少となった。	主産地では定期的な薬剤防除がされている。9月第2半旬にフェロントラップでの誘殺数が急増し、多飛来が確認されたことから、9月13日に防除情報を発表した。

#### イ 発生量調査

ジャガイモ	病害虫名	疫病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類
		発病度	被害株率 (%)	寄生度
		6/11～13	6/11～13	6/11～13
調査地点				
草津市	下笠町	2	0	4
野洲市	小南	3	0	2
湖南市	菩提寺	0	0	4
近江八幡市安土町	上豊浦	3	0	4
彦根市	松原町	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0
米原市	世継	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	10

サツマイモ	病害虫名	ハスモンヨトウ
		食害面積率 (%)
		9/18～20
調査地点		
草津市	下笠町	0
野洲市	小南	0
湖南市	菩提寺	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0
彦根市	松原町	0
甲良町	下之郷	0
米原市	世継	0
高島市今津町	深清水	0

## ウ 発生状況一覧表

作物名	病虫害名	初発見月日	初発見場所
ジャガイモ	疫病	5月29日	草津市下笠町
	アブラムシ類	5月14日	野洲市小南
	ハスモンヨトウ	—	—
サツマイモ	ハスモンヨトウ	—	—

## エ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病虫害名	程度別発生面積 (ha)					発生 面積率 (%)	被害 面積率 (%)	防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
ジャガイモ	28	疫病	0	0	0	3	3	10.7	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	2	2	7.1	0	1	1
		ハスモンヨトウ	0	0	0	1	1	3.5	0	0	0
サツマイモ	30	ハスモンヨトウ	0	0	0	1	1	3.3	0	0	0

※被害面積率=(程度別発生面積甚～中の和)/(栽培面積)

(4) ダイズ

ア 生育概況

6月第3半旬からの播種(定植)作業は概ね順調に進んだが、7月初旬の大雨により一部に地域で冠水・浸水の被害が発生し、出芽不良による播き直しが行われた。7月9日の梅雨明け以降は高温寡雨による乾燥が続き、欠株や生育の遅れが目立った。6月に播種されたほ場と7月中旬に再播種されたほ場では、生育量に大きな差が生じた。全般的に生育量は小さく、平年より主茎長は短く、分枝数は少ない傾向となった。8月上中旬の開花期の干ばつにより、落花、落莢が発生し、平年より着莢数は少なくなった。

8月下旬～9月上旬は、3度の台風の影響を受け、倒伏や茎葉の損傷、稔実不良、葉焼病の発生が見られた。9月は降雨日が多く、日照時間は平年の53%と少なかったため、湿害や日照不足により子実肥大が不良となった。また、8月下旬から雑草が繁茂するほ場が散見された。

10月中旬から葉の黄化が始まり、着莢数が非常に少ないほ場では青立ちが見られたが、全般的に青立ちの発生程度は平年並の状況であった。全ての品種で平年より主茎長は短く、最下着莢位置は低く、莢数は少なく、小粒傾向であり、作柄は極めて不良となった。

イ 発生状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ダイズ	べと病	やや遅	少	ほ場での初発確認は8月9日であった。発生時期は、やや遅く、栽培期間を通してほ場率の増加はほとんどみられず、発生量は少なかった。	7月3半旬から8月4半旬にかけて降水量が少なく、日照時間は多かったことから、発生時期は、やや遅く、感染拡大は抑制されたため、発生量は少なくなった。	本病への薬剤防除は未実施。
	葉焼病	遅	平年並	ほ場での初発確認は8月21日であった。発生時期は、やや遅かったが、台風の通過後に発生量は全域で増加した。	8月上旬から中旬にかけて降水量が少なく推移したため、発生時期は遅かった。台風20号(8/18)、台風21号(9/4)の影響により発生量が増加したが、全体の発生量は平年並となった。	本病への薬剤防除は未実施。
	ハスモンヨトウ	早	やや少	ほ場での初発確認は7月23日で、発生時期は早く、発生量は少なかった。なお、9月第2半旬にフェモトランプでの誘殺が急増し、多飛来が確認された。	フェモトランプへの誘殺数は平年並で、ほ場への飛来量は、やや少なかった。8月23日と9月4日の台風通過により、ほ場内での若齢幼虫の増殖が抑制された。9月第2半旬に多飛来が確認されたが、通常に防除が実施されたことに加え、9月第2半旬以降、低温で推移したことから発生量は、やや少なくなった。	8月下旬以降、1～2回の薬剤防除がされている。例年、常発地では3～4回防除されることもある。9月第2半旬にフェモトランプでの誘殺数が急増し、多飛来が確認されたことから、9月13日に防除情報を発表した。
	タバコガ類	遅	平年並	ほ場での初発確認は8月9日で、発生時期は遅く、発生量は平年並であった。	8月までのフェモトランプでの誘殺数は平年並であった。常発地のほ場では増殖がみられたが、発生量は平年並となった。	ハスモンヨトウとの同時防除。
	フタスジヒメハムシ	早	平年並	ほ場での初発確認は6月26日で、発生時期は早く、発生量は平年並であった。	播種時期の早いほ場では、発生時期が早かった。種子塗抹処理剤の利用が進んでおり、初期の発生が抑制された。	種子塗抹処理剤により初期防除されている。近年、この剤の残効が切れてからの被害が一部地域で発生していることから、結莢期にも防除が実施されている。
	カメムシ類	遅	少	ほ場での初発確認は8月20日で、発生時期は遅く、発生量は少なかった。	8月は高温・少雨で発生しやすい条件であったが、8月23日と9月4日の台風による豪雨により、発生量が抑制された。	通常、開花期以降に薬剤散布により防除されるが、近年、ハスモンヨトウの発生量が多く、鱗翅目害虫に対する防除を実施した場合、カメムシの防除が省略される場合がある。
	アブラムシ類	遅	少	ほ場での初発確認は9月7日で、発生時期は遅く、発生量は少なかった。	6月以降の黄色水盤での誘殺数は少なく、ほ場への飛来量も少なかった。また、7月～9月にかけて高温多雨であったため、増殖が抑制され、ほ場での発生量は少なかった。	種子塗抹処理剤による初期防除。
	ハダニ類	早	やや多	ほ場での初発確認は7月9日で、発生時期は早く、発生量は、やや多かった。	8月上旬までは高温少雨で増殖に適した気候であったが、8月23日の台風による豪雨により、発生が抑制された。	通常は発生が少ないことが多く、有効な薬剤も少ないことから防除されていない。8月下旬での発生量が多かったため、8月23日に防除情報を発表。

ウ 発生量調査

(8月20～21日調査、開花期)

調査地点	病害虫名	べと病		葉焼病		カメムシ類	フタスジヒメハムシ	ハダニ類	ハスモンヨトウ
		発生ほ場率 (%)	発生ほ場率 (%)	虫数 (頭/a)	虫数 (頭/株)	発生株率 (%)	発生ほ場率 (%)		
大津市 関津		0	0	0.5	0.5	10	50		
草津市 下笠町		0	0	0	0	0	0		
守山市 木浜町		0	0	0	1.3	5	100		
守山市 矢島町		0	0	0	0	5	100		
栗東市 上砥山		0	0	0	0.5	0	50		
野洲市 上屋		0	0	0	0.2	0	50		
野洲市 吉川		0	0	0	0	25	50		
湖南市 岩根		0	0	0	0.2	5	100		
甲賀市 水口町酒人		0	0	0	0	15	100		
近江八幡市 安土町西老蘇		0	0	0	0	15	50		
近江八幡市 野村町		0	0	0	7.0	10	50		
近江八幡市 白王町		0	50	0	0.4	10	0		
日野町 十禅師		0	0	0	0.5	0	0		
竜王町 岡屋		0	100	0	0.2	40	50		
東近江市 市原野町		0	0	0	0	0	0		
東近江市 南菩提寺町		50	0	0	0	0	0		
東近江市 福堂町		0	50	0	0.1	50	50		
彦根市 新海町		50	0	3.5	0.1	60	50		
愛荘町 東円堂		0	0	0	0.2	5	0		
豊郷町 八町		100	0	0.5	0.3	10	0		
甲良町 下之郷		0	100	1.5	0.3	0	0		
米原市 世継		0	0	0	0	0	50		
長浜市 野村町		0	0	0.5	3.2	40	100		
長浜市 高月町東阿閉		0	0	0	0.1	10	50		
長浜市 湖北町山本		0	0	0	0	90	0		
高島市 マキノ町知内		100	0	1.0	9.7	80	0		

(9月18～20日調査、若莢期)

調査地点	病害虫名	べと病		葉焼病		カメムシ類	ハスモンヨトウ
		発生ほ場率 (%)	平均発病度	発生ほ場率 (%)	平均発病度	虫数 (頭/a)	白変か所数 (か所/a)
大津市 関津		0	0	0	0	0.5	1.0
草津市 下笠町		100	3.5	100	2.5	0	1.0
守山市 木浜町		100	5.0	0	0	0	3.0
守山市 矢島町		50	1.0	0	0	0	0.5
栗東市 上砥山		100	3.5	100	5.5	0	1.0
野洲市 上屋		100	5.5	0	0	0	0.5
野洲市 吉川		100	4.5	0	0	0	0
湖南市 岩根		100	2.5	100	4.5	0	0.5
甲賀市 水口町酒人		100	3.0	100	3.0	0	0.5
近江八幡市 安土町西老蘇		50	0.5	100	35.0	0	2.0
近江八幡市 野村町		0	0	100	15.0	0	0
近江八幡市 白王町		50	0.5	0	0	0	0
日野町 十禅師		100	3.5	0	0	0	1.5
竜王町 岡屋		100	8.5	100	22.5	0	1.5
東近江市 市原野町		100	2.0	0	0	0	0.5
東近江市 南菩提寺町		50	2.0	100	35.5	0	0.5
東近江市 福堂町		0	0	100	6.0	0	0
彦根市 新海町		100	3.5	100	12.5	0	0.5
愛荘町 東円堂		100	25.0	100	5.0	0	1.0
豊郷町 八町		100	5.5	100	5.0	0	0.5
甲良町 下之郷		0	0	100	10.0	0	0
米原市 世継		0	0	100	10.0	0	1.0
長浜市 野村町		0	0	100	10.0	0	0
長浜市 高月町東阿閉		0	0	100	15.0	0	0
長浜市 湖北町山本		100	1.0	100	10.0	0	0.5
高島市 マキノ町知内		100	10.0	100	15.0	0	0

## エ 発生状況一覧表

病害虫名	初発見月日	初発見場所
べと病	8月9日	近江八幡市安土町大中
葉焼病	8月21日	甲賀市水口町酒人
茎疫病	8月20日	野洲市上屋
白絹病	8月20日	近江八幡市野村

病害虫名	初発見月日	初発見場所
アブラムシ類	9月7日	守山市赤野井町
ハダニ類	7月9日	甲良町法養寺
ハスモンヨトウ	7月23日	守山市木浜町
タバコガ類	8月9日	近江八幡市安土町西老蘇
カメムシ類	8月20日	大津市関津
フタスジヒメハムシ	6月26日	高島市マキノ町蛭口
コガネムシ類	8月21日	東近江市市原野町
サヤムシガ類	7月24日	高島市今津町日置前

## オ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生 面積率 (%)	被害 面積率 (%)	防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
ダイズ	6,700	べと病	0	0	0	1,200	1,200	17.9	0.0	0	0
		葉焼病	0	0	100	3,400	3,500	52.2	1.5	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	20	20	0.3	0.0	3,500	3,500
		ハスモンヨトウ	0	30	100	2,700	2,830	42.2	1.9	3,000	4,000
		食葉性鱗翅目幼虫	0	100	250	3,800	4,150	61.9	5.2	1,000	1,000
		ハダニ類	0	100	300	2,200	2,600	38.8	6.0	10	10
		カメムシ類	0	0	10	200	210	3.1	0.1	1,000	1,500
フタスジヒメハムシ	0	20	150	4,100	4,270	63.7	2.5	3,500	3,500		

被害面積率 = (程度別発生面積・甚～中の和) / (栽培面積)



## 5 野菜（露地）病害虫発生予察事業

ナス科、ウリ科およびアブラナ科を中心として、露地野菜全般における主要病害虫を調査した。その結果に基づく病害虫発生予察情報として、予報10回、防除情報2回(ハスモンヨトウ、タマネギベと病)を提供した。

### (1) 野菜

#### ア 発生状況

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
野菜全般	うどんこ病 (夏秋ナス、 夏秋キュウリ)	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月25日で発生時期、発生量ともに平年並であった。	5月第4-6半旬は高温で推移し、5月の降水量は平年より少なかったため、発病に好適な気象条件であったが、防除が実施されたことにより発生量は平年並となった。	発生初期に防除の実施。
	灰色かび病 (夏秋ナス、 夏秋トマト、夏 秋キュウリ)	平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月29日で、発生時期、発生量はともに平年並であった。	6月の降水量は平年並であり、気温も平年並で推移したため、発生時期、発生量ともに平年並となった。	発生初期に防除の実施。
	ハスモンヨトウ	平年並	やや少	ほ場での初発確認は7月30日で発生時期は平年並、発生量は、やや少なかった。なお、9月第2半旬にフェロモントラップでの誘殺が急増し、多飛来が確認された。	フェロモントラップへの誘殺数は平年並で、ほ場への飛来量は、やや少なかった。8月23日と9月4日の台風通過時に若齢幼虫が死滅しやすい条件となり、ほ場内での増殖が抑制された。9月第2半旬に多飛来が確認されたが、通常に防除が実施されたことに加え、9月第2半旬以降、低温で推移したことから発生量は、やや少となった。	主産地では定期的な薬剤防除がされている。アブラナ科野菜では、育苗時のセルトレイ灌水や、定植時の粒剤施用が実施されている。9月第2半旬にフェロモントラップでの誘殺数が急増し、多飛来が確認されたことから、9月13日に防除情報を発表した。
	オオタバコガ	早	平年並	ほ場での初発確認は6月11日で、発生時期は早く、発生量は平年並であった。	8月までのフェロモントラップでの誘殺数は平年並であった。8月第1半旬～第4半旬まで高温・少雨で増殖に好適な気候となったが、8月23日と9月4日の台風通過時に若齢幼虫が死滅しやすい条件となり、発生量は平年並となった。	ハスモンヨトウと同時防除されることが多い。
	ヨトウガ	遅	平年並	ほ場での初発確認は5月29日で、発生時期は遅く、発生量は平年並であった。	フェロモントラップでの誘殺量は平年並で、ほ場への飛来量は平年並であった。	主産地では定期的な薬剤防除。アブラナ科野菜では、育苗時のセルトレイ灌水や、定植時の粒剤施用の実施。
	アザミウマ類	早	平年並	ほ場での初発は4月10日で、発生時期は平年より早かった。夏秋ナスおよび夏秋キュウリの一部で発生量が、やや多いほ場があったが、7月に入り密度は低くなった。	6月第5半旬までは、増殖に適した気象条件であったが、6月第6半旬以降の多雨により、密度抑制された。	発生に応じ薬剤防除がされるが、微小害虫であることから発見・防除が遅れがち。
	コナジラミ類 (夏秋トマト、 夏秋キュウリ)	-	-	ほ場での初発確認は5月29日であった。全体の発生量は少なかった。	通常露地野菜では、問題になることが少なく、施設果菜類からや、廃棄場所のトマト等からの飛来により発生する。	発生に応じ薬剤防除がされるが、微小害虫であることから発見・防除が遅れがち。
	アブラムシ類	平年並	やや少	ほ場での初発確認は4月2日で、発生時期は平年並であった。全体の発生量は、やや少なかった。	4月～9月まで、黄色水盤での誘殺数は全般に少なかった。多雨や集中豪雨の後、減少する傾向がみられた。	定植時の粒剤施用など、多くは発生初期の防除。
	ハダニ類	遅	平年並	ほ場での初発確認は5月29日で、発生時期は遅かった。全体の発生量は、平年並であった。	6月第5半旬までは、増殖に適した気象条件であったが、6月第6半旬以降の多雨により、密度抑制された。	発生に応じ薬剤防除がされるが、微小害虫であることから発見・防除が遅れがち。
	ナス科野菜	疫病 (夏秋トマト)	-	-	ほ場での発生は認められなかった。	7月の高温により発生が認められなかった。
葉かび病 (夏秋トマト)		-	-	ほ場での発生は認められなかった。	多湿条件にならなかったため、発生が認められなかった。	発生初期に防除の実施。
ニジュウヤホシテントウ類		平年並	平年並	ほ場での初発確認は5月14日で、発生時期、発生量ともに平年並であった。	前年の発生量は平年並で、越冬量も平年並であった。	食害が顕著になった場合のみ防除されている。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
アブラナ科 野菜	軟腐病	平年並	平年並	ほ場での初発確認は9月13日で早く、発生量は平年並であった。	台風21号(9/4)の影響で発生が助長され、発生時期は早かった。耐病性品種の普及により全体での発生量は平年並となった。	害虫防除と同時、または台風通過後や大雨の後に防除の実施。
	黒腐病 (冬キャベツ)	早	平年並	ほ場での初発確認は9月18日で、発生時期、発生量はともに平年並であった。	台風21号(9/4)の影響で発生が助長され、発生時期は平年並であった。適期に防除されたことから、発生量は平年並となった。	害虫防除と同時、または台風通過後や大雨の後に防除の実施。
	菌核病 (冬キャベツ)	遅	少	ほ場での発生は認められなかった。	多湿条件にならなかったため、発生が認められなかった。	結球初期に防除の実施。
	ネキリムシ類	平年並	平年並	フェロモントラップでの誘殺時期は平年並であった。発生量も平年並であった。	フェロモントラップでの誘殺数は平年並であり、通常の播種または定植時の粒剤等による防除により、密度が抑制された。	は種または定植時の粒剤等の防除。
	ハイマダラノメイガ	遅	平年並	発生時期は遅く、発生量は平年並であった。	前年の発生量は、やや多かったが、定植前にセルレイ灌注や粒剤施用されている場合も多く、無防除のほ場との被害の差は顕著となる。	育苗時のセルレイ灌注や、定植時の粒剤施用の実施。
	コナガ	遅	平年並	ほ場での初発確認は5月14日で、発生時期は遅く、発生量は平年並であったが、一部地域では多発生のほ場も見られるなど、ほ場間差が確認された。	近年発生量が増加傾向にあり、春の発生量が、やや少なかったため、9月以降の発生も、やや少なかった。	育苗時のセルレイ灌注や、定植時の粒剤施用の実施。植付け後は発生初期の防除。施設の主産地では昨年度実施した薬剤感受性試験の結果、低下が認められた。
	モンシロチョウ	遅	やや少	ほ場での初発確認は5月14日で、発生時期は遅く、発生量は、やや少なかった。	定植前にセルレイ灌注や粒剤施用されている場合も多く、無防除のほ場との被害の差は顕著となる。	育苗時のセルレイ灌注や、定植時の粒剤施用の実施。植付け後は発生初期の防除。
キュウリ	べと病	遅	やや少	ほ場での初発確認は6月12日で、発生時期は遅く、発生量は、やや少であった。	5月中旬から6月上旬まで連続した降雨が少なかったため、発生時期は遅く、発生量は少となった。	発生初期に防除の実施。
	褐斑病	-	-	ほ場での発生は認められなかった。	多湿条件にならなかったため、発生が認められなかった。	発生初期に防除の実施。
タマネギ	さび病	遅	少	ほ場での発生は認められなかった。	多湿条件にならなかったため、発生が認められなかった。	発生初期に防除の実施。
	べと病	-	-	ほ場での初発確認は4月10日で、全域で発生した。	前年度の発生が多かったほ場を中心に、4月第2半旬から平均気温が平年より高くなったため、発生が確認された。4月4半旬から5月5半旬にかけて、気温が高く推移したため、一部ほ場では発生量が増加した。	3月の予防防除と発生初期に防除の実施。
	白色疫病	-	-	ほ場での初発確認は4月11日で、一部ほ場で発生した。	多湿条件にならなかったため、発生は一部ほ場に限られ、全域に広がらなかった。	発生初期に防除の実施。
ネギ	さび病	遅	少	ほ場での初発確認は5月10日で、発生時期は遅かった。発生は一部地域に限られた。	多湿条件にならなかったため、発生は一部ほ場に限られ、全域に広がらなかった。	発生初期に防除の実施。
	黒斑病	-	-	ほ場での発生は認められなかった。	多湿条件にならなかったため、発生が認められなかった。	発生初期に防除の実施。
	べと病	-	-	ほ場での発生は認められなかった。	多湿条件にならなかったため、発生が認められなかった。	発生初期に防除の実施。
	シロイチモジヨトウ	-	-	ほ場での初発確認は10月1日で、発生量は少なかった。	本県での発生は通常著しく少ない。さらに、ハスモンヨリ等、他害虫の防除の際に同時防除されている。	発生時の薬剤散布。

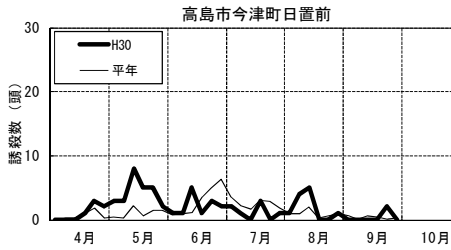
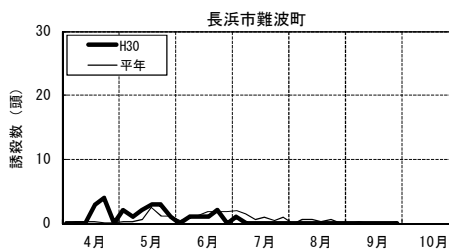
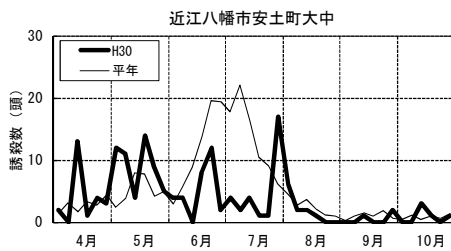
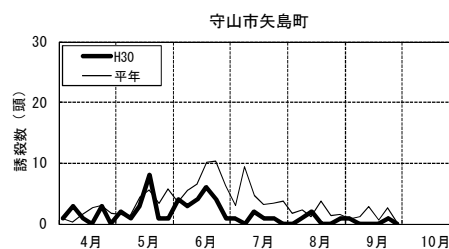
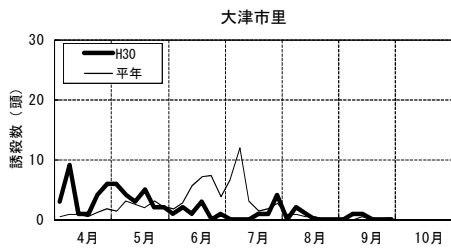
# イ 予察灯、フェロモントラップ、黄色水盤による調査

## (ア) 予察灯による調査

### コナガ半旬別誘殺状況（予察灯）

(頭)

月 半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積
4 1	3	3	0.6	1.1	1	1	0.9	0.9	2	2	1.6	1.7	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
2	9	12	0.8	1.9	3	4	0.3	1.2	0	2	3.2	4.9	0	0	0.3	0.3	0	0	0.2	0.2
3	1	13	0.8	2.6	1	5	1.5	2.7	13	15	1.7	6.6	0	0	0.3	0.5	0	0	0.2	0.4
4	1	14	0.5	3.1	0	5	2.7	5.4	1	16	3.3	9.9	3	3	0.3	0.8	1	1	1.0	1.4
5	4	18	1.1	4.3	3	8	3.1	8.5	4	20	2.7	12.6	4	7	0.1	0.9	3	4	1.8	3.2
6	6	24	1.8	6.0	0	8	1.8	10.3	3	23	4.3	16.9	0	7	0.1	1.0	2	6	0.2	3.4
5 1	6	30	1.4	7.4	2	10	1.6	11.9	12	35	2.5	19.4	2	9	0.3	1.3	3	9	0.4	3.8
2	4	34	3.0	10.4	1	11	1.3	13.2	11	46	3.9	23.3	1	10	0.3	1.5	3	12	0.2	4.0
3	3	37	2.6	13.0	3	14	4.5	17.7	4	50	7.9	31.2	2	12	0.6	2.1	8	20	2.2	6.2
4	5	42	2.0	15.0	8	22	5.5	23.2	14	64	7.7	38.9	3	15	2.4	4.5	5	25	0.7	6.8
5	2	44	3.0	18.0	1	23	3.4	26.6	9	73	4.2	43.1	3	18	1.1	5.6	5	30	1.5	8.3
6	2	46	2.1	20.1	1	24	5.7	32.3	5	78	4.9	48.0	1	19	1.1	6.7	2	32	1.5	9.8
6 1	1	47	1.8	21.9	4	28	3.5	35.8	4	82	3.0	51.0	0	19	0.5	7.2	1	33	0.8	10.7
2	2	49	2.8	24.7	3	31	5.5	41.3	4	86	5.6	56.6	1	20	0.8	8.0	1	34	1.0	11.7
3	1	50	5.7	30.3	4	35	6.5	47.8	0	86	8.9	65.5	1	21	1.3	9.2	5	39	1.2	12.8
4	3	53	7.2	37.6	6	41	10.2	58.0	8	94	13.9	79.4	1	22	1.8	11.0	1	40	3.5	16.3
5	0	53	7.3	44.9	4	45	10.3	68.4	12	106	19.5	98.9	2	24	1.9	12.9	3	43	5.0	21.3
6	1	54	3.9	48.8	1	46	6.2	74.6	2	108	19.4	118.3	0	24	1.9	14.8	2	45	6.3	27.7
7 1	0	54	6.6	55.3	1	47	3.1	77.7	4	112	17.7	136.0	1	25	2.0	16.8	2	47	3.5	31.2
2	0	54	12.0	67.3	0	47	9.5	87.2	2	114	22.0	158.0	0	25	1.4	18.2	1	48	2.2	33.3
3	0	54	3.1	70.4	2	49	4.7	91.9	4	118	16.3	174.3	0	25	0.7	18.9	0	48	1.7	35.0
4	1	55	1.3	71.8	1	50	3.2	95.1	1	119	10.5	184.8	0	25	1.0	19.9	3	51	3.0	38.0
5	1	56	1.7	73.5	1	51	3.3	98.4	1	120	9.1	193.9	0	25	0.4	20.3	0	51	2.8	40.8
6	4	60	2.6	76.1	0	51	3.8	102.2	17	137	6.1	200.0	0	25	0.9	21.2	1	52	1.8	42.7
8 1	0	60	0.9	77.0	0	51	1.8	104.0	6	143	4.5	204.5	0	25	0.0	21.2	1	53	1.0	43.7
2	2	62	0.8	77.8	1	52	2.3	106.3	2	145	2.8	207.3	0	25	0.6	21.8	4	57	1.0	44.7
3	1	63	0.6	78.3	2	54	1.2	107.5	2	147	3.6	210.9	0	25	0.6	22.3	5	62	2.0	46.7
4	0	63	0.4	78.7	0	54	3.7	111.2	1	148	2.1	213.0	0	25	0.3	22.6	0	62	0.3	47.0
5	0	63	0.0	78.7	0	54	1.3	112.5	0	148	1.1	214.1	0	25	0.7	23.3	0	62	0.7	47.7
6	0	63	0.1	78.8	1	55	1.6	114.0	0	148	1.0	215.1	0	25	0.1	23.4	1	63	1.0	48.7
9 1	0	63	0.0	78.8	1	56	0.8	114.8	0	148	0.3	215.4	0	25	0.0	23.4	0	63	0.7	49.3
2	1	64	0.0	78.8	0	56	1.2	116.0	0	148	0.9	216.3	0	25	0.3	23.8	0	63	0.2	49.5
3	1	65	0.4	79.3	0	56	2.8	118.8	1	149	1.5	217.8	0	25	0.0	23.8	0	63	0.7	50.2
4	0	65	0.0	79.3	0	56	0.6	119.4	0	149	1.0	218.8	0	25	0.0	23.8	0	63	0.5	50.7
5	0	65	0.1	79.4	1	57	2.7	122.0	0	149	1.9	220.7	0	25	0.0	23.8	2	65	0.2	50.8
6	0	65	0.2	79.6	0	57	0.1	122.1	2	151	0.7	221.4	0	25	0.2	24.0	0	65	0.3	51.2
10 1									0	151	0.4	221.8								
2									0	151	1.1	222.9								
3									3	154	0.5	223.4								
4									1	155	0.9	224.3								
5									0	155	0.7	225.0								
6									1	156	1.3	226.3								

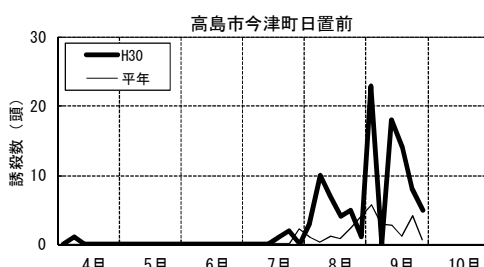
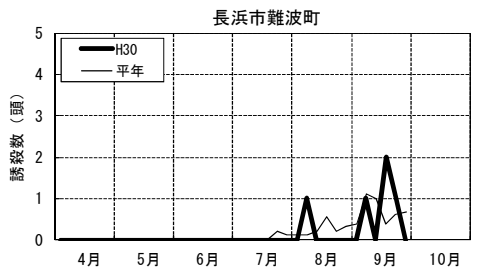
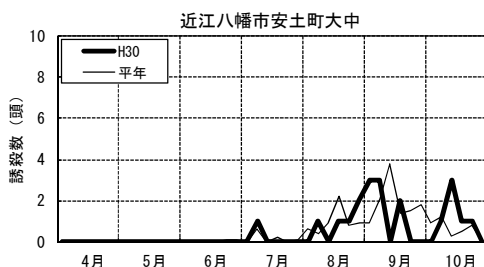
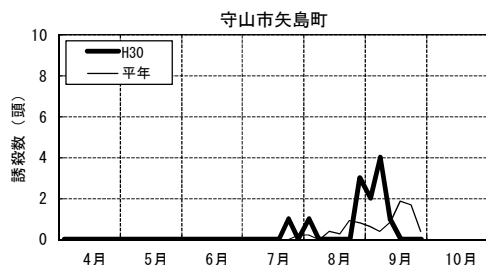
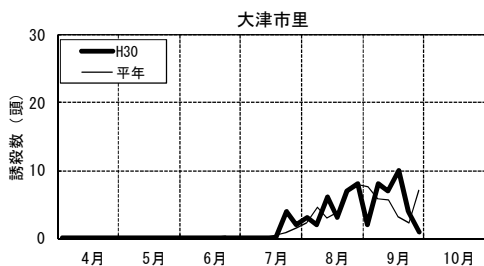


○平年値は基本的に過去10年間（H20～H29）の平均値であるが、長浜市、高島市の予察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。  
 ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値  
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値

# シロオビノメイガ半旬別誘殺状況

(頭)

月	半旬	大津市里				守山市矢島町				近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0
4	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	1	1	0.0	0.0
4	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
4	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
4	5	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
4	6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
5	1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
5	2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
5	3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
5	4	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
5	5	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
5	6	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
6	1	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
6	2	0	0	0.0	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
6	3	0	0	0.1	0.2	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
6	4	0	0	0.1	0.3	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.0
6	5	0	0	0.2	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.0	0.0	0	1	0.2	0.2
6	6	0	0	0.0	0.6	0	0	0.0	0.0	0	0	0.1	0.2	0	0	0.0	0.0	0	1	0.2	0.3
7	1	0	0	0.1	0.7	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.2	0	0	0.0	0.0	0	1	0.2	0.5
7	2	0	0	0.1	0.8	0	0	0.0	0.0	1	1	0.6	0.8	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.5
7	3	0	0	0.2	1.0	0	0	0.0	0.0	0	1	0.0	0.8	0	0	0.0	0.0	0	1	0.2	0.7
7	4	0	0	0.4	1.4	0	0	0.0	0.0	0	1	0.2	1.0	0	0	0.0	0.0	1	2	0.2	0.8
7	5	4	4	0.8	2.2	1	1	0.0	0.0	0	1	0.0	1.0	0	0	0.2	0.2	2	4	0.2	1.0
7	6	2	6	1.6	3.8	0	1	0.2	0.2	0	1	0.1	1.1	0	0	0.1	0.3	0	4	2.2	3.2
8	1	3	9	2.3	6.1	1	2	0.2	0.4	0	1	0.6	1.7	0	0	0.1	0.4	3	7	1.0	4.2
8	2	2	11	4.6	10.7	0	2	0.0	0.4	1	2	0.4	2.1	1	1	0.1	0.6	10	17	0.3	4.5
8	3	6	17	2.9	13.6	0	2	0.4	0.8	0	2	0.9	3.0	0	1	0.2	0.8	7	24	1.2	5.7
8	4	3	20	3.8	17.4	0	2	0.3	1.1	1	3	2.2	5.2	0	1	0.6	1.3	4	28	0.8	6.5
8	5	7	27	6.8	24.2	0	2	0.9	2.0	1	4	0.8	6.0	0	1	0.2	1.6	5	33	2.3	8.8
8	6	8	35	7.9	32.1	3	5	0.8	2.8	2	6	0.9	6.9	0	1	0.3	1.9	1	34	4.0	12.8
9	1	2	37	7.7	39.8	2	7	0.6	3.4	3	9	0.9	7.8	0	1	0.4	2.3	23	57	5.7	18.5
9	2	8	45	5.8	45.6	4	11	0.4	3.8	3	12	2.1	9.9	1	2	1.1	3.4	0	57	3.0	21.5
9	3	7	52	5.7	51.2	1	12	0.9	4.7	0	12	3.8	13.7	0	2	1.0	4.4	18	75	2.7	24.2
9	4	10	62	3.1	54.3	0	12	1.9	6.6	2	14	1.4	15.1	2	4	0.4	4.8	14	89	1.2	25.3
9	5	4	66	2.3	56.7	0	12	1.7	8.2	0	14	1.5	16.6	1	5	0.6	5.4	8	97	4.2	29.5
9	6	1	67	7.0	63.7	0	12	0.4	8.6	0	14	1.8	18.4	0	5	0.7	6.1	5	102	0.7	30.2
10	1									0	14	0.9	19.3								
10	2									1	15	1.2	20.5								
10	3									3	18	0.3	20.8								
10	4									1	19	0.5	21.3								
10	5									1	20	0.8	22.1								
10	6									0	20	0.0	22.1								



○平年値は基本的に過去10年間(H20~H29)の平均値であるが、長浜市、高島市の子察灯では、移設により10年分のデータがなく、算出方法については以下のとおりにした。  
 ・長浜市難波町の平年値はH21~H29の9年間の平均値  
 ・高島市今津町日置前の平年値はH24~H29の6年間の平均値

## (イ) フェロモントラップによる調査

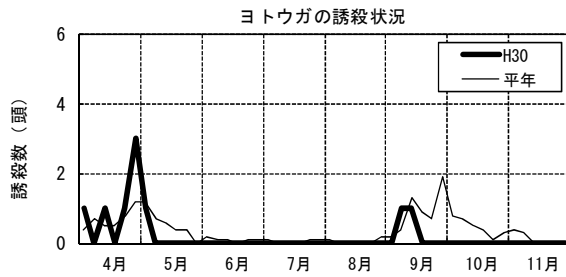
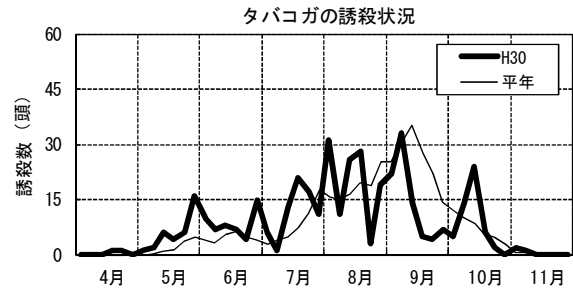
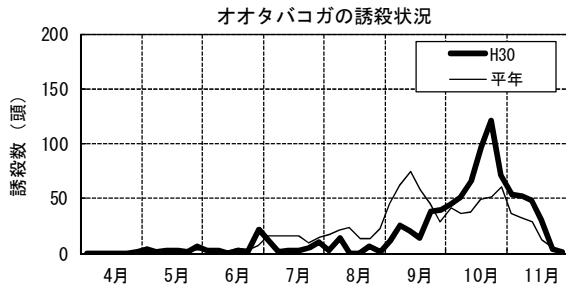
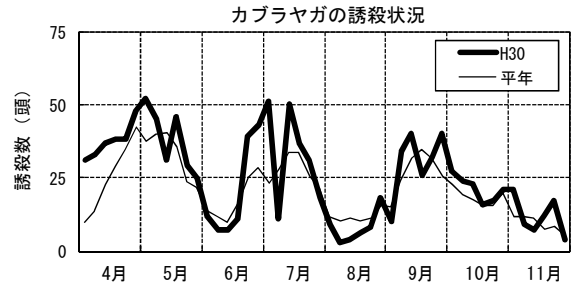
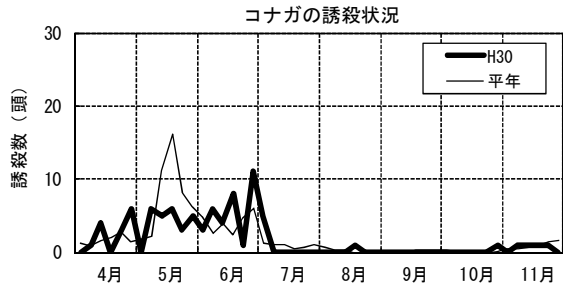
## 野菜類主要害虫のフェロモントラップ半旬別誘殺状況 (近江八幡市安土町大中)

(頭)

月	半旬	コナガ		カブラヤガ		タバコガ		オオタバコガ		ヨトウガ	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	1.2	31	9.9	0	0.0	0	0.2	1	0.4
	2	1	0.8	33	13.8	0	0.0	0	0.5	0	0.7
	3	4	1.6	37	22.6	0	0.1	0	0.3	1	0.5
	4	0	2.1	38	28.7	1	0.0	0	0.3	0	0.5
	5	3	2.8	38	34.4	1	0.0	0	0.2	1	0.8
	6	6	1.4	48	42.5	0	0.2	1	0.2	3	1.2
5	1	0	1.9	52	37.5	1	0.0	4	1.1	1	1.2
	2	6	2.2	45	39.7	2	0.3	1	1.6	0	0.7
	3	5	11.1	31	40.5	6	0.9	3	1.6	0	0.6
	4	6	16.1	46	35.4	4	1.5	3	2.0	0	0.4
	5	3	8.2	29	23.6	6	3.6	1	3.4	0	0.4
	6	5	6.3	25	21.6	16	4.6	6	3.5	0	0.0
6	1	3	4.9	12	13.4	10	4.0	3	2.8	0	0.2
	2	6	2.5	7	11.9	7	3.1	2	2.9	0	0.1
	3	4	4.0	7	9.6	8	5.5	0	1.8	0	0.1
	4	8	2.4	11	16.7	7	6.3	2	4.3	0	0.0
	5	1	4.6	39	25.1	4	4.6	1	3.3	0	0.1
	6	11	6.1	43	28.6	15	3.9	22	6.8	0	0.1
7	1	5	1.2	51	23.4	6	2.9	12	15.4	0	0.1
	2	0	1.0	11	27.8	1	4.0	1	16.4	0	0.0
	3	0	1.1	50	33.8	13	4.7	2	15.4	0	0.0
	4	0	0.5	37	33.5	21	7.4	3	15.7	0	0.0
	5	0	0.6	31	25.7	17	11.1	5	9.3	0	0.1
	6	0	1.1	18	21.4	11	17.8	10	14.9	0	0.1
8	1	0	0.7	9	11.9	31	15.7	2	17.2	0	0.1
	2	0	0.3	3	10.4	11	15.0	14	20.9	0	0.0
	3	0	0.2	4	11.2	26	16.6	0	23.1	0	0.0
	4	1	0.0	6	10.3	28	19.5	0	13.5	0	0.0
	5	0	0.0	8	11.2	3	18.9	7	13.0	0	0.0
	6	0	0.1	18	15.7	19	25.1	1	22.4	0	0.2
9	1	0	0.1	10	14.9	22	25.1	12	44.6	0	0.2
	2	0	0.1	34	24.0	33	30.4	26	61.5	1	0.4
	3	0	0.0	40	31.7	14	35.1	21	74.8	1	1.3
	4	0	0.2	26	34.6	5	27.6	14	58.2	0	0.9
	5	0	0.2	32	31.6	4	22.3	38	45.5	0	0.7
	6	0	0.2	40	25.6	7	14.3	39	29.0	0	1.9
10	1	0	0.2	27	22.9	5	12.0	44	42.0	0	0.8
	2	0	0.1	24	19.3	14	10.0	51	36.8	0	0.7
	3	0	0.1	23	17.5	24	8.5	66	37.8	0	0.5
	4	0	0.1	16	15.6	6	5.4	97	49.3	0	0.4
	5	0	0.0	17	15.7	2	4.8	121	51.5	0	0.1
	6	1	0.1	21	19.7	0	2.9	71	61.1	0	0.3
11	1	0	0.4	21	11.7	2	0.6	53	36.4	0	0.4
	2	1	0.4	9	11.6	1	0.4	52	32.9	0	0.3
	3	1	0.7	7	11.3	0	0.1	49	28.5	0	0.0
	4	1	0.8	12	7.6	0	0.0	30	11.5	0	0.0
	5	1	1.4	17	8.2	0	0.1	4	5.4	0	0.0
	6	0	1.6	4	5.6	0	0.2	1	2.4	0	0.0

・ 平年値はH20～H29の10年間の平均値。

野菜類主要害虫のフェロモントラップ半旬別誘殺状況のグラフ（近江八幡市安土町大中）

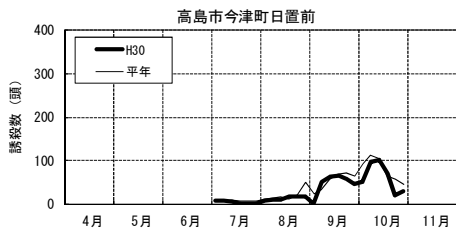
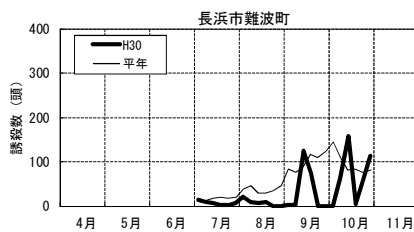
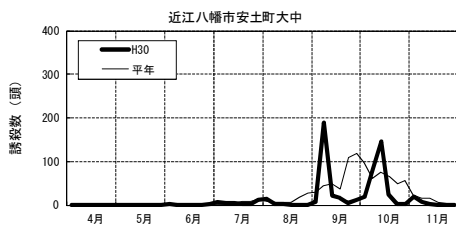


平年値は過去10年間（H20～H29）の平均値

# ハスモンヨトウ半旬別誘殺数（湿式フェロモントラップ）

(頭)

月	半旬	近江八幡市安土町大中				長浜市難波町				高島市今津町日置前			
		H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積	H30	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.1	0.1								
4	2	0	0	0.2	0.3								
4	3	0	0	0.0	0.3								
4	4	0	0	0.0	0.3								
4	5	0	0	0.2	0.5								
4	6	0	0	0.2	0.7								
5	1	0	0	0.1	0.8								
5	2	0	0	0.2	1.0								
5	3	0	0	0.4	1.4								
5	4	0	0	0.6	2.0								
5	5	1	1	0.4	2.4								
5	6	0	1	0.6	3.0								
6	1	2	3	0.8	3.8								
6	2	0	3	1.4	5.2								
6	3	0	3	1.4	6.6								
6	4	0	3	2.2	8.8								
6	5	0	3	1.0	9.8								
6	6	2	5	1.1	10.9								
7	1	8	13	1.1	12.0	13	13	9.9	9.9	8	8	5.8	5.8
7	2	5	18	1.5	13.5	10	23	13.7	23.6	8	16	7.5	13.3
7	3	5	23	3.8	17.3	6	29	16.9	40.4	4	20	8.2	21.5
7	4	2	25	7.9	25.2	2	31	19.0	59.4	1	21	6.7	28.2
7	5	2	27	8.8	34.0	2	33	16.6	76.0	0	21	5.5	33.7
7	6	12	39	13.2	47.2	7	40	20.8	96.8	1	22	7.0	40.7
8	1	15	54	8.7	55.9	21	61	37.7	134.4	7	29	11.7	52.3
8	2	3	57	5.7	61.6	10	71	46.1	180.6	11	40	13.7	66.0
8	3	3	60	5.9	67.5	8	79	28.4	209.0	10	50	15.2	81.2
8	4	0	60	6.5	74.0	9	88	28.9	237.9	16	66	12.0	93.2
8	5	0	60	17.1	91.1	0	88	34.6	272.4	17	83	20.8	114.0
8	6	0	60	26.5	117.6	1	89	44.8	317.2	16	99	49.7	163.7
9	1	6	66	29.4	147.0	2	91	83.6	400.8	0	99	22.8	186.5
9	2	190	256	44.6	191.6	2	93	75.6	476.5	51	150	33.5	220.0
9	3	22	278	48.8	240.4	125	218	87.5	564.0	64	214	57.0	277.0
9	4	17	295	38.0	278.4	75	293	117.6	681.6	66	280	69.7	346.7
9	5	5	300	109.1	387.5	0	293	109.9	791.5	59	339	72.3	419.0
9	6	12	312	118.8	506.3	1	294	124.0	915.5	46	339	63.8	482.8
10	1	18	330	97.3	603.6	0	294	145.5	1061.0	50	339	92.8	575.7
10	2	83	413	61.8	665.4	63	357	108.4	1169.3	97	339	111.3	687.0
10	3	147	560	76.4	741.8	157	514	81.8	1251.1	101	440	105.2	792.2
10	4	23	583	64.8	806.6	4	518	83.5	1334.6	69	509	63.7	855.8
10	5	3	586	50.0	856.6	58	576	77.0	1411.6	19	528	56.3	912.2
10	6	3	589	57.3	913.9	113	689	81.8	1493.3	30	558	44.2	956.3
11	1	18	607	21.6	935.5								
11	2	8	615	16.1	951.6								
11	3	3	618	14.6	966.2								
11	4	1	619	6.7	972.9								
11	5	0	619	4.0	976.9								
11	6	0	619	1.1	978.0								



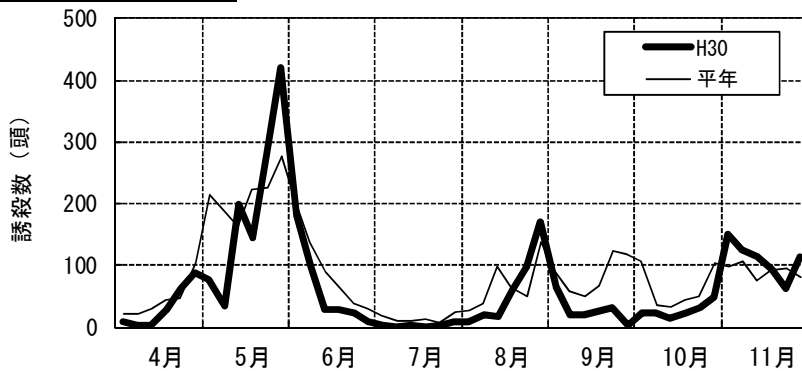
- ・近江八幡市安土町大中の平年値はH20～H29の10年間の平均値。
- ・長浜市難波町の平年値はH21～H29の9年間の平均値。
- ・高島市今津町日置前の平年値はH24～H29の6年間の平均値。

(ウ) 黄色水盤による調査

アブラムシ類半旬別誘殺数 (近江八幡市安土町大中)

(頭)

月	半旬	H30		平年	
		半旬別	累積	半旬別	累積
4	1	8	8	22.5	22.5
	2	3	11	22.4	44.9
	3	4	15	30.8	75.7
	4	30	45	43.3	119.0
	5	63	108	48.3	167.3
	6	87	195	103.1	270.4
5	1	78	273	214.3	484.7
	2	34	307	188.2	672.9
	3	198	505	163.7	836.6
	4	144	649	221.9	1058.5
	5	282	931	226.2	1284.7
	6	420	1351	276.5	1561.2
6	1	183	1534	202.8	1764.0
	2	101	1635	138.9	1902.9
	3	30	1665	89.7	1992.6
	4	29	1694	65.0	2057.6
	5	23	1717	38.0	2095.6
	6	9	1726	31.5	2127.1
7	1	4	1730	18.3	2145.4
	2	1	1731	11.1	2156.5
	3	2	1733	9.6	2166.1
	4	0	1733	12.1	2178.2
	5	2	1735	8.8	2187.0
	6	8	1743	25.0	2212.0
8	1	9	1752	27.2	2239.2
	2	20	1772	38.1	2277.3
	3	17	1789	97.3	2374.6
	4	59	1848	64.4	2439.0
	5	97	1945	49.5	2488.5
	6	171	2116	137.0	2625.5
9	1	67	2183	88.8	2714.3
	2	21	2204	57.5	2771.8
	3	21	2225	49.1	2820.9
	4	25	2250	66.2	2887.1
	5	32	2282	123.7	3010.8
	6	4	2286	118.9	3129.7
10	1	24	2310	107.9	3237.6
	2	24	2334	36.0	3273.6
	3	16	2350	31.7	3305.3
	4	22	2372	44.9	3350.2
	5	31	2403	49.9	3400.1
	6	48	2451	103.1	3503.2
11	1	150	2601	99.0	3602.2
	2	125	2726	107.3	3709.5
	3	115	2841	75.5	3785.0
	4	93	2934	92.2	3877.2
	5	63	2997	95.7	3972.9
	6	113	3110	80.3	4053.2



・ 平年値はH20～H29の10年間の平均値。

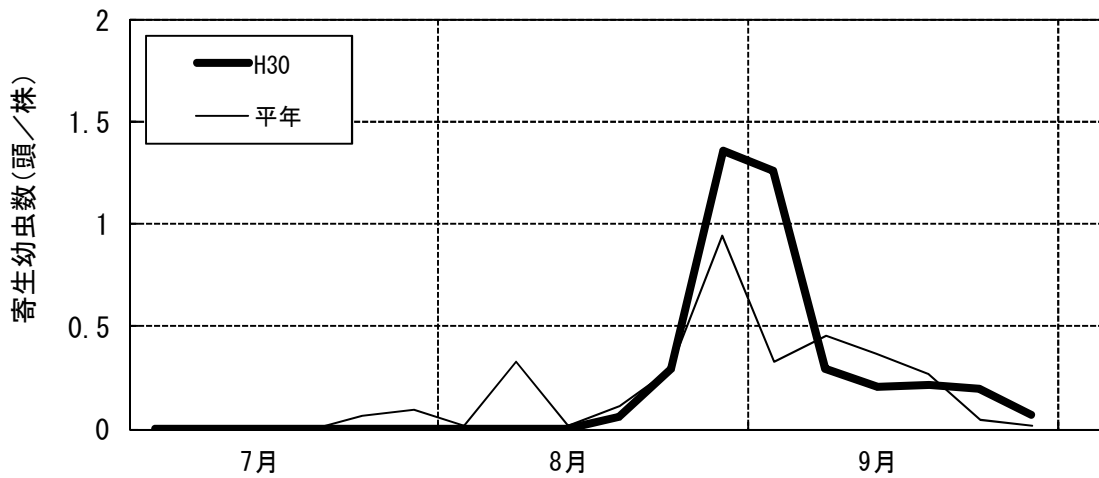


(エ) クレオメによる調査

クレオメ1株当たりのハイマダラノメイガ幼虫寄生数(近江八幡市安土町大中)

(頭)

月	半旬	H30		平年	
		半旬別	累積	半旬別	累積
7	1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0
	3	0	0	0	0
	4	0	0	0	0
	5	0	0	0.06	0.06
	6	0	0	0.09	0.15
8	1	0	0	0.02	0.17
	2	0	0	0.33	0.50
	3	0	0	0.01	0.51
	4	0.06	0.06	0.11	0.62
	5	0.29	0.35	0.29	0.91
	6	1.36	1.71	0.95	1.85
9	1	1.26	2.97	0.33	2.18
	2	0.29	3.26	0.46	2.85
	3	0.21	3.47	0.37	3.21
	4	0.22	3.69	0.27	3.49
	5	0.20	3.89	0.04	4.38
	6	0	3.96	0.01	4.39



・平年値は10年間 (H20~H29) の平均値

## ウ 発生量調査

### (ア) トマト

調査地点	病害虫名	灰色かび病	疫病	葉かび病	アブラムシ類
		発病度	発病度	発病度	寄生株率 (%)
		6/26~27	6/26~27	6/26~27	6/26~27
草津市	下笠町	0	0	0	10.0
野洲市	小南	0	0	0	10.0
湖南市	菩提寺	0	0	0	5.0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0	2.0
彦根市	松原町	0	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0	0
米原市	世継	0	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0	10.0

調査地点	病害虫名	コナジラミ類	ハスモンヨトウ
		寄生葉率 (%)	寄生株率 (%)
		7/23~25	7/23~25
草津市	下笠町	0	0
野洲市	小南	0	0
湖南市	菩提寺	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	1.0	0
彦根市	松原町	0	0
甲良町	下之郷	2.0	0
米原市	世継	0	0
高島市今津町	深清水	0	0

### (イ) ナス

調査地点	病害虫名	うどんこ病	灰色かび病	アブラムシ類	アザミウマ類
		発病度	発病株率 (%)	1葉あたり生息数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)
		6/11~13	6/11~13	6/11~13	7/23~25
草津市	下笠町	2.5	0	0.5	1.0
野洲市	小南	0	0	0.6	2.5
湖南市	菩提寺	0	0	0.5	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0.1	0
彦根市	松原町	0	0	0.1	5.0
甲良町	下之郷	0	0	0.5	0
米原市	世継	0	0	0.1	10.0
高島市今津町	深清水	0	0	0	0

調査地点	病害虫名	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	ハダニ類
		被害面積率 (%)	被害果率 (%)	寄生葉率 (%)
		8/20~21	7/23~25	8/20~21
草津市	下笠町	0	0	10.0
野洲市	小南	0	0	10.0
湖南市	菩提寺	0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0
彦根市	松原町	0	0	20.0
甲良町	下之郷	0	0	5.0
米原市	世継	0	0	5.0
高島市今津町	深清水	0	0	2.0

(ウ) キュウリ

調査地点	病害虫名	べと病	うどんこ病	灰色かび病	褐斑病
		発病葉率 (%)	発病葉率 (%)	発病株率 (%)	発病葉率 (%)
調査地点		6/11~13	6/26~27	6/26~27	6/26~27
草津市	下笠町	1.0	2.0	0	0
野洲市	小南	0	0	0	0
湖南市	菩提寺	2.0	2.5	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0	0
彦根市	松原町	5.0	0	0	0
甲良町	下之郷	0	10.0	0	0
米原市	世継	0	2.0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0	0

調査地点	病害虫名	アブラムシ類	コナジラミ類	アザミウマ類	ハスモンヨトウ
		1葉あたり生息数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)	1葉あたり寄生頭数 (頭/葉)	寄生株率 (%)
調査地点		6/26~27	6/26~27	6/26~27	7/23~25
草津市	下笠町	1.0	0	10.0	0
野洲市	小南	0	0	8.0	0
湖南市	菩提寺	0	0	10.0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	3.0	0
彦根市	松原町	1.0	5.0	2.0	0
甲良町	下之郷	1.0	0	5.0	0
米原市	世継	0	0	2.0	0
高島市今津町	深清水	1.0	0	1.0	0

(エ) スイカ

調査地点	病害虫名	アブラムシ類
		1葉あたり生息数 (頭/葉)
調査地点		6/11~13
草津市	下笠町	2.0
野洲市	小南	0.2
湖南市	菩提寺	0
近江八幡市安土町	上豊浦	1.0
彦根市	松原町	0
甲良町	下之郷	0
米原市	世継	0.1
高島市今津町	深清水	0.1

(オ) ダイコン

調査地点	病害虫名	アブラムシ類	ハスモンヨトウ	コナガ
		発生程度指数	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)
調査地点		11/1	9/18~20	11/1
草津市	下笠町	0	1.0	0
野洲市	小南	5.0	0	0
湖南市	菩提寺	5.0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0
彦根市	松原町	5.0	0	2.0
甲良町	下之郷	0	0	0
米原市	世継	0	0	0
高島市今津町	深清水	10.0	0	0

(カ) ハクサイ

調査地点	病害虫名	ハスモンヨトウ	ヨトウガ	コナガ
		寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)
調査地点		11/1	11/1	11/1
草津市	下笠町	0	0	0
野洲市	小南	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	1.0	0
彦根市	松原町	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0
米原市	世継	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0

(キ) 春キャベツ

調査地点	病害虫名	ヨトウガ	コナガ
		寄生株率 (%)	10株当たり幼虫・蛹数 (頭/10株)
調査地点		5/25~29	5/25~29
草津市	下笠町	0	1.0
野洲市	小南	0	2.0
湖南市	菩提寺	0	1.0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	1.0
彦根市	松原町	0	0
甲良町	下之郷	0	0
米原市	世継	0	0
高島市今津町	深清水	0	0

(ク) 冬キャベツ

調査地点	病害虫名	黒腐病	菌核病	アブラムシ類	ハスモンヨトウ
		発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)
調査地点		11/1	11/1	9/18~20	11/1
草津市	下笠町	0	0	20.0	0
野洲市	小南	0	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0	0
彦根市	松原町	0	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0	0
米原市	世継	0	0	20.0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0	0

調査地点	病害虫名	ヨトウガ	コナガ
		寄生株率 (%)	10株当たり幼虫・蛹数 (頭/10株)
調査地点		11/1	11/1
草津市	下笠町	0	0
野洲市	小南	0	0
湖南市	菩提寺	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	1.0	0
彦根市	松原町	0	2.0
甲良町	下之郷	0	0
米原市	世継	0	0
高島市今津町	深清水	0	0

(ケ) タマネギ

調査地点	病害虫名	白色疫病	べと病	アザミウマ類
		被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)
調査地点		4/9~10	4/9~10	5/14~15
草津市	下笠町	0	4.0	1.5
野洲市	小南	0	0	0.6
湖南市	菩提寺	0	0	0.3
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	1.3
彦根市	松原町	0	0	0.4
甲良町	下之郷	0	0	0.1
米原市	世継	0	0	0.1
高島市今津町	深清水	0	0	0

(コ) ネギ

調査地点	病害虫名	黒斑病	べと病	さび病	アブラムシ類
		被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)
調査地点		9/18~20	9/18~20	9/18~20	11/1
草津市	下笠町	0	0	0	0
野洲市	小南	0	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0	0	2.0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0	0	1.0
彦根市	松原町	0	0	0	0
甲良町	下之郷	0	0	0	0
米原市	世継	0	0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	0	0

調査地点	病害虫名	アザミウマ類	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ
		被害葉率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)
調査地点		9/18~20	11/1	11/1
草津市	下笠町	37.5	0	0
野洲市	小南	10.0	0	0
湖南市	菩提寺	25.0	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	8.3	0	0
彦根市	松原町	20.0	0	0
甲良町	下之郷	20.0	0	0
米原市	世継	20.0	0	0
高島市今津町	深清水	0	0	1.0

(サ) サトイモ

調査地点	病害虫名	ハスモンヨトウ
		食害面積率 (%)
調査地点		9/18~20
草津市	下笠町	1.0
野洲市	小南	0
湖南市	菩提寺	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0
彦根市	松原町	1.0
甲良町	下之郷	2.0
米原市	世継	0
高島市今津町	深清水	0

(シ) ホウレンソウ

調査地点	病害虫名	アブラムシ類	ハスモンヨトウ
		株あたり虫数 (頭/株)	株あたり虫数 (頭/株)
		11/1	11/1
草津市	下笠町	0	0
野洲市	小南	0	0
湖南市	菩提寺	0	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0
彦根市	松原町	0	0
甲良町	下之郷	0	0
米原市	世継	1.0	0
高島市今津町	深清水	1.0	0

エ 発生状況一覧表

(ア) ほ場

作物名	病害虫名	初発見 月日	初発見場所	作物名	病害虫名	初発見 月日	初発見場所	
トマト	灰色かび病	5/29	草津市下笠町	キャベツ	菌核病	-	-	
	疫病	-	-		黒腐病	9/13	東近江市中羽田町	
	葉かび病	-	-		軟腐病	9/18	湖南市菩提寺	
	モモアカアブラムシ	5/14	草津市下笠町		アブラムシ類	9/13	湖南市菩提寺	
	コナジラミ類	6/26	彦根市松原町		ハスモンヨトウ	11/1	竜王町山之上	
	オオタバコガ	7/23	草津市下笠町		オオタバコガ	11/1	野洲市小南	
ナス	ハスモンヨトウ	-	-	ヨトウガ	9/13	東近江市中羽田町		
	うどんこ病	6/13	草津市下笠町	コナガ	5/14	野洲市小南		
	灰色かび病	-	-	ハイマダラノメイガ	9/13	東近江市中羽田町		
	アブラムシ類	5/14	野洲市小南	カブラヤガ	-	-		
	ハダニ類	6/11	高島市今津町深清水	モンシロチョウ	8/20	近江八幡市安土町上豊浦		
	ミナミキイロアザミウマ	5/14	草津市下笠町	黒腐病	9/18	高島市今津町深清水		
キュウリ	ハスモンヨトウ	-	-	ブロッコリー	ハスモンヨトウ	11/1	野洲市小南	
	オオタバコガ	-	-		ヨトウガ	5/29	近江八幡市安土町上豊浦	
	ニジュウヤホシテントウ	5/14	近江八幡市安土町上豊浦		コナガ	5/14	野洲市小南	
	べと病	6/12	彦根市松原町		タマネギ	さび病	-	-
	うどんこ病	5/25	甲良町下之郷			べと病	4/10	草津市下笠町
	灰色かび病	-	-			白色疫病	4/11	東近江市五箇荘川並
褐斑病	-	-	ネギアザミウマ	4/10		湖南市菩提寺町		
アブラムシ類	5/14	草津市下笠町	さび病	5/10		近江八幡市安土町大中		
アザミウマ類	5/14	草津市下笠町	黒斑病	-		-		
スイカ	コナジラミ類	5/29	草津市下笠町	ネギ	べと病	-	-	
	ハスモンヨトウ	-	-		ネギアブラムシ	5/7	近江八幡市安土町大中	
	オオタバコガ	6/11	高島市今津町深清水		ネギアザミウマ	4/30	近江八幡市安土町大中	
	ハダニ類	6/13	近江八幡市安土町上豊浦		ハスモンヨトウ	-	-	
	アブラムシ類	6/11	高島市今津町深清水		シロイチモジヨトウ	10/1	野洲市小南	
	ハダニ類	6/12	彦根市松原町		アブラムシ類	5/14	野洲市小南	
ダイコン	アブラムシ類	9/19	米原市世継	サトイモ	ハスモンヨトウ	-	-	
	ハスモンヨトウ	9/18	草津市下笠町		ハスモンヨトウ	7/30	近江八幡市安土町下豊浦	
	ヨトウガ	11/1	草津市下笠町		ハダニ類	5/29	彦根市松原町	
	コナガ	9/19	高島市今津町深清水					
	軟腐病	11/1	近江八幡市安土町上豊浦					
	アブラムシ類	9/21	野洲市小南					
ハクサイ	ハスモンヨトウ	-	-					
	オオタバコガ	11/1	近江八幡市安土町上豊浦					
	ヨトウガ	11/1	近江八幡市安土町上豊浦					
	コナガ	-	-					
	モンシロチョウ	11/1	野洲市小南					

巡回調査において、複数種を調査対象としているものや種同定が困難なものは「～類」とした。なお、指定有害動植物は網掛けで示した。

(イ) 予察灯、フェロモントラップおよび黄色水盤

害虫名	初発見月日	初発見場所
アブラムシ類	4/5	近江八幡市安土町大中 (黄色水盤)
ヨトウガ	4/5	近江八幡市安土町大中 (P T)
ハスモンヨトウ	5/28	近江八幡市安土町大中 (P T)
シロイチモジヨトウ	-	-
タバコガ	4/20	近江八幡市安土町大中 (P T)
オオタバコガ	5/1	近江八幡市安土町大中 (P T)
カブラヤガ	4/5	近江八幡市安土町大中 (P T)
シロオビノメイガ	4/10	高島市今津町日置前 (予)
コナガ	4/1	近江八幡市安土町大中 (予)

初発見場所 ( ) 内記号 P T : フェロモントラップ、予 : 予察灯

# オ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
トマト	6	灰色かび病	0	0	0	1	1	16.7	0	1	1
		疫病	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		葉かび病	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		アブラムシ類	0	0	0	2	2	33.3	0	1	1
		コナジラミ類	0	0	0	1	1	16.7	0	1	1
		ミカンキイロアザミウマ	0	0	0	1	1	16.7	0	0	0
		ハスモンヨトウ	0	0	0	1	1	16.7	0	1	1
		オオタバコガ	0	0	1	3	4	66.7	16.7	3	6
ナス	20	うどんこ病	0	0	0	4	4	20.0	0	1	1
		灰色かび病	0	0	0	0	0	0	0	3	6
		アブラムシ類	0	0	0	5	5	25.0	0	6	12
		アザミウマ類	0	0	0	10	10	50.0	0	14	28
		マメハモグリバエ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ニジュウヤホシテントウ類	0	0	0	5	5	25.0	0	6	6
		ハスモンヨトウ	0	0	0	4	4	20.0	0	5	5
		オオタバコガ	0	0	0	7	7	35.0	0	7	14
		ハダニ類	0	0	0	8	8	40.0	0	12	24
キュウリ	9	灰色かび病	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		うどんこ病	0	0	0	3	3	33.3	0	2	2
		べと病	0	0	0	3	3	33.3	0	2	2
		褐斑病	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		アブラムシ類	0	0	0	2	2	22.2	0	5	10
		コナジラミ類	0	0	0	1	1	11.1	0	1	1
		ミカンキイロアザミウマ	0	0	0	1	1	11.1	0	0	0
		アザミウマ類	0	0	2	3	5	55.6	22.2	4	4
		ハスモンヨトウ	0	0	0	1	1	11.1	0	1	1
		オオタバコガ	0	0	0	2	2	22.2	0	1	1
ハダニ類	0	0	0	3	3	33.3	0	2	2		
スイカ	21	アブラムシ類	0	0	0	5	5	23.8	0	21	42
ダイコン	42	アブラムシ類	0	0	0	7	7	16.7	0	20	30
		ハスモンヨトウ	0	0	0	3	3	7.1	0	20	30
		ヨトウガ	0	0	0	3	3	7.1	0	20	30
		コナガ	0	0	0	6	6	14.3	0	20	30
ハクサイ	80	軟腐病	0	0	0	4	4	5.0	0	20	20
		アブラムシ類	0	0	0	6	6	7.5	0	60	120
		ハスモンヨトウ	0	0	0	15	15	18.8	0	65	130
		ヨトウガ	0	0	0	6	6	7.5	0	65	130
		コナガ	0	0	1	16	17	21.3	1.3	65	130
		ハイマダラノメイガ	0	0	0	12	12	15.0	0	65	130
春キャベツ		アブラムシ類	0	0	0	1	1	4.0	0	10	10
		ヨトウガ	0	0	0	3	3	12.0	0	10	20
		コナガ	0	0	0	3	3	12.0	0	10	20
冬キャベツ	224	黒腐病	0	0	0	5	5	2.2	0	20	20
		菌核病	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		アブラムシ類	0	0	0	14	14	6.25	0	150	150
		ハスモンヨトウ	0	0	0	55	55	24.6	0	150	300
		ヨトウガ	0	0	0	23	23	10.3	0	150	300
		オオタバコガ	0	0	1	67	68	30.4	0.4	150	300
		コナガ	0	0	0	45	45	20.1	0	150	300
		モンシロチョウ	0	0	0	77	77	34.4	0	150	300
ブロッコリー		ハスモンヨトウ	0	0	0	24	24	38.7	0	50	100
		コナガ	0	0	0	20	20	32.3	0	50	100
タマネギ	52	白色疫病	0	0	0	1	1	1.9	0	1	1
		べと病	0	0	0	4	4	7.7	0	15	15
		アザミウマ類	0	0	0	21	21	40.4	0	21	21
ネギ	49	黒斑病	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		べと病	0	0	0	5	5	10.2	0	15	15
		さび病	0	0	0	0	0	0	0	25	30
		アブラムシ類	0	0	0	2	2	4.1	0	20	40
		ネギアザミウマ	0	0	3	21	24	49.0	6.1	40	80
		ハスモンヨトウ	0	0	0	6	6	12.2	0	15	15
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	1	1	2.0	0	15	15
サトイモ	23	アブラムシ類	0	0	0	12	12	52.2	0	4	4
		ハスモンヨトウ	0	0	0	10	10	43.5	0	4	4
ハウレンソウ	62	アブラムシ類	0	0	0	3	3	4.8	0	20	20

※被害面積率=(程度別発生面積甚～中の和) / (栽培面積)

## 6 果樹等作物病害虫発生予察事業

ナシなどの主要果樹、チャおよび花き（キク）について、主要病害虫を対象とした重点調査の結果に基づき、病害虫発生予報を10回（P. 81）、発生予察情報として防除情報を1回（カンザワハダニ）、注意報を2回（果樹カメムシ類）発表した。

### （1）果樹

#### ア 生育概況

##### （ア）ナシ

3月が高温で推移したため、平年より発芽・満開期が1週間から10日程度早くなった。開花期は天候に恵まれ、結実は良好であった。しかし、落花期頃から降雨量が多く、気温も平年より高く推移したため、黒星病に感染しやすい条件となった。果実肥大期を通して気温は平年より高い時期が多く特に7月は日照時間も多かったため、収穫時期は平年より早く、早生品種の果実品質は良好であったが、少雨のためやや小玉傾向にあった。8月下旬からは寡照・多雨で推移したため、晩生品種は糖度がやや低下した。台風20号、21号、24号の影響により、中生品種以降で落果が発生した。

##### （イ）ブドウ

3～4月が高温で推移したため、発芽・展葉が平年より1週間程度早く、満開期も3日程度早くなった。開花期は気温が高く、房伸びや着粒は良好であった。果実肥大期の降雨量も適度にあり、順調に生育した。着色期の7月中旬以降の気温が高く着色不良が懸念されたが、日照時間がとても多かったためか着色は良好であった。なお、一部品種によっては日焼け果等が発生した。天候に恵まれたため、収穫時期は平年より早く病害の発生も少なく、果実品質は良好であった。

##### （ウ）カキ

3～4月が高温で推移したため、発芽・展葉が平年より10日程度早く、開花期も1週間程度早くなった。開花期以降も概ね天候に恵まれ、着果・初期肥大は良好であった。7月中旬から約1か月間は降水量が非常に少ない状態が続いたため、樹勢の低下等干ばつの影響が少なからずあったものと思われる。また台風20号、21号、24号の影響により枝折れや果面の損傷が多く発生するとともに、チャバネアオカメムシ等の大発生により収量は減少した。



## イ 発生状況

### (ア) ナシ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
黒斑病	やや早	やや少	葉での発病は5月中旬とやや早かったものの、発生量は、やや少なかった。果実への発病もほとんど見られなかった。	前年の発生がやや多く、5月の第3半旬に感染に好適な気象条件となったため、発生時期がやや早かったが、6月中旬以降は降雨日数も少なく、発生はやや少なかった。	発病初期からの薬剤防除。落葉、被害果の処分。
黒星病	やや早	やや多	花蕾での発病は見られなかったが、葉での発病時期は5月上中旬とやや早かった。発生量は、やや多く、果実での発病も見られた。	3月の気温が高く、満開期は4月上旬と早く、その後の生育も早かった。開花前から開花期の降水量は少なかったため生育初期の発生は平年並みかやや少なかったが、4月中旬から6月上旬は多く経過したため、葉や果実の発病は、やや多くなった。	開花期から梅雨明けまでの薬剤防除。落葉の処分や秋季防除を徹底する必要がある。
赤星病	やや早	平年並	生育期間を通して、発病は平年並であった。	3月の高温により初期生育が早く、発生時期は早かった。前年の発生量はやや少なかったが、4月中旬以降の降水量がやや多く、発病は平年並みであった。	4月～5月の降雨前に、薬剤による黒星病との同時防除。
うどんこ病	平年並	平年並	生育期間を通して、ほとんど発病は見られなかった。	生育期間を通して黒星病との同時防除が実施されており、前年も発病が見られなかったことから、本年も発病はほとんど見られなかった。	薬剤による黒星病との同時防除。落葉の処分。
ナシヒメシクイ	やや早	平年並	発生時期は平年より早かったが、発生量はほぼ平年並であった。果実への被害は少なかった。	フェロモントラップでは、4月第1半旬から誘殺されたが、その後に誘殺数が増えることはなく推移した。6月から8月に平年より多く誘殺される時期もあったものの、9月以降は減少した。また、薬剤防除により、果実への被害は抑制された。	発生に応じた薬剤防除。被害果の処分。交信攪乱剤の設置。
モモシクイガ	—	少	近年発生が少なく、今年度の発生および被害は確認していない。	他の害虫との同時防除により近年発生は少なく、被害は確認できなかった。フェロモントラップを県内4カ所に設置したものの誘殺されなかった。	発生に応じた薬剤防除。被害果の処分。交信攪乱剤の設置。
チャノココクモンハマキ	やや遅	やや少	発生時期は、やや遅く、発生量もやや少なかった。葉の被害もほとんど見られず、果実への被害は見られなかった。	フェロモントラップでは、生育期間を通じて発生時期は、やや遅く、発生量も少なかった。	薬剤および交信攪乱剤によるシンクイムシ類等との同時防除。
チャハマキ	やや早	やや多	発生時期は、やや早く、発生量はやや多かった。ただし、葉の被害もほとんど見られず、果実への被害は見られなかった。	フェロモントラップでは、生育期間を通じて発生は、やや早く、発生量もやや多かった。薬剤防除により、果実等への被害は抑制された。	薬剤および交信攪乱剤によるシンクイムシ類等との同時防除。
チャバネアオカメムシ	やや早	越冬世代多 第一世代多	越冬成虫が多く、越冬世代の飛来時期は、やや早かった。発生量は5月第4半旬に急増し、その後発生量はやや減少したものの6月第6半旬以降に再び急増した。その後も多い傾向が続いた。果実への被害も見られたが、ネット被覆により大きな被害には至らなかった。	前年9月第6半旬に急増し、冬期間に実施した成虫の越冬量調査でも越冬量は多かった。フェロモントラップでは、初飛来が4月第5半旬とやや早かった。4月の気温が高かったためと思われる。6月第6半旬以降も気温が高い日が多く、8月末まで発生量は多く推移した。	ネット被覆および発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
ツヤアオカメムシ	平年並	越冬世代多 第一世代やや多	越冬世代の飛来時期は平年並だった。発生量は5月第4半旬に急増し、その後も多い傾向が続いた。第一世代は平年並からやや多い発生量であった。果実への被害も見られたが、ネット被覆により大きな被害には至らなかった。	予察灯では、初飛来が5月第1半旬と平年並であったが、発生量は5月第4半旬から7月第1半旬まで多い傾向が続いた。気温が高かったためと思われる。	ネット被覆および発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
クサギカメムシ	やや早	越冬世代多 第一世代やや多	越冬世代の飛来時期は、やや早かった。発生量は6月第6半旬に急増し、その後も多い傾向が続いた。第一世代は平年並からやや多い発生量であった。果実への被害も見られたが、ネット被覆により大きな被害には至らなかった。	予察灯では、初飛来が5月第4半旬とやや早く、発生量は6月第6半旬から8月第2半旬まで多い傾向が続いた。その後も8月末までやや多い傾向であった。気温が高かったためと思われる。	ネット被覆および発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
アブラムシ類	やや早	平年並	初発確認は4月中旬と平年よりやや早かったが、多発することはなかった。6月下旬まで発生が続いた。発生量は平年並であった。	3月以降の気温が高く発芽時期が早かったため、発生時期は早かった。多発が懸念されたが、降雨日数が多かったことと適期防除により発生量は平年並で推移した。	展葉期、新梢伸長期に発生に応じた薬剤防除。
ハダニ類	やや早	やや多	初発確認は6月中旬とやや早く、7月以降平年よりやや多い発生が続いた。園によっては落葉が多発した。また8月下旬と平年より遅くまで発生が続いた。	春以降気温が高く推移したことから、発生時期が早まったと思われる。また、7月中旬からまとまった雨が少なく気温の高い日が続いたため、7月以降は発生量がやや多かった。防除は実施されていたが、産地・園によっては被害が拡大した。	発生初期の薬剤防除。薬剤のローテーション散布。

(イ) ブドウ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
うどんこ病	平年並	やや少	果実での初確認は6月中旬と平年並であったが、その後の発生量は平年よりもやや少なかった。	5月下旬から7月上旬にかけては気温も平年より高い日が多く発病しやすい条件であったが、適期に防除が行われたため、発生の拡大は見られなかった。	初発期の防除
べと病	やや早	平年並	初発確認は6月中旬とやや早かった。7月から8月の発生はほとんど見られなかったが、8月下旬以降の台風により9月の発生量は平年並みとなった。果実への発病はみられなかった。	前年の発生量がやや多く、6月上旬までの降水量が多かったため初発時期は早かった。その後の防除と7～8月の少雨により発生のない期間が続いたが、8月下旬以降に台風が相次ぎ、9月には発生拡大した。	雨除け被覆、初発時の防除、落葉処理。
灰色かび病	平年並	やや少	初発確認は5月下旬と平年並であったが、その後の拡大は見られなかった。	6月上旬までの降水量は多かったが、適期防除により感染は少なかった。	花かす落としの励行。開花前と落花直後の薬剤防除。発病果の摘粒。新梢管理による過繁茂防止。
晩腐病	平年並	やや少	8月下旬に初発を確認したが、その後の拡大は見られなかった。	開花、幼果期の降雨量は多かったが、適期防除に加え、7月中以降から成熟期に雨が少なく、果実の成熟が平年よりかなり早かったことから発生量は少なかった。	開花期および幼果期の薬剤防除、雨除け被覆（袋かけ）、発病果の摘粒。
チャノコカクモンハマキ	やや遅	やや少	発生時期は、やや遅く、発生量もやや少なかった。葉の食害もほとんど見られず、果実への被害は見られなかった。	フェロモントラップでは、生育期間を通じて発生時期は、やや遅く、発生量も少なかった。	発生確認後すぐの防除
チャハマキ	やや早	やや多	発生時期は、やや早く、発生量は、やや多かった。ただし、葉の食害もほとんど見られず、果実への被害は見られなかった。	フェロモントラップでは、生育期間を通じて発生はやや早く、発生量もやや多かった。薬剤防除により、果実等への被害は抑制された。	発生確認後すぐの防除
カイガラムシ類	やや遅	やや少	ほ場での発生は少なく、果実への被害も確認していない。	粗皮削りや適期防除が実施されたため、発生量は、やや少なかった。	薬剤防除。粗皮削り。
チャバネアオカメムシ	やや早	越冬世代多 第一世代多	越冬成虫が多く、越冬世代の飛来時期は、やや早かった。発生量は5月第4半旬に急増し、その後発生量はやや減少したものの6月第6半旬以降に再び急増した。その後も多い傾向が続いた。昼間でも多く観察でき、袋かけが遅れた果房の被害は甚大となった。	前年9月第6半旬に急増し、冬期間に実施した成虫の越冬量調査でも越冬量は多かった。フェロモントラップでは、初飛来が4月第5半旬とやや早かった。4月の気温が高かったためと思われる。6月第6半旬以降も気温が高い日が多く、8月末まで発生量は多く推移した。	発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
ツヤアオカメムシ	平年並	越冬世代多 第一世代やや多	越冬世代の飛来時期は平年並だったが、発生量は5月第4半旬に急増し、その後も多い傾向が続いた。第一世代は平年並からやや多い発生量であった。果実の被害は多かった。	予察灯では、初飛来が5月第1半旬と平年並であったが、発生量は5月第4半旬から7月第1半旬まで多い傾向が続いた。やや早かった。気温が高かったためと思われる。	発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
クサギカメムシ	やや早	越冬世代多 第一世代やや多	越冬世代の飛来時期はやや早く、発生量は6月第6半旬に急増し、その後も多い傾向が続いた。第一世代は平年並からやや多い発生量であった。果実の被害は多かった。	予察灯では、初飛来が5月第4半旬とやや早く、発生量は6月第6半旬から8月第2半旬まで多い傾向が続いた。その後も8月末までやや多い傾向であった。気温が高かったためと思われる。	発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
フタテンヒメヨコバイ	平年並	やや多	近年、発生を確認することは少ないが、8月下旬に一部園で発生が多かった。	発生園は大粒種の無核栽培で樹勢が強く枝葉が繁茂していたことから、発生が拡大した。	アザミウマ類との同時防除。新梢の適切な管理。
チャノキイロアザミウマ	平年並	やや少	被害はほとんど見られなかった。	幼果期の薬剤防除と袋掛けにより、果実への被害はほとんど見られなかった。	幼果期の薬剤防除、粗皮削り、袋かけ、園内外の除草。
コガネムシ類	平年並	平年並	発生量は平年並で、被害はほとんど見られなかった。	園外からの飛来が発生の主要因となっている。	飛来状況に応じて薬剤防除。

(ウ) カキ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
うどんこ病	平年並	やや少	初発確認は5月中旬と平年並であった。その後も発生量はやや少なかった。	7月以降高温が続いたため、発生量はやや少なかった。	初発時の防除、落葉病、炭疽病との同時防除。落葉処理。
落葉病	やや早	やや少	初発確認は7月下旬とやや早かったが、以降の発生量は、やや少なくて推移した。	6月下旬や7月上旬に降雨が続いたものの、6月中旬以降の降雨日数はやや少なかったことから、発生量は平年よりやや少なかった。	感染期の薬剤防除。落葉処理。
炭疽病	やや遅	やや多	新梢での発病は見られなかったが、7月に果実での初発を確認した。9月下旬には平年よりやや多い発病が見られた。	6月中旬以降の降雨日数が少なく、7月中旬以降は高温乾燥が続いたことから、新梢への発病は見られなかった。しかし、8月下旬から9月に台風、長雨が続き続いたことから、9月には果実の発病が拡大した。	新梢の過繁茂防止、発病枝や発病果の除去、薬剤防除。
チャノキイロアザミウマ	やや早	平年並	6月中旬より被害果が確認されたが、発生量は平年並であった。	春から気温の高い日が続く、カキの生育も早かったことから、発生は早かった。適期防除が行われたことにより、果実への被害は平年並であった。	開花期および幼果期の薬剤防除、粗皮削り。
カキクダアザミウマ	やや早	平年並	被害葉の初確認は5月中旬だが、被害葉の状況からもっと早い時期の被害であることが推測された。発生量は平年並であった。果実への被害は見られなかった。	春から気温の高い日が続く、カキの生育も早かったことから、発生は早かった。適期防除が行われたことにより、被害の拡大は見られなかった。	軽微な被害葉が見え始めた頃の薬剤による防除。被害葉の処分。粗皮削り。
カキノヘタムシガ	やや早	平年並	第一世代による果実の被害量は少なかったが、第二世代による被害量は平年並であった。なお、9月下旬ごろまで果実の食害が見られた。	成虫の発生は確認できなかった。気温が高かったため、成虫発生時期と防除時期が合わなかった可能性があり、第二世代による被害が平年並に戻ったと考えられる。	成虫発生盛期の薬剤防除。粗皮削り。バンド誘殺。
フジコナカイガラムシ	—	やや少	ほ場での発生は、やや少なく、果実への被害も少なかった。	前年の発生量もやや少なく、粗皮削りや適期防除が実施されたため、発生量はやや少なかった。	薬剤防除。粗皮削り。
チャバナアオカメムシ	やや早	越冬世代多 第一世代多	越冬成虫が多く、越冬世代の飛来時期はやや早かった。発生量は5月第4半旬に急増し、その後発生量はやや減少したものの6月第6半旬以降に再び急増した。その後も多い傾向が続いた。昼間でも多く観察でき、果実の被害は甚大となった。	前年9月第6半旬に急増し、冬期間に実施した成虫の越冬量調査でも越冬量は多かった。フェロモントラップでは、初飛来が4月第5半旬とやや早かった。4月の気温が高かったためと思われる。6月第6半旬以降も気温が高い日が多く、8月末まで発生量は多く推移した。	発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
ツヤアオカメムシ	やや早	越冬世代多 第一世代やや多	越冬世代の飛来時期は平年並だったが、発生量は5月第4半旬に急増し、その後も多い傾向が続いた。第一世代は平年並からやや多い発生量であった。果実の被害は多かった。	予察灯では、初飛来が5月第1半旬と平年よりやや早く、発生量は5月第4半旬から7月第1半旬まで多い傾向が続いた。気温が高かったためと思われる。	発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
クサギカメムシ	やや早	越冬世代多 第一世代やや多	越冬世代の飛来時期はやや早く、発生量は6月第6半旬に急増し、その後も多い傾向が続いた。第一世代は平年並からやや多い発生量であった。果実の被害は多かった。	予察灯では、初飛来が5月第4半旬とやや早く、発生量は6月第6半旬から8月第2半旬まで多い傾向が続いた。その後も8月末までやや多い傾向であった。気温が高かったためと思われる。	発生に応じた薬剤防除。5月22日、7月19日に注意報を発表した。
マイマイガ	—	少	ほ場での発生は見られなかった。	H24に多発生となったが、その後発生は少ない。	初発時の防除
チャノコカクモンハマキ	やや遅	やや少	発生時期は、やや遅く、発生量もやや少なかった。葉の食害もほとんど見られず、果実への被害は見られなかった。	フェロモントラップでは、生育期間を通じて発生時期は、やや遅く、発生量も少なかった。	アザミウマ類、カキノヘタムシガとの同時防除。
チャハマキ	やや早	やや多	発生時期は、やや早く、発生量は、やや多かった。ただし、葉の食害もほとんど見られず、果実への被害は見られなかった。	フェロモントラップでは、生育期間を通じて発生はやや早く、発生量もやや多かった。薬剤防除により、果実等への被害は抑制された。	アザミウマ類、カキノヘタムシガとの同時防除。

ウ 予察灯、フェロモントラップおよびほ場における調査

(ア) 予察灯による調査

カメムシ類半旬別誘殺状況 (栗東市荒張、100W高圧水銀灯) (頭)

月	半旬	チャバネアオカメムシ				ツヤアオカメムシ				クサギカメムシ			
		本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積	本年	累積	平年	累積
4	1	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	2	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	3	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	4	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
	5	1	1	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.1	0
	6	0	1	0.1	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
5	1	11	12	1.7	2	1	1	0.1	0	0	0	0.0	0
	2	0	12	0.1	2	0	1	0.3	0	0	0	0.0	0
	3	0	12	1.8	4	1	2	0.6	1	0	0	0.0	0
	4	345	357	11.3	15	32	34	1.0	2	8	8	0.0	0
	5	3	360	3.0	18	1	35	1.9	4	0	8	0.1	0
	6	69	429	2.3	20	47	82	1.7	6	8	16	0.1	0
6	1	17	446	13.1	33	9	91	8.8	14	4	20	0.1	0
	2	35	481	7.9	41	17	108	23.6	38	9	29	0.9	1
	3	1	482	10.4	52	8	116	16.8	55	0	29	1.0	2
	4	40	522	12.1	64	37	153	14.2	69	1	30	0.6	3
	5	114	636	11.4	75	66	219	33.8	103	9	39	0.2	3
	6	599	1235	19.9	95	110	329	23.1	126	58	97	0.3	3
7	1	398	1633	12.9	108	108	437	19.9	146	49	146	0.4	4
	2	190	1823	46.0	154	24	461	23.9	170	17	163	4.1	8
	3	348	2171	75.1	229	24	485	36.5	206	72	235	15.8	24
	4	385	2556	106.7	336	27	512	53.6	260	96	331	19.8	44
	5	352	2908	69.7	406	31	543	45.7	305	110	441	16.7	60
	6	328	3236	208.2	614	20	563	47.0	352	118	559	65.4	126
8	1	343	3579	206.7	821	18	581	48.4	401	99	658	46.8	173
	2	199	3778	108.7	929	15	596	39.0	440	56	714	24.8	197
	3	314	4092	105.7	1035	50	646	37.7	477	43	757	27.0	224
	4	201	4293	143.2	1178	25	671	56.1	534	21	778	29.6	254
	5	442	4735	68.9	1247	95	766	23.8	557	27	805	22.8	277
	6	279	5014	112.3	1359	24	790	43.2	601	20	825	18.3	295
9	1	134	5148	75.1	1434	16	806	31.5	632	2	827	6.1	301
	2	118	5266	72.9	1507	26	832	44.8	677	3	830	3.6	305
	3	38	5304	51.8	1559	15	847	25.8	703	0	830	2.3	307
	4	114	5418	34.3	1593	172	1019	32.0	735	0	830	1.4	308
	5	29	5447	33.7	1627	138	1157	30.0	765	0	830	1.5	310
	6	5	5452	51.1	1678	62	1219	48.9	814	0	830	1.6	312
10	1	7	5459	24.5	1703	114	1333	71.9	885	0	830	0.9	312
	2	52	5511	13.5	1716	365	1698	44.5	930	0	830	0.8	313
	3	0	5511	9.9	1726	85	1783	41.3	971	0	830	0.5	314
	4	0	5511	5.3	1731	32	1815	24.0	995	0	830	0.2	314
	5	0	5511	3.0	1734	16	1831	11.2	1006	0	830	0.3	314
	6	0	5511	0.9	1735	9	1840	5.1	1012	0	830	0.1	314

※平年値は平成20～29年の10年間の平均値

## (イ) フェロモントラップによる調査

フェロモントラップ半旬別誘殺状況 (栗東市荒張)

(頭)

月	半旬	果樹カメムシ類						ナシヒメシンクイ		チャハマキ		チャノコカクモンハマキ	
		チャバネアオカメムシ		ツヤアオカメムシ		クサギカメムシ		本年	平年	本年	平年	本年	平年
		本年	平年	本年	平年	本年	平年						
4	1	1	0	0	0	0	0	2	0.2	2	0.0	0	0.0
	2	1	0.2	0	0	0	0	0	0.4	2	0.0	0	0.6
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0.0	0	0.6
	4	3	0.2	0	0	0	0	0	1.6	1	0.2	0	1.3
	5	31	1.4	1	0	0	0	0	2.0	6	0.0	0	1.4
	6	6	3.1	0	0	1	0.1	0	2.5	0	1.3	1	1.4
5	1	8	36.5	1	0.5	0	0.4	0	0.7	1	1.5	1	2.3
	2	8	25.3	0	0	0	0	0	0.4	1	1.3	2	3.8
	3	57	29.8	3	2.8	0	0.3	1	0.0	4	1.7	0	6.3
	4	500	57.4	32	2.9	9	0.5	0	0.1	9	2.4	0	4.4
	5	12	32.9	11	2.1	1	0.9	0	0.0	3	1.6	0	2.1
	6	84	15.7	20	3.1	7	0.6	0	0.0	1	1.9	1	1.3
6	1	6	71.5	2	7.3	1	3.1	1	0.0	0	1.1	0	0.1
	2	23	71	7	5.2	1	1	0	0.2	2	0.9	0	0.2
	3	7	72.8	1	0.8	0	1	0	0.3	0	0.6	0	1.2
	4	99	91	4	2.3	2	1	2	0.3	1	1.4	0	1.1
	5	152	116.6	1	1	3	0.4	0	0.5	5	1.3	1	2.1
	6	626	214	1	1.8	5	0.8	2	0.4	5	0.9	0	2.4
7	1	461	310.4	0	2.1	3	0.9	0	0.4	1	0.2	0	4.8
	2	642	303.1	0	1.7	1	2.3	0	0.5	0	1.2	0	3.6
	3	709	365	1	0.5	13	1.8	0	0.2	6	0.3	0	1.4
	4	499	451	5	1.2	2	2.8	1	1.3	5	0.7	0	0.6
	5	220	392	5	2.8	3	1.6	4	1.0	3	1.0	1	0.8
	6	144	432	1	5.5	0	1	0	1.5	0	0.2	0	1.7
8	1	223	317	1	3.3	1	0.6	3	0.8	2	0.8	0	3.9
	2	100	214.6	0	2.6	0	0.4	1	1.3	1	1.0	0	2.7
	3	514	197.3	0	1.9	0	0.6	1	0.9	0	0.1	1	4.0
	4	131	222.4	1	1.8	0	1	3	1.2	2	0.3	0	2.9
	5	115	97.4	1	2.6	0	0.2	0	1.2	2	0.6	0	0.9
	6	97	61.2	1	1.7	0	0.2	0	1.1	7	0.4	2	0.1
9	1	—	16.7	—	1.2	—	0	0	2.6	3	—	0	—
	2	26	18.3	1	3.6	0	0	0	3.1	—	—	—	—
	3	3	7.1	0	0.5	0	0	0	1.1	—	—	—	—
	4	20	7.5	5	1.2	0	0	0	1.0	—	—	—	—
	5	4	6.7	18	1.5	0	0.1	0	0.6	—	—	—	—
	6	0	3.3	4	1.3	0	0.2	0	1.0	—	—	—	—
10	1	1	2.1	2	0.5	0	0	—	—	—	—	—	—
	2	8	1.6	2	1.1	0	0	—	—	—	—	—	—
	3	0	1	2	0.6	0	0.1	—	—	—	—	—	—
	4	2	0.4	1	0.5	0	0.1	—	—	—	—	—	—
	5	1	0.1	3	0.4	0	0.2	—	—	—	—	—	—
	6	0	0	0	0.2	0	0	—	—	—	—	—	—

※ナシヒメシンクイの調査期間は4月～9月、チャハマキおよびチャノコカクモンハマキの調査期間は4月～8月  
9月第1半旬の果樹カメムシ類誘殺数は欠測のためデータなし

(ウ) 現地ほ場における発生調査

a ナシ

月	黒斑病 (発病葉率%)		黒星病 (発病果率%)				赤星病 (発病葉率%)				アブラムシ類 (寄生新梢率%)				ハダニ類 (寄生葉率%)				
	栗東市 荒張		東近江市 下中野町		彦根市 石寺町		東近江市 下中野町		彦根市 石寺町		東近江市 下中野町		彦根市 石寺町		東近江市 下中野町		彦根市 石寺町		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
5	0.8	1.6	1.5	0.5	0.0	0.0	1.6	0.3	1.3	0.3	0.0	6.7	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	4.2	4.7	3.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	10.1	14.4	1.5	0.4	0.2	
7	1.8	9.3	2.8	0.3	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	1.1	0.0	1.8	0.0	4.0	2.7	1.2	
8	-	-	2.0	0.3	0.0	0.0	-	-	-	-	-	0.0	-	0.0	2.0	0.4	1.7	0.4	

※平年値：東近江市・栗東市は平成21～29年の9年間、彦根市は平成20～29年の10年間の値。

※「-」は調査期間外または未調査。

b ブドウ

月	べと病 (葉の発病度)		灰色かび病 (発病果率%)				晩腐病 (発病果率%)				チャノキイロアザミウマ (果房の被害度)					
	東近江市 鯉江町		長浜市 今荘町		東近江市 鯉江町		長浜市 今荘町		東近江市 鯉江町		長浜市 今荘町		東近江市 鯉江町		長浜市 今荘町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5	-	0.0	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	1.2	0.1	0.0	0.4	0.0	0.5	0.0	0.2	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0
7	1.3	3.2	3.0	4.9	0.0	1.1	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.1	0.0	0.0
8	0.0	9.5	0.0	9.4	-	-	-	-	0.0	-	0.0	-	-	-	-	-
9	15.3	-	37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※平年値：平成20～29年の10年間の値。ただし東近江市については平成26年に曾根町から鯉江町に調査地点を変更。

※本年の「-」は調査期間外または未調査。平年の「-」はデータ数が少ないため未記入とした。

c カキ

月	炭そ病 (発病果率%)				カキクダアザミウマ (被害度)				カキノヘタムシガ (100葉あたり成虫数)				フジコナカイガラムシ (寄生新梢率%)				マイマイガ (寄生葉率%)			
	米原市 弥高		栗東市 荒張		米原市 杉沢		栗東市 荒張		米原市 弥高		栗東市 荒張		米原市 弥高		栗東市 荒張		米原市 弥高		栗東市 荒張	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5	-	-	-	-	0.0	0.1	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.6	0.0	0.2
6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
7	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	1.5	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.7	0.0	0.1	-	-	-	-
9	9.1	0.8	5.2	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	2.2	3.3	0.0	-	-	-	-

※平年値：米原市は平成20～29年の10年間、栗東市は平成23～29年の7年間の値。

※「-」は調査期間外または未調査。

## エ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					発生面積 率 (%)	被害面積 率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
ナシ	56	黒斑病				2	2	3.6	0.0	* 35	* 175
		黒星病			4	14	18	32.1	7.1	* 35	* 315
		赤星病			1	10	11	19.6	1.8	* 35	* 70
		うどんこ病				1	1	1.8	0.0	* 35	* 70
		ナシヒメシンクイ			3	4	7	12.5	5.4	* 35	* 210
		モモシンクイガ					0	0.0	0.0	* 35	* 70
		チャノコカクモンハマキ			1	6	7	12.5	1.8	* 35	* 70
		チャハマキ			2	8	10	17.9	3.6	* 35	* 70
		チャバネアオカメムシ		2	8	10	20	35.7	17.9	* 35	* 70
		ツヤアオカメムシ		2	8	10	20	35.7	17.9	* 35	* 70
		クサギカメムシ		2	8	10	20	35.7	17.9	* 35	* 70
		アブラムシ類			4	19	23	41.1	7.1	* 35	* 70
		ナミハダニ		2	5	11	18	32.1	12.5	* 35	* 105
		カンザワハダニ		2	5	11	18	32.1	12.5	* 35	* 105
ブドウ	60	晩腐病				8	8	13.3	0.0	* 35	* 70
		うどんこ病				2	2	3.3	0.0	* 35	* 70
		べと病			5	11	16	26.7	8.3	* 35	* 105
		灰色かび病			1	8	9	15.0	1.7	* 35	* 70
		チャバネアオカメムシ			5	8	13	21.7	8.3	* 35	*
		ツヤアオカメムシ			5	8	13	21.7	8.3	* 35	*
		クサギカメムシ			5	8	13	21.7	8.3	* 35	*
		コガネムシ類				3	3	5.0	0.0	* 15	* 15
		フタテンヒメヨコバイ				4	4	6.7	0.0	* 15	* 15
		チャノキイロアザミウマ			2	8	10	16.7	3.3	* 35	* 70
クワコナカイガラムシ			1	3	4	6.7	1.7	* 35	* 70		
カキ	155	炭そ病			5	20	25	16.1	3.2	* 100	* 130
		うどんこ病				9	9	5.8	0.0	* 30	* 60
		落葉病類				23	23	14.8	0.0	* 100	* 130
		カキノヘタムシガ			2	18	20	12.9	1.3	* 100	* 130
		フジコナカイガラムシ				4	4	2.6	0.0	* 30	* 60
		クサギカメムシ	1	8	17	32	58	37.4	16.8	* 100	* 130
		チャバネアオカメムシ	1	8	17	32	58	37.4	16.8	* 100	* 130
		ツヤアオカメムシ	1	8	17	32	58	37.4	16.8	* 100	* 130
		チャハマキ			1	3	4	2.6	0.6	* 30	* 30
		チャノコカクモンハマキ				3	3	1.9	0.0	* 30	* 30
		チャノキイロアザミウマ			1	6	7	4.5	0.6	* 30	* 30
		マイマイガ				1	1	0.6	0.0	* 5	* 5
カキクダアザミウマ			1	2	3	1.9	0.6	* 5	* 5		

※防除面積の「\*」は同時防除含む。

※被害面積率=(程度別発生面積甚～中の和) / (栽培面積)

## (2) チャ

### ア 生育状況

茶業指導所内の作況園での一番茶萌芽期は、3月に入り平均気温がかなり高く推移したことから、前年より10日早く、前5か年平均より7日早い3月31日となった。その後も、気温が高く降水量が多かったため、生育が7～10日早く進み、摘採日は前5か年平均より8日早い5月1日となった。収量は、頂芽と側芽の生育差が大きく百芽重が小さい傾向となったため減少した。

二番茶摘採日は、一番茶摘採日が8日早く、摘採後も平均気温の高い期間が多かったにもかかわらず、前5か年平均より5日早い6月21日となった。収量は芽数が多かったことから、前5か年平均より3割程度多かった。

三番茶は、7月中旬～8月中旬にかけての高温少雨の影響で初期生育は緩慢であったが、9月に入ると台風と秋雨で降水量が多くなり生育が旺盛となった。

### イ 発生状況

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
炭疽病	平年並	やや少	7月中旬に平年並の発生が認められたが、その後の発生量はやや少なかった。	7月中旬から8月中旬にかけて、降水量と降水日数が少なく気温が高かったことから、発生量はやや少なくなった。	薬剤による防除が適宜行われたほか、二番茶摘採後の浅刈り等による耕種的防除が実施された。
もち病	平年並	平年並	期間を通じて発生量は平年並であった。	感染源となる前年の発生量が平年並で、期間を通じて気温が高かったことから、発生はほとんど認められず、発生量は平年並となった。	常発地では薬剤による防除が適宜行われた。また、二番茶摘採後の浅刈りによる耕種的防除が実施された。
輪斑病	平年並	平年並	発生量は8月までやや少なく、9月以降は平年並となった。	感染源となる前年の新梢枯死症の発生量が平年並で、7月中旬から8月中旬にかけて降水量と降水日数が少なく気温が高かったことから、発生量はやや少なくなった。9月に入ると台風と秋雨で降水日数が多くなり、発生量は増加し、平年並となった。	発生園では、治療剤散布による防除が実施された。
新梢枯死症	平年並	平年並	発生量は8月までやや少なく、9月以降は平年並となった。	感染源となる輪斑病の発生量がやや少なかったことから、新梢枯死症の発生量もやや少なかった。9月に入ると台風と秋雨で降水日数が多くなり、発生量は増加し、平年並となった。	発生園では、治療剤散布による防除が実施された。
チャノコカクモンハマキ	やや早	やや少	各世代で発生時期はやや早く、発生量はやや少なかった。	期間を通じて気温が高かったことから、発生時期はやや早かった。また、前年最終世代成虫の発生量がやや少なかったことから、越冬世代の発生量が少なく、その後も各世代で発生量が少なくなった。	薬剤による防除が適宜行われたほか、二番茶摘採後の浅刈りによる耕種的防除が実施された。



病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
チャハマキ	平年並	やや少	発生量は、第2世代までやや少なく、第3世代は平年並であった。	前年各世代の発生量がやや少なかったことから、第2世代まで発生量はやや少なかった。しかし、産卵場所が近似するチャノコカクモンハマキの発生が期間を通じて少なかったことから、発生量は増加傾向となり、第3世代で平年並となった。	チャノコカクモンハマキとの同時防除が実施された。
チャノホソガ	早	やや少	発生時期は越冬世代、第1世代でやや早く、第2世代以降は早かった。発生量は第2世代で多く、その他の世代では、やや少なかった。	期間を通じて気温が高かったことから、発生時期は、やや早～早で推移した。また、第1世代成虫の発生ピークが長期間みられたことから、適期防除が難しく、第2世代の発生量が増加した。その後は薬剤防除の効果により発生量はやや少なくなった。	二番茶、秋番茶の摘採前を中心に、薬剤による防除が実施された。
チャノミドリヒメヨコバイ	平年並	やや少	発生量は8月までやや少なく、9月に入ると平年並となった。	7月から8月にかけて記録的な高温がみられたことから、活動が抑制され発生量も少なくなった。9月に入ると気温が平年並となり、発生量も平年並となった。	発生に応じて適宜防除が実施された。
カンザワハダニ	平年並	平年並	発生量は8月中旬に多かったが、その他の時期は平年並、または、やや少なかった。	前年の発生量がやや少なかったことから、8月上旬まで発生量はやや少～平年並で推移した。7月中旬から8月中旬かけての高温少雨の影響で8月中旬の発生量が増加した。9月に入ると台風と秋雨で降水量が多くなり、その後の発生量はやや少なくなった。	発生に応じて適宜防除が実施された。8月中旬に発生量が多くなったため、8月28日に防除情報を発表した。
チャノキイロアザミウマ	平年並	やや少	8月中旬に平年並の発生が認められたが、その他の時期はやや少なかった。	7月中旬から8月中旬かけての高温少雨の影響で8月中旬の発生量がやや増加したが、その他の時期は適度に降雨がみられたことから発生量がやや少なくなった。	発生に応じて適宜防除が実施された。
ツマグロアオカスミカメ	早	平年並	発生時期は早く、発生量は平年並であった。	一番茶の萌芽期が平年より7日早かったことから、発生時期は早くなった。	一番茶の萌芽期～開葉期に薬剤防除が実施された。
クワシロカイガラムシ	早	やや多	発生時期は各世代で早かった。発生量は越冬世代、第1世代でやや多く、第2世代でやや少なかった。	期間を通じて気温が高かったことから、第1・2世代の幼虫ふ化期が早くなった。また、前年最終世代の発生量が多かったことから、越冬世代と第1世代の発生量は多くなった。第2世代の発生量は、適期防除の実施と9月の台風と秋雨の影響によりやや少なくなった。	発生園では主に第2世代幼虫ふ化期に薬剤防除が実施された。
チャトゲコナジラミ	平年並	やや多	発生時期は各世代で平年並であった。発生量は越冬世代でやや少なく、第1・2世代で多かった。	前年最終世代成虫の発生量がやや少なかったことから、越冬世代の発生量は少なくなった。第1世代以降の発生量は、7月中旬から8月中旬にかけて降水量と降水日数が少なく気温が高かったことから多くなった。	発生園では、防除適期である若齢幼虫期に薬剤防除が実施された。また、二番茶摘採後の浅刈りによる耕種的防除が実施された。

ウ 予察灯・フェロモントラップ・ほ場における調査

(ア) 予察灯（水盤）・フェロモントラップにおける調査

チャノコカクモンハマキ・チャハマキ・チャノホソガ 半旬別誘殺状況（甲賀市水口町）（頭）

月 半旬	チャノコカクモンハマキ						チャハマキ						チャノホソガ				
	予察灯			フェロモン トラップ			予察灯			フェロモン トラップ			予察灯		フェロモン トラップ		
	本年		計	平年	本年	平年	本年		平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年		
	♀	♂					♀	♂									
4	1	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	1	0	0	1	55	173
	2	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	1	0	0	3	9	223
	3	0	0	0	0	6	40	0	0	0	0	3	5	0	9	59	205
	4	0	0	0	2	39	137	0	0	0	0	8	5	0	16	26	232
	5	0	1	1	7	170	150	0	0	0	1	14	8	0	5	31	102
	6	0	0	0	40	214	231	0	0	0	1	6	11	0	4	8	32
5	1	1	0	1	49	93	302	0	0	0	2	0	11	0	4	9	15
	2	0	0	0	64	58	370	0	0	0	2	3	11	0	2	4	12
	3	0	4	4	22	89	350	0	0	0	4	9	9	0	0	2	5
	4	0	1	1	36	4	199	0	0	0	2	5	6	0	0	0	2
	5	0	1	1	12	1	66	0	0	0	1	11	11	0	0	49	38
	6	0	0	0	6	0	25	0	0	0	2	12	12	5	16	696	518
6	1	0	0	0	3	0	7	0	0	0	1	2	9	12	18	720	876
	2	0	0	0	1	0	16	0	0	0	1	4	6	1	48	948	1902
	3	0	0	0	56	11	104	0	0	0	0	0	5	1	36	359	1436
	4	0	1	1	19	75	108	0	0	0	0	1	4	1	7	271	654
	5	0	1	1	25	79	190	0	0	0	1	4	3	0	4	64	260
	6	0	12	12	25	60	236	0	0	0	1	10	6	0	5	304	100
7	1	0	3	3	21	9	179	0	0	0	1	5	6	0	3	1695	87
	2	0	0	0	26	1	78	0	0	0	2	0	10	22	20	1868	389
	3	0	1	1	13	0	27	0	2	2	4	5	9	10	26	484	734
	4	0	0	0	4	0	17	1	0	1	1	14	11	1	24	76	765
	5	0	0	0	4	0	29	0	0	0	2	4	6	0	5	53	366
	6	0	0	0	16	4	27	0	0	0	1	3	5	0	3	264	198
8	1	0	4	4	31	13	45	0	0	0	0	3	4	0	2	375	192
	2	0	7	7	37	12	26	0	0	0	2	0	4	0	9	88	352
	3	0	3	3	22	6	17	0	1	1	1	0	5	1	14	129	584
	4	0	8	8	21	4	16	0	0	0	1	0	5	0	8	55	467
	5	0	2	2	11	5	8	0	0	0	0	3	3	0	4	52	372
	6	0	0	0	2	2	16	0	0	0	0	1	1	2	2	61	299
9	1	0	2	2	3	0	24	0	1	1	0	2	2	1	2	159	224
	2	0	0	0	9	0	32	1	0	1	0	0	5	0	3	182	311
	3	0	0	0	25	1	50	0	0	0	1	5	6	0	4	88	525
	4	0	1	1	36	4	53	0	0	0	1	2	8	0	11	95	849
	5	1	2	3	32	2	73	0	0	0	1	2	8	0	9	63	635
	6	0	0	0	50	9	56	0	0	0	1	0	9	0	5	43	489
10	1	0	5	5	18	19	89	0	1	1	2	6	8	0	4	26	402
	2	0	1	1	16	15	71	0	0	0	2	5	9	0	2	20	267
	3	0	0	0	13	14	30	0	1	1	3	4	11	0	1	9	131
	4	0	0	0	6	12	32	0	0	0	2	9	13	0	1	9	110
	5	0	0	0	2	6	22	0	0	0	2	18	19	0	1	33	62
	6	0	1	1	0	4	5	0	3	3	1	24	13	0	1	33	46
11	1	0	1	1	0	0	3	0	5	5	1	10	3	0	0	16	29
	2	0	1	1	1	0	2	0	2	2	0	11	3	1	1	17	33
	3	0	0	0	0	0	3	0	1	1	0	5	3	0	1	9	23
	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	2	0	0	5	18
	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	14
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	18

※ 平年値は平成20～29年の10年間の平均値。

チャノコカクモンハマキ発生型一覧表（甲賀市水口町）

	越冬世代成虫		第1世代成虫		第2世代成虫		第3世代成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日（月日）	4月22日	4月19日	6月18日	6月13日	8月1日	7月25日	9月19日	9月10日
最盛日（月日）	5月15日	5月7日	6月27日	6月27日	8月9日	8月7日	10月1日	9月30日
最盛半旬（月-半旬）	5-3	5-2	6-5	6-5	8-4	8-2	10-1	9-6
50%誘殺日（月日）	5月13日	5月8日	6月27日	6月28日	8月12日	8月8日	10月1日	9月28日
終息日（月日）	5月22日	5月29日	7月15日	7月15日	9月5日	8月27日	11月6日	10月23日
誘殺日数（日）	7	27	9	22	19	22	8	22
誘殺数（頭）	8	242	18	186	26	146	13	209
性比（♂/♀）	7.00	12.01	-	8.28	-	8.01	12.00	6.78

※ 平年値は平成20～29年の10年間の平均値。  
 ※ 「-」は誘殺数が0「ゼロ」であったことによる。

チャハマキ発生型一覧表（甲賀市水口町）

	越冬世代成虫		第1世代成虫		第2世代成虫		第3世代成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日（月日）	-	4月27日	7月11日	6月25日	8月11日	8月7日	10月1日	9月24日
最盛日（月日）	-	5月11日	7月15日	7月9日	9月5日	8月20日	11月2日	10月10日
最盛半旬（月-半旬）	-	5-2	7-3	7-2	9-1	8-4	11-1	10-2
50%誘殺日（月日）	-	5月11日	7月15日	7月12日	9月5日	8月16日	11月2日	10月10日
終息日（月日）	-	6月1日	7月18日	7月18日	9月8日	8月24日	11月12日	10月28日
誘殺日数（日）	-	12	3	8	3	8	12	12
誘殺数（頭）	-	20	3	15	3	12	13	17
性比（♂/♀）	-	4.89	2.00	7.50	2.00	5.42	-	5.42

※ 平年値は平成20～29年の10年間の平均値。  
 ※ 「-」は誘殺数が0「ゼロ」であったことによる。

チャノホソガ発生型一覧表（甲賀市水口町）

	越冬世代成虫		第1世代成虫		第2世代成虫		第3世代成虫		第4世代成虫		第5世代成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日（月日）	-	4月10日	5月28日	5月29日	7月6日	7月2日	8月11日	8月7日	8月28日	9月9日	11月8日	10月5日
最盛日（月日）	-	4月21日	6月4日	6月9日	7月8日	7月11日	8月11日	8月16日	8月30日	9月19日	11月8日	10月19日
最盛半旬（月-半旬）	-	4-4	6-1	6-2	7-2	7-2	8-3	8-3	8-6	9-4	11-2	10-4
50%誘殺日（月日）	-	4月21日	6月4日	6月9日	7月9日	7月11日	8月11日	8月16日	8月30日	9月14日	11月8日	10月18日
終息日（月日）	-	5月8日	6月16日	6月21日	7月17日	7月27日	8月11日	8月26日	9月5日	9月30日	11月8日	11月4日
誘殺日数（日）	-	13	7	17	9	16	1	11	3	13	1	8
誘殺数（頭）	-	44	20	128	33	84	1	42	3	37	1	12

※ 平年値は平成20～29年の10年間の平均値。ただし、第5世代成虫は発生が認められた平成21、22、25、26、27、28年の6年間の平均値。  
 ※ 「-」は誘殺数が0「ゼロ」であったことによる。

## (イ) ほ場における調査

## a カンザワハダニ 基準ほ場における発生調査 (甲賀市水口町)

月 旬	本年				平年		
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)	寄生数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計			
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	1.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	0.6
3	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	1.4
	中	0.00	0.00	0.00	0.0	0.08	2.4
	下	0.00	0.00	0.00	0.0	0.44	3.2
4	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.16	1.6
	中	0.00	0.00	0.00	0.0	0.18	1.6
	下	0.00	0.00	0.00	0.0	0.10	1.2
5	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.37	1.4
	中	0.00	0.00	0.00	0.0	0.49	1.4
	下	0.00	0.00	0.00	0.0	0.05	1.4
6	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.21	3.0
	中	0.00	0.00	0.00	0.0	0.15	1.8
	下	0.00	0.00	0.00	0.0	0.03	1.4
7	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.04	0.8
	中	0.00	0.00	0.00	0.0	0.03	1.0
	下	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.2
8	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.07	1.8
	中	0.32	0.12	1.58	2.02	0.57	4.0
	下	0.02	0.02	0.06	0.10	6.0	3.4
9	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.15	5.0
	中	0.00	0.00	0.00	0.0	0.08	2.8
	下	0.00	0.00	0.00	0.0	0.06	1.6
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.24	3.2
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.16	3.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.06	1.6

※ 平年値は平成20～29年の10年間の平均値。

※ 寄生葉率は成虫、幼虫、または卵が1頭(卵)以上寄生している葉の割合。

b カンザワハダニ 予察ほにおける発生調査

(a) 甲賀市土山町 市場

月 旬	本年				寄生葉率 (%)	平年		
	寄生数 (頭/葉)					寄生数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)	
	成虫	幼虫	卵	合計				
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.05	1.0	
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.01	1.0	
3	上	0.00	0.00	0.00	0.0	0.03	1.6	
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.45	1.4
4	上	0.00	0.00	0.00	0.00	1.78	5.0	
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	1.13	3.2
5	上	0.08	0.16	0.54	0.78	2.0	0.10	2.0
	中	0.06	0.42	1.84	2.32	10.0	0.38	4.4
6	上	1.32	0.68	4.44	6.44	32.0	1.17	12.6
	中	0.12	0.02	0.00	0.14	2.0	0.68	8.6
7	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.72	9.6
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.04	2.8
8	上	0.04	0.00	0.08	0.12	4.0	0.22	5.8
	中	0.02	0.46	0.78	1.26	4.0	0.59	10.8
9	上	0.04	0.04	0.02	0.10	8.0	1.36	7.8
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	1.64	4.4
10		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.09	1.0
11		0.00	0.02	0.00	0.02	2.0	0.02	1.0
12		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	0.6

※ 平年値は平成20～29年の10年間の平均値。

(b) 甲賀市信楽町 上朝宮 (奥山)

月 旬	本年				寄生葉率 (%)	平年		
	寄生数 (頭/葉)					寄生数 (頭/葉)	寄生葉率 (%)	
	成虫	幼虫	卵	合計				
1	0.20	0.00	0.00	0.20	4.0	0.01	0.4	
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.2	
3	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	1.2
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	1.4
4	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.57	2.6
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	1.79	4.0
5	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.59	3.8
	中	0.14	0.06	1.84	2.04	12.0	0.06	1.8
6	上	0.62	0.88	2.36	3.86	10.0	0.17	2.0
	中	0.04	0.06	0.22	0.32	4.0	0.04	1.2
7	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.01	0.4
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.02	0.6
8	上	0.04	0.08	0.14	0.26	4.0	0.05	0.8
	中	0.02	0.00	0.06	0.08	2.0	0.02	1.0
9	上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.05	1.4
	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.18	2.4
10		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.30	3.4
11		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.01	0.2
12		0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.12	0.8

※ 平年値は平成20～29年の10年間の平均値。

c カンザワハダニ 現地ほ場における発生調査

(a) 甲賀市土山町 頓宮

月	本年				寄生葉率 (%)
	寄生数 (頭/葉)				
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
8	0.16	0.78	1.32	2.26	16.0
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

(b) 甲賀市土山町 布引

月	本年				寄生葉率 (%)
	寄生数 (頭/葉)				
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.22	0.22	1.06	1.50	2.0
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
6	0.02	0.00	0.00	0.02	2.0
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
8	0.54	1.92	4.94	7.40	40.0
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

(c) 甲賀市信楽町 向山

月	本年				寄生葉率 (%)
	寄生数 (頭/葉)				
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.02	0.00	0.00	0.02	2.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.22	0.00	0.00	0.22	2.0
6	0.32	0.60	1.78	2.70	12.0
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
8	0.14	1.34	2.68	4.16	24.0
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

## (d) 甲賀市信楽町 寺谷

月	本年				
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
6	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
8	0.38	0.36	0.08	0.82	16.0
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

## (e) 日野町 北山

月	本年				
	寄生数 (頭/葉)				寄生葉率 (%)
	成虫	幼虫	卵	合計	
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
5	0.02	0.30	0.26	0.58	6.0
6	0.02	0.16	0.02	0.20	10.0
7	0.00	0.10	0.02	0.12	4.0
8	0.02	0.18	0.06	0.26	2.0
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0

## エ 発生および被害面積

作物名	栽培面積 (ha)	病虫害名	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)		
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除	備考
チャ	614	炭疽病	0	20	50	240	310	50.5	11.4	310	620	*
		もち病	0	5	15	50	70	11.4	3.3	70	140	*
		輪斑病	0	5	15	75	95	15.5	3.3	95	95	*
		新梢枯死症	0	10	60	180	250	40.7	11.4	250	250	
		チャノコカクモンハマキ	0	15	120	250	385	62.7	22.0	385	770	*
		チャハマキ	0	5	25	130	160	26.1	4.9	160	320	*
		チャノホソガ	0	15	120	260	395	64.3	22.0	395	790	
		チャノミドリヒメヨコバイ	0	20	120	230	370	60.3	22.8	370	740	*
		カンザワハダニ	0	30	125	275	430	70.0	25.2	430	860	
		チャノキイロアザミウマ	0	10	120	270	400	65.1	21.2	400	800	*
		ツマグロアオカスミカメ	0	0	20	60	80	13.0	3.3	80	80	
		クワシロカイガラムシ	10	45	120	265	440	71.7	28.5	440	880	
チャトゲコナジラミ	15	60	120	300	495	80.6	31.8	495	990	*		

※防除面積の備考欄「\*」は同時防除を含む

※被害面積率 = (程度別発生面積甚～中の和) / (栽培面積)



### (3) 花き (キク)

#### ア 発生状況

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
キク	白さび病	-	-	ほ場での初発確認は7月3日で、一部ほ場で発生した。	多湿条件にならなかったため、発生は一部ほ場に限り、全域に広がらなかった。	発生初期の薬剤散布。
	アブラムシ類	やや遅	やや少	ほ場での初発確認は6月26日で、発生時期は、やや遅かった。発生量は、やや少なかった。	6月第4半旬までは、増殖に適した気象条件であったが、6月第5半旬以降の多雨により、密度抑制された。特に7月の気温が高かったため、高温抑制が起こった。	発生初期の薬剤散布。
	アザミウマ類	-	-	ほ場での初発確認は6月26日で、発生時期は遅かった。発生量は平年並であった。	露地では通常、問題になることは少なく、さらに発生初期に適切に防除がされるため、発生量は少ない。	発生初期の薬剤散布。

#### イ 発生量調査

調査地点	病害虫名	白さび病	アブラムシ類	アザミウマ類
		発病葉率 (%)	寄生葉率 (%)	被害葉率 (%)
		6/26~27	6/26~27	6/26~27
草津市	下笠町	0	0	0
野洲市	小南	0	0	0
湖南市	菩提寺	0	0.1	0
近江八幡市安土町	上豊浦	0	0.2	0
彦根市	松原町	0	1	0.0
甲良町	下之郷	0	0	0
米原市	世継	0	1	0
高島市今津町	深清水	0	1	0

#### ウ 発生状況一覧表

病害虫名	初発見月日	初発見場所
白さび病	7月3日	米原市志賀谷
アブラムシ類	6月26日	高島市今津町深清水
アザミウマ類	6月26日	彦根市松原町

#### エ 発生および被害面積

対象作物名	栽培面積 (ha)	対象病害虫	程度別発生面積 (ha)					発生面積率 (%)	被害面積率 (%)	防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計			実防除	延防除
キク	17	白さび病	0	0	0	1	1	5.9	0	1	1
		アブラムシ類	0	0	0	1	1	5.9	0	10	20
		アザミウマ類	0	0	0	2	2	11.8	0	10	10

被害面積率=(程度別発生面積甚～中の和) / (栽培面積)

## 7 病虫害防除員

「植物防疫法第33条」および「滋賀県病虫害防除員を置く区域に関する条例」に基づき、本県の非常勤嘱託職員として委嘱し、病虫害発生予察事業に関する調査や担当地域における病虫害防除指導等の活動を行った。

### (1) 市町別病虫害防除員設置数

市町名	設置数(人)	市町名	設置数(人)
大津市	3	彦根市	3
草津市	2	愛荘町	1
守山市	2	豊郷町	1※
栗東市	2	甲良町	1※
野洲市	4	多賀町	1
[大津・南部農業農村振興事務所管内 小計]	13	[湖東農業農村振興事務所管内 小計]	7
湖南市	2	長浜市	14
甲賀市	5	米原市	4
[甲賀農業農村振興事務所管内 小計]	7	[湖北農業農村振興事務所管内 小計]	18
近江八幡市	4	高島市	5
東近江市	9	[高島農業農村振興事務所管内 小計]	5
日野町	1		
竜王町	1		
[東近江農業農村振興事務所管内 小計]	15		
		合計	65

※彦根市担当者が豊郷町、甲良町を兼務

### (2) 病虫害防除員研修会

#### ア 第1回

- 日時 平成30年6月7日(木) 13時30分～16時00分  
 場所 農業技術振興センター 大会議室  
 研修内容 ①病虫害防除員の任務と病虫害発生状況の報告について  
 ②主要病虫害の生態と調査のポイント  
 1) 虫害について  
 2) 病害について  
 ③長距離移動性害虫の生態と近年の発生について

#### イ 第2回

- 日時 平成31年2月15日(金) 13時30分～16時30分  
 場所 農業技術振興センター 大会議室  
 研修内容 ①情報提供「最近の農薬・植物防疫行政について」  
 県農業経営課 井田陽介  
 ②報告「滋賀県におけるヒメトビウンカとイネ縞葉枯病の発生について」  
 県病虫害防除所 塚本敬之  
 ③講演「ヒメトビウンカおよびイネ縞葉枯病の発生生態と防除対策」  
 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
 中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域  
 虫害防除体系グループ長 平江雅宏氏

### (3) 病害虫防除員による病害虫発生状況調査結果

病害虫名	葉いもち				紋枯病			
調査基準日	6/25		7/10		7/10		7/17	
項目 地域名	平均 発病 株率 (%)	発生 地点 率 (%)	平均 発病 株率 (%)	発生 地点 率 (%)	平均 発病 株率 (%)	発生 地点 率 (%)	平均 発病 株率 (%)	発生 地点 率 (%)
大津南部	0	0	2.4	40.0	0	0	0	0
甲賀	0	0	0.1	4.0	0.3	8.0	0.4	5.0
東近江	1.6	24.1	1.7	31.6	0.5	19.3	1.3	27.3
湖東	0	0	0	0	0	0	-	-
湖北	0	0	0.2	2.0	0.3	2.0	2.3	20.4
高島	-	-	0.2	20.0	0.2	20.0	1.0	60.0
全 県	0.6	9.9	0.9	15.8	0.4	10.1	1.4	22.4

病害虫名	斑点米カメシ類				ハスモンヨトウ	
調査基準日	8/1				8/20	
項目 地域名	すくい 取り調 査平均 頭数※1	発生 地点 率 (%)	見取り 調査 平均 頭数※2	発生 地点 率 (%)	10 a あたり 白変 箇所数	発生 地点 率 (%)
大津南部	1.0	20.0	-	-	1.4	60.0
甲賀	0.7	40.0	-	-	-	-
東近江	1.1	41.1	-	-	0.9	16.7
湖東	-	-	-	-	-	-
湖北	1.3	39.6	-	-	0.1	3.7
高島	2.8	100	-	-	0	0
全 県	1.2	40.8	-	-	0.4	12.2

※1 捕虫網(φ36cm)による10回すくい取り調査

※2 畦畔より1条目および2条目の30m間の見取り調査

表中の「-」は報告なし

(4) 病害虫防除員による地域の病害虫発生量（前年比）達観調査の報告状況

病 害 虫 名	調 査 基準日	発生量（前年比） (%) <small>(注1)(注2)</small>					発生を認めず	
		多	やや多	前年並	やや少	少		
イネ	葉いもち	6/25	0.0	0.0	31.6	0.0	0.0	68.4
		7/10	0.0	0.0	50.0	0.0	5.6	44.4
		7/17	0.0	5.3	36.8	10.5	5.3	42.1
	穂いもち	8/1	0.0	10.0	20.0	15.0	0.0	55.0
		8/20	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	紋枯病	7/10	0.0	0.0	44.4	0.0	11.1	44.4
		7/17	0.0	5.3	42.1	0.0	21.1	31.6
		8/1	0.0	36.4	22.7	9.1	9.1	22.7
		8/20	0.0	33.3	33.3	0.0	11.1	22.2
	白葉枯病	8/1	0.0	0.0	40.0	5.0	0.0	55.0
		8/20	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	稲こうじ病	8/20	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0	44.4
	イネトオムシ	6/25	0.0	27.8	22.2	0.0	33.3	16.7
	ニカメイガ	6/25	0.0	0.0	47.1	0.0	11.8	41.2
		7/10	0.0	0.0	43.8	6.3	6.3	43.8
	斑点米カミシ類	7/10	0.0	6.3	50.0	0.0	12.5	31.3
		7/17	0.0	5.9	52.9	5.9	11.8	23.5
		8/1	21.1	21.1	15.8	21.1	15.8	5.3
		8/20	0.0	0.0	66.7	0.0	11.1	22.2
	イネカミシ	6/25	0.0	0.0	41.2	0.0	5.9	52.9
7/10		0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
7/17		0.0	0.0	52.9	0.0	0.0	47.1	
コバネイナゴ	6/25	0.0	5.9	41.2	0.0	5.9	47.1	
	7/10	0.0	37.5	12.5	0.0	6.3	43.8	
	7/17	0.0	17.6	35.3	0.0	11.8	35.3	
ウンカ類	8/20	0.0	0.0	55.6	11.1	0.0	33.3	
ツグクワコバエ	8/20	0.0	0.0	55.6	11.1	0.0	33.3	
ダイズ	べと病	8/20	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	40.0
	葉焼病	8/20	0.0	0.0	60.0	0.0	10.0	30.0
	カメムシ類	8/20	0.0	0.0	60.0	0.0	10.0	30.0
	ハスモンヨトウ	8/20	0.0	0.0	60.0	10.0	0.0	30.0

(注1) 発生量の数値は、報告数に占める発生程度の比率。

(注2) 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が100にならない場合がある。

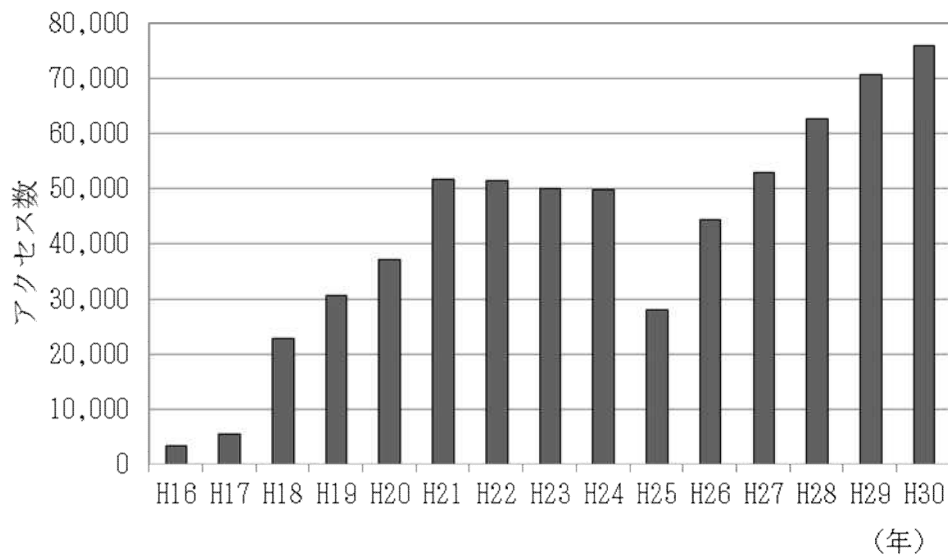
## 8 滋賀県病害虫防除所ホームページ

予察情報等を広く早く伝達し、画像によるわかりやすい情報を提供するため、平成15年度より開始したインターネットによる情報提供サービスである。

平成30年1月から12月の利用実績は以下のとおりであった。

提供情報別閲覧数（回）

ページ名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
表紙	2,609	997	2,026	2,202	2,615	3,515	1,938	1,855	2,589	1,862	2,146	1,490	25,844
病害虫判定シート	1,008	475	636	1,398	1,958	3,669	2,549	3,369	3,222	1,037	924	876	21,121
診断結果	434	279	490	655	1,106	1,517	583	451	1,036	324	273	250	7,398
植物防疫事業年報	873		105	436	439	196	653	728	398	220	300	217	4,565
病害虫発生予報	67		60	62	135	1,138	713	387	711	243	148	256	3,920
I P M	157	100	62	86	342	318	368	374	515	184	204	133	2,843
防除情報	41	23	72	68	430	310	47	120	870	251		266	2,498
警報・注意報					334	351	461	93	231	46	22	192	1,730
特殊報	63	20	71	105	171	297	152	86	338	190	106	40	1,639
発生量データ	20			62	241	327	199	193	193	128	119	91	1,573
防除所の風景						751			134	24		25	934
田んぼの生きもの	20		25	43	87	233	53		26	42	24	15	568
BLASTAM						130	100	49	30		125	85	519
ニカメイガの飼い方						51			99	27		18	195
防除員						87		22	60			25	194
防除所の概要			25			48		21	26			58	178
農薬扱い	22			21		50						61	154
過去の警報・注意報など						40				29		47	116
新規病害虫									67			19	86
PPV									45			8	53
総計	5,314	1,894	3,572	5,138	7,858	13,028	7,816	7,748	10,478	4,607	4,391	4,145	75,989



滋賀県病害虫防除所ホームページ 総閲覧数の年次推移

## 9 本年新たに発生が確認された病害虫

本年新たに発生が確認された病害虫はなかった。

## 10 病害虫の診断および生態調査

### (1) 薬剤感受性検定（虫害）

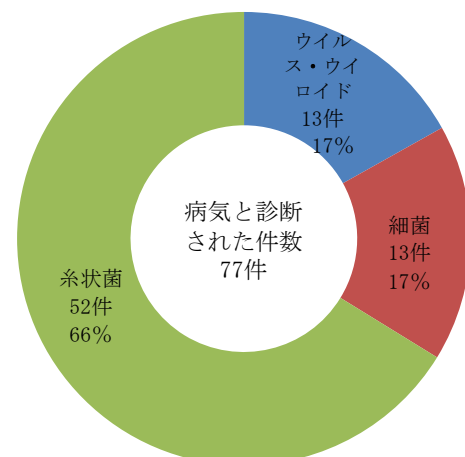
県内ほ場で採集したハダニ類（ナミハダニ）およびコナガについて薬剤感受性を検定した。  
詳細については、第6 各種試験成績の項を参照。

## (2) 病害虫診断業務実績

平成30年1月から12月までに実施した病害虫の診断の合計件数は137件で、その内訳は普通作物が24件、野菜が96件、果樹が12件、花き（花木）が5件であった。

診断結果の原因は、病害77件、虫害5件、生理障害2件、原因不明21件およびその他32件であった。

作目		診断件数					
		病害	虫害	生理障害	不明	その他	計
普通作物	イネ	5			1	7	13
	コムギ	1					1
	オオムギ	1	1			4	6
	ダイズ	3				1	4
	小計	10	1	0	1	12	24(17%)
野菜	イチゴ	22	1		1	2	26
	カブ	1				1	2
	キャベツ	1	1		2	1	5
	キュウリ	2			3	1	6
	ショウガ	2					2
	スイカ					1	1
	タマネギ	2			3	2	7
	トウガラシ	1					1
	トマト	19		2	4	2	27
	ナス	2					2
	ネギ	1				1	2
	ピーマン	2					2
	ブロッコリー	2				2	4
	ミニトマト	3			2	1	6
	メロン	1					1
	薬用ニンジン				1		1
	レタス				1		1
	小計	61	2	2	17	14	96(70%)
果樹	イチジク	1					1
	カキ		1				1
	ナシ	2			2		4
	ブドウ	1	1			3	5
	モモ	1					1
	小計	5	2	0	2	3	12(9%)
花き (花木)	キク	1			1	3	5
	小計	1	0	0	1	3	5(4%)
合計		77 (56%)	5 (4%)	2 (2%)	21 (15%)	32 (23%)	137 (100%)



病気の原因の内訳

※ ( )内は合計診断件数に対する割合を示す。

### (3) 平成21～30年のトマト黄化葉巻 (TYLCV) 診断状況

トマト黄化葉巻病 (TYLCV) は、平成 21(2009)年 10 月に守山市内の施設栽培のトマトにおいて県内で初めて確認され、特殊報を発表している(平成 21 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号)。以降、これまでの持ち込み診断により、平成 22 年に 3 件、同 23 年に 6 件、同 24 年に 12 件、同 25 年に 8 件、同 26 年に 2 件、同 27 年に 7 件、同 28 年に 9 件、同 29 年に 1 件および同 30 年 6 件の計 55 件を確認している(下図)。

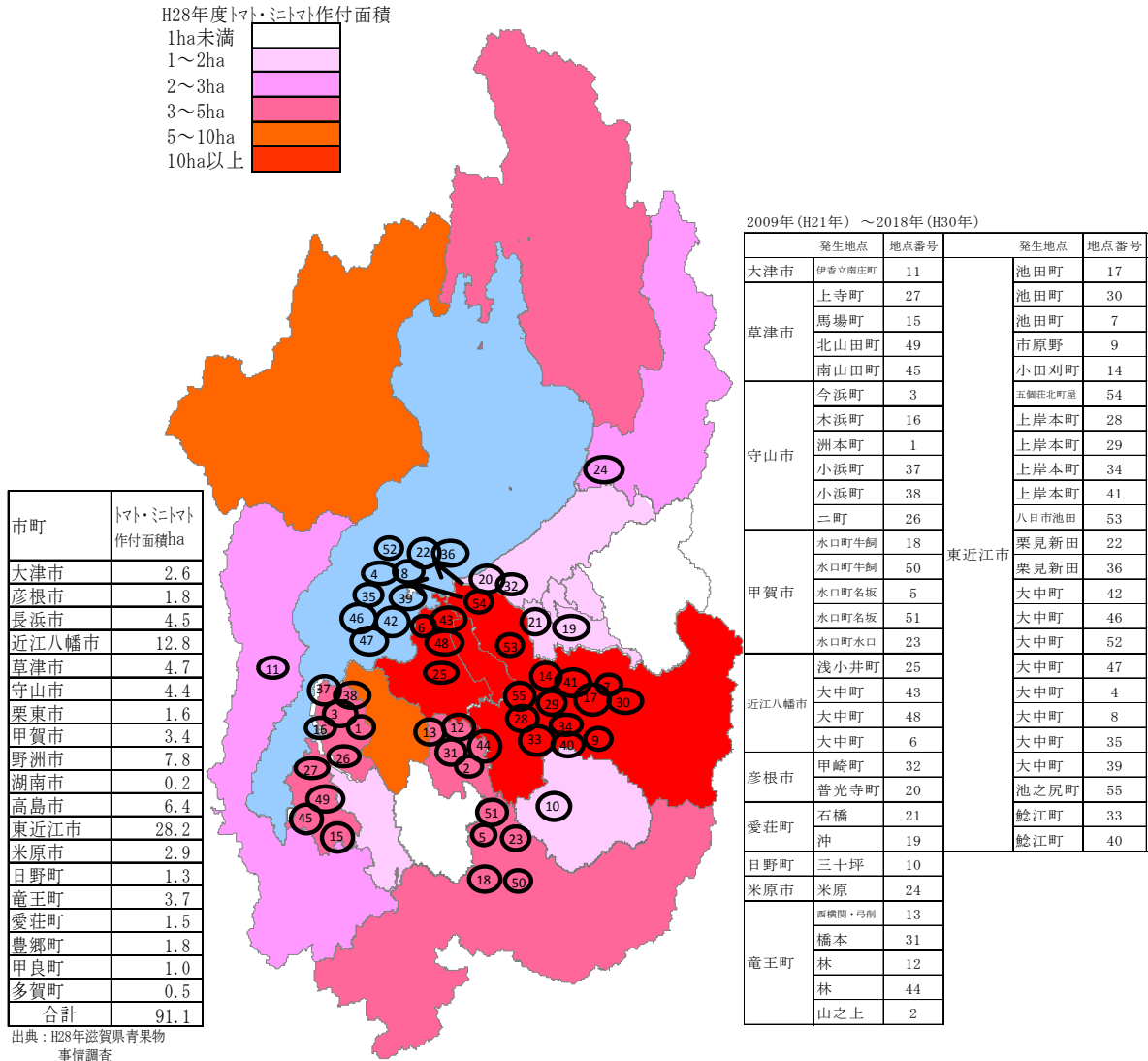


図 H21～H30 のトマト黄化葉巻 (TYLCV) 発生地点



## 第3 重要病害虫の特別防除等推進事業

### 1 チチュウカイミバエの侵入警戒調査

昭和56～57年は輸入果実を取り扱う地方卸売市場で実施し、昭和58年～平成13年は農業試験場本・分場および果菜類主産地で、平成14年以降は農業試験場本場（平成17年からは農業技術振興センター本場）において、スタイナー型誘殺トラップを設置し調査を行っている。誘引剤はトリメドルア剤を用い、毎月1回交換している。

本年は4月1日～11月30日まで毎月6回程度調査を行ったが、チチュウカイミバエの誘殺は認めなかった（日最高気温の月別平年値が14℃以上の月に調査）。

#### 参考

表 彦根地方気象台における日最高気温（℃）の平年値

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均値
6.8	7.3	11.0	17.3	22.1	25.7	29.7	31.6	27.3	21.3	15.3	9.8	18.8

・平年値は昭和56年～平成22年の30年間の観測値の平均をもとに算出。

### 2 ウメ輪紋ウイルスの発生状況調査

我が国では平成21年4月に東京都青梅市で最初に確認され、滋賀県では平成22年6月に長浜市内で栽培される青梅市由来の観賞用ウメ育成木で初めて確認された（平成22年度病害虫発生予察特殊報第1号、平成22年6月16日発表）。

発生園地（1か所）において、平成25年と平成26年の両年とも発生は認められなかったが、平成27年に1本の感染植物が再確認された。平成28年、平成29年、本年とも「発生園地における全株調査」と「周辺調査」において発生は認められず、平成30年12月11日開催の対策検討会で根絶が確認された。また、県内の主要なウメ、モモ、スモモ、オウトウの生産園（8ほ場）では感染は認められなかった。

### 3 キウイフルーツかいよう病（Psa3 系統）の発生状況調査

我が国でPsa3系統は平成26年4月に愛媛県で最初に確認された。これまで、近県では静岡県や和歌山県において確認されているが、本県では発生は認められていない。

県内のキウイフルーツ生産園（3ほ場）において調査を実施し、その結果、感染は認められなかった。

## 第4 農薬安全使用等総合推進事業

農薬取締法に基づく農薬販売者の届出受理事務を行った。また、農薬取扱者（農薬販売者および農薬使用者）への巡回点検・指導を実施した。さらに、農薬取扱者、農業者および農業団体等に対し、研修会等とおして農薬の安全使用について周知徹底を行った。これらのことで農薬の販売および使用の適正化と農薬による危被害防止の啓発に努めた。

### 1 農薬安全使用対策

農薬の安全使用については、農薬取扱者が農薬の特性を十分理解し、適正に使用することが重要である。

このため、病害虫防除員を対象とした研修会や県、市町、農業協同組合などの関係職員や農薬取扱者を対象とした植物防疫研修会および農薬アドバイザー講習会等において、農薬の適正使用等について指導した。また、発生予察情報発信時にも啓発資料を添付した。

### 2 農薬販売者の届出状況

(1) 平成30年度の届出件数は下表のとおりであった。

表 届出件数（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

区分	新規届出数	変更届出数	廃止届出数	計
農薬販売者（営業所）	38	148	27	213

(2) 届出者(営業所)数

平成31年3月31日現在の届出者数は724件で前年より13件増であった。

### 3 農薬取扱者への巡回点検・指導の結果

農薬取扱者への巡回点検・指導を実施した。結果は下表のとおりであった。農薬販売者では、届出や帳簿に関する違反が認められた。農薬使用者のうち、ゴルフ場では農薬使用計画の変更届の提出に関する違反が認められた。農薬使用基準違反の可能性のある情報に基づく点検では、逸脱した使用時期での農薬散布や、除草剤の誤使用の違反が認められた。違反者からは改善を誓約する書面の提出を受けた。

巡回点検・指導の結果（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

対象 農薬 取扱 者数	違反の内容								
	農薬販売者					農薬使用者			
	届出 の不備	無登 録農 薬の 販売	虚偽 の 宣伝	帳簿 の 不備	点検 拒否	無登 録農 薬の 使用	農薬 使用 基準 違反	点検 拒否	ゴルフ 場変更 届の不 備
99	2	0	0	4	0	0	2	0	1

# 第5 病虫害発生予察情報発表内容

## 1 予報

作物名	病虫害名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
イネ	いもち病	5月22日 (葉いもち)	平年並	平年並	(1) 余剰苗での発生を認めていない。 (2) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い、日照時間は平年並または少ない見込み。
		6月5日 (葉いもち)	平年並	平年並	(1) 余剰苗での初発生時期は平年並。 (2) 本田での発生を認めていない。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ない見込み。
		6月19日 (葉いもち)	平年並	平年並	(1) 余剰苗での発病を認めた。 (2) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多い見込み。
		7月3日 (葉いもち)	平年並	やや少	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は、やや少ない。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多い見込み。
		7月3日 (穂いもち、 極早生・早	平年並	やや少	(1) 現在の葉いもちの発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多い見込み。
		7月18日 (穂いもち)	平年並	やや少	(1) 葉いもちの発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は多い見込み。
		8月7日 (穂いもち、 中生・晩生 品種)	平年並	やや少	(1) 出穂期は平年並の見込み。 (2) 穂いもちの発生を認めた。 (3) 葉いもちの発生量は少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年並または多い見込み。
紋枯病	紋枯病	6月19日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 水稻の茎数は平年並。 (4) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		7月3日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 水稻の茎数は平年並。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多い見込み。
		7月18日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) 水稻の茎数は平年並。 (3) ほ場での発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日 (中生・晩生 品種)	平年並	やや少	(1) 中生品種の茎数は平年並。 (2) ほ場での発生量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
白葉枯病	白葉枯病	7月3日	平年並	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は少なかった。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多い見込み。
		7月18日	平年並	やや少	(1) 前年の発生量は少なかった。 (2) ほ場での発生を認めていない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	やや少	(1) 前年の発生量は少なかった。 (2) ほ場での発生は認めていない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
黄萎病(ツマ グロヨコバイ)	黄萎病(ツマ グロヨコバイ)	4月17日	—	平年並	(1) 前年の刈株再生芽の発病は、やや多であった。 (2) ツマグロヨコバイの越冬量は平年並。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
イネ	イネドロオウムシ(イネクビホソハムシ)	4月17日	平年並	平年並	(1) 前年の発生量は平年並であった。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込み。
		5月22日	平年並	やや多	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い、日照時間は平年並または少ない見込み。
		6月5日	平年並	やや多	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ない見込み。
イネミズゾウムシ	イネミズゾウムシ	4月17日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は平年並であった。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月22日	平年並	平年並	(1) 本田への飛び込み時期は平年並。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。
ニカメイガ	ニカメイガ	5月22日 (第1世代)	やや早	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は、やや早い。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや多い。 (3) 育苗箱施薬による防除が普及している。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月5日 (第1世代)	やや早	平年並	(1) ほ場での発生時期は早い。 (2) フェロモントラップでの誘殺時期は、やや早い。 (3) フェロモントラップでの誘殺数は、やや多い。 (4) 育苗箱施薬による防除が普及している。
		7月3日 (第2世代)	やや早	やや多	(1) 第1世代幼虫による被害の発生時期は早い。 (2) 第1世代成虫発ガ最盛期は、やや早いと推定される。 (3) ほ場での発生量は平年並。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日 (第2世代)	やや早	平年並	(1) 第1世代幼虫による本田被害の発生時期は早い。 (2) ほ場での発生量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
トビウロンカ	トビウロンカ	7月3日	—	—	(1) 本県では、予察灯への飛来およびほ場での発生は認めていない。 (2) 熊本県で予察灯への飛来が報告されているが、他の都道府県からの報告はない(7月2日現在)。
		7月18日	—	—	(1) 本県では7月10日頃までに飛来が認められた場合は多発する危険性が高いが、7月10日現在、各予察灯への飛来および本田での発生を認めていない。 (2) 佐賀県と熊本県で予察灯への飛来が報告されているが、誘殺数は少ない。
		8月7日	—	平年並	(1) 本県での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	少	(1) 予察灯への飛来および本田での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
セジロウンカ	セジロウンカ	7月3日	遅	平年並	(1) 予察灯への飛来を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日	遅	少	(1) 予察灯への飛来を認めていない。 (2) ほ場での発生を認めていない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
ヒメトビウンカ	ヒメトビウンカ	7月3日	やや遅	平年並	(1) 予察灯への飛来時期は、やや遅い。 (2) 前年の発生量は平年並、越冬量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
ツマグロヨコバイ	ツマグロヨコバイ	7月3日	やや遅	平年並	(1) 予察灯への飛来時期は、やや遅い。 (2) 前年の発生量と越冬量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) 予察灯への飛来量は平年並。 (2) ほ場での発生量は少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
斑点米カメムシ類	斑点米カメムシ類	7月3日	やや早	平年並	(1) 畦畔での発生時期は早い。 (2) 前年の発生量は平年並であった。 (3) 畦畔での発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日	やや早	平年並	(1) 畦畔での発生時期は早い。 (2) 畦畔での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
イネ	コブノメイガ	7月18日	やや遅	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	少	(1) ほ場での発生は少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	イチモンジセセリ(イネツトムシ)	7月3日	平年並	やや少	(1) 第1世代幼虫の発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
	コバネイナゴ	6月5日	やや早	平年並	(1) 幼虫の発生時期は、やや早い。 (2) 前年の発生量は平年並。
		6月19日	やや早	やや少	(1) 幼虫の発生時期は、やや早い。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) ほ場での発生量は、やや少ない。
フタオビコヤガ(イネアオムシ)	7月3日	平年並	平年並	(1) 予察灯への飛来時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
ムギ	赤かび病	3月20日	平年並	平年並	(1) ムギの出穂時期は、やや遅いと予想される。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。 (3) 3か月予報(2月23日発表)では、3月～5月の気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並、県南部では少ないまたは平年並の見込み。
		4月17日	平年並	平年並	(1) オオムギ、コムギの出穂期は平年並～やや遅いと見込まれる。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込み。
ダイズ	べと病	8月7日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	葉焼病	8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	アブラムシ類	7月18日	—	少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	吸実性カメムシ類	8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	ハスモンヨトウ	8月7日	早	やや多	(1) ほ場での発生時期は早い。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	フタスジヒメハムシ	8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
ダイズ	ハダニ類	7月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
野菜全般	うどんこ病	5月22日	平年並	やや少	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い、日照時間は平年並または少ない見込み。
		6月5日	平年並	やや少	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ない見込み。
		6月19日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多い見込み。
		7月3日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多い見込み。
	灰色かび病	6月5日	やや早	平年並	(1) ほ場での発生は、やや早い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ない見込み。
		6月19日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
	アブラムシ類	4月17日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月22日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月5日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		6月19日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		7月3日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月7日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
		9月26日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
ハダニ類		5月22日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月5日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
	6月19日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。	
	7月3日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
	8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
ヨトウガ(ヨトウムシ)		5月22日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠	
			発生時期	発生量		
野菜全般	ハスモンヨトウ	8月7日	平年並	やや多	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
		9月26日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
	タバコガ類	7月3日	—	やや多	(1) フェロモントラップでの誘殺数は、タバコガが多く、オオタバコガでやや多い並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
		8月7日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、オオタバコガでは、やや少なく、タバコガでは多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
		8月28日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、オオタバコガでは、やや少なく、タバコガでは多い。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
		9月26日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、オオタバコガでは、やや少なく、タバコガでは平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
	ネキリムシ類 (カブラヤガ)	8月28日	—	やや多	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
	キュウリ	べと病	5月22日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い、日照時間は平年並または少ない見込み。
			6月5日	やや遅	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ない見込み。
6月19日			—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。	
7月3日			—	少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
タマネギ	べと病	3月20日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
ナス科野菜	疫病	5月22日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い、日照時間は平年並または少ない見込み。	
		6月5日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ない見込み。	
		6月19日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。	
		7月3日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
	ニジウヤホシテントウ類	5月22日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。	
		6月5日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
アブラナ科野菜	軟腐病	9月26日	—	やや多	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 台風21号によるほ場の浸水・冠水、風雨による損傷に伴う発病が懸念される。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
	黒腐病	9月26日	—	やや多	(1) ほ場での発生を認めた。 (2) 台風21号によるほ場の浸水・冠水、風雨による損傷に伴う発病が懸念される。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
	菌核病	9月26日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
アブラナ科野菜	モンシロチョウ(アオムシ)	5月22日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
		9月26日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
	コナガ	5月22日	平年並	やや多	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) ほ場での発生量は、やや多い。 (3) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		8月7日	—	やや多	(1) 予察灯への誘殺数は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 予察灯への飛来量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
		9月26日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 予察灯での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
	ヨトウガ(ヨトウムシ)	8月7日	—	やや少	(1) ほ場での発生時期は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
9月26日		—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
ハイマダラノメイガ	8月7日	やや遅	平年並	(1) 指標植物であるクレオメでの発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
	8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 指標植物であるクレオメでの発生は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。	
	9月26日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は、やや多い。 (2) 指標植物であるクレオメへの寄生数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
カブラヤガ(ネキリムシ)	5月22日	やや早	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は、やや早い。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 前年秋期の発生量は平年並。	
果樹全般	カメムシ類	4月17日	やや早	やや多	(1) チャバネアオカメムシ成虫の越冬虫数は多い。 (2) 4月第1半旬、第2半旬でフェロモントラップでの誘殺を認めた。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月22日	早	多	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は早い。 (2) フェロモントラップ、予察灯でのチャバネアオカメムシおよびツヤ (3) チャバネアオカメムシ越冬虫数は多い。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月5日	—	多	(1) フェロモントラップおよび予察灯での誘殺数は多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		6月19日	—	やや多	(1) 誘殺数はフェロモントラップでは平年より少なく、予察灯では平年 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		7月3日	—	多	(1) フェロモントラップ、予察灯でのカメムシ類の誘殺数は多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日	—	多	(1) フェロモントラップ、予察灯でのカメムシ類の誘殺数は多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	多	(1) 予察灯での果樹カメムシ類の誘殺数は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	やや多	(1) 予察灯でのカメムシ類の誘殺数は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	ハダニ類	6月19日	やや早	平年並	(1) ほ場での発生時期は、やや早い。 (2) ほ場での発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		7月3日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。



作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
果樹全般	ハマキムシ類	5月22日	やや早	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は、やや早い。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月19日	—	やや少	(1) フェロモントラップでのハマキムシ類の誘殺数は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		7月18日	—	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
	アブラムシ類	4月17日	やや早	平年並	(1) 果樹の生育は早く、アブラムシ類の発生を確認している。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月22日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
ナシ	黒星病	3月20日	やや早	平年並	(1) ナシの生育は、やや早い。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		4月17日	早	平年並	(1) ナシの生育は1週間から10日早い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月22日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月5日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		7月3日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		9月26日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
	黒斑病	4月17日	早	やや多	(1) ナシの生育は1週間から10日早い。 (2) 前年の発生量は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月22日	—	平年並	(1) ほ場での発生は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月5日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		7月3日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
	赤星病	4月17日	早	平年並	(1) ナシの生育は1週間から10日早い。 (2) 前年の発生量は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月22日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
	ナシヒメシクイ	5月22日	平年並	やや少	(1) フェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月5日	—	やや少	(1) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		7月3日	—	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (2) ほ場での被害果を認めていない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) フェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (2) ほ場での被害果数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
ブドウ	うどんこ病	5月22日	やや早	平年並	(1) ブドウの生育は、やや早い。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月19日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多い見込み。
	べと病	6月19日	平年並	平年並	(1) ほ場での発生は、やや少ない。 (2) 前年の発生量は、やや多かった。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		7月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	灰色かび病	5月22日	やや早	平年並	(1) ブドウの生育は、やや早い。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月19日	—	やや少	(1) ほ場での発生は少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
	クワコナカイ ガラムシ	5月22日	やや早	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) ブドウの生育は、やや早い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
	フタテンヒメ ヨコバイ	5月22日	やや早	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) ブドウの生育は、やや早い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
	コガネムシ類	7月3日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
チャノキイロ アザミウマ	6月19日	—	平年並	(1) ほ場での被害果穂を認めていない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。	
カキ	炭疽病	6月19日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		7月18日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は県北部では平年並または多く、県南部では多い見込み。
	円星落葉病	6月19日	—	やや少	(1) 前年の発生量は、やや少なかった。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
	角斑落葉病	6月19日	—	平年並	(1) 前年の発生量は、やや多かった。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
	うどんこ病	6月19日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少なく、日照時間は平年並または多い見込み。
		7月18日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
	カキノヘタム シガ	5月22日	やや早	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) カキの生育は早い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		7月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
	カキクダアザ ミウマ	5月22日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めている。 (2) カキの生育は早い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
	チャノキイロ アザミウマ	5月22日	やや早	平年並	(1) ほ場での発生は認めていない。 (2) カキの生育は早い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
マイマイガ	5月22日	—	やや少	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) カキの生育は早い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。	
カイガラムシ 類	8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
カメムシ類	9月26日	—	やや多	(1) 予察灯での9月以降の誘殺数は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
チャ	炭疽病	6月5日	—	やや多	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は、平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		7月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は多い見込み。
もち病		6月5日	—	平年並	(1) ほ場での発生を認めていない。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		7月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
新梢枯死症		7月18日	—	やや少	(1) 感染源となる輪斑病葉の発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 感染源となる輪斑病葉の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
輪斑病		7月3日	—	平年並	(1) 前年の三番茶芽における新梢枯死症の発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
チャノコカク モンハマキ		4月17日 (第1世代幼虫)	早	やや少	(1) 越冬世代成虫のフェロモントラップへの初飛来日は平年並。 (2) 越冬世代成虫の子察灯への飛来は認めていない。 (3) 前年の最終世代の発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		6月19日 (第2世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 第1世代成虫のフェロモントラップへの初飛来日は平年並。 (2) 越冬世代成虫のフェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) ほ場での発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日 (第3世代幼虫)	やや遅	やや少	(1) 第2世代成虫の初飛来日は、やや遅い。 (2) 第2世代成虫のフェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) ほ場での発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
チャハマキ		4月17日 (第1世代幼虫)	早	やや少	(1) 越冬世代成虫のフェロモントラップへの初飛来日は早い。 (2) 越冬世代成虫の子察灯への飛来は認めていない。 (3) 前年の最終世代の発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		6月19日 (第2世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 越冬世代成虫のフェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) 越冬世代成虫のフェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) ほ場での発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
チャノホソガ		4月17日 (第1世代幼虫)	やや早	平年並	(1) 越冬世代成虫のフェロモントラップへの初飛来日は、やや早い。 (2) 前年の最終世代の発生量は、やや多い。 (3) フェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		6月5日 (第2世代幼虫)	平年並	平年並	(1) 第1世代成虫のフェロモントラップでの誘殺時期は平年並。 (2) 第1世代成虫のフェロモントラップでの誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		7月18日 (第3世代幼虫)	早	多	(1) 第2世代成虫のフェロモントラップでの誘殺時期は早い。 (2) 第2世代成虫のフェロモントラップでの誘殺数は多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月28日 (第4世代幼虫)	早	やや少	(1) 第3世代成虫のフェロモントラップでの誘殺時期は早い。 (2) 第3世代成虫のフェロモントラップでの誘殺数は、やや少ない。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は多い見込み。
チャノミドリ ヒメヨコバイ		6月5日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		7月3日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。

作物名	病害虫名	発表月日	予報内容		予報の根拠
			発生時期	発生量	
チャ	チャノキイロ アザミウマ	6月5日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		7月3日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
	カンザワハダニ	3月20日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		4月17日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。
		5月22日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。
		6月5日	—	やや多	(1) ほ場での発生量は、やや多い。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。
		6月19日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		7月3日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		7月18日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。
		8月7日	—	平年並	(1) ほ場での発生量は平年並。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月28日	—	多	(1) ほ場での発生量は多い。 (2) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は多い見込み。
9月26日		—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
ツマグロアオ オカスカメ	4月17日	早	平年並	(1) 一番茶の生育は早い。 (2) 前年の発生量は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並の見込み。	
クワシロカイ ガラムシ	5月22日 (第1世代幼虫)	早	やや多	(1) 幼虫ふ化最盛期の有効積算温度(287日度、起算日1月1日、発育零点10.5℃)による予測日は早い。 (2) 越冬世代成虫の寄生株率は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。	
	6月5日 (年2回発生地域・第1世代幼虫)	早	やや多	(1) 調査茶園における雌成虫の産卵状況・ふ化状況は早い。 (2) 甲賀市水口町水口(茶業指導所)におけるふ化最盛期(50%ふ化卵塊が過半数に達した時期)は早い。 (3) 越冬世代成虫の寄生株率は、やや多い。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
	7月18日 (年3回発生地域・第2世代幼虫)	早	平年並	(1) 第1世代成虫の発生時期は早い。 (2) 第2世代幼虫ふ化最盛期の有効積算温度(688日度、起算日第1世代ふ化最盛期、発育零点10.8℃)による予測日は早い。 (3) 第1世代成虫(雄繭)の寄生株率は平年並。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。	
	8月7日 (年2回発生地域・第2世代幼虫)	やや早	やや多	(1) 第1世代成虫の発生時期は早い。 (2) 第2世代幼虫ふ化最盛期の有効積算温度(688日度、起算日第1世代ふ化最盛期、発育零点10.8℃、高温補正30℃)による予測日は、やや早い。 (3) 第1世代成虫の寄生株率(雄繭)は、やや多い。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
	8月28日 (年3回発生地域・第3世代幼虫)	やや早	平年並	(1) 第2世代幼虫の発生時期は早い。 (2) 第2世代成虫(雄繭)の寄生株率は平年並。 (3) 気象予報では気温は平年並または高く、降水量は多い見込み。	
チャトゲコナ ジラミ	5月22日 (第1世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 越冬世代成虫の発生時期は平年並。 (2) 越冬世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は、やや少ない。 (3) 調査茶園における幼虫の発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は平年並、降水量は平年並または多い見込み。	
	6月5日 (第1世代幼虫)	平年並	やや少	(1) 越冬世代成虫の発生時期は平年並。 (2) 越冬世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は、やや少ない。 (3) 調査茶園における幼虫の発生量は、やや少ない。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
	7月18日 (第2世代幼虫)	やや早	やや多	(1) 第1世代成虫の黄色粘着板での誘殺時期は、やや早い。 (2) 第1世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は、やや多い。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または少ない見込み。	
	8月7日 (第2世代幼虫)	平年並	やや多	(1) 第1世代成虫の発生ピークは平年並。 (2) 第1世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は多い。 (3) 調査茶園における幼虫の発生量は、やや多い。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。	
	9月26日 (第3世代幼虫)	平年並	やや多	(1) 第2世代成虫の発生時期は平年並。 (2) 第2世代成虫の黄色粘着板での誘殺数は多い。 (3) 調査茶園における幼虫の発生量は平年並。 (4) 気象予報では気温は高く、降水量は平年並または多い見込み。	
キク	アブラムシ類	7月3日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は、やや少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。
		8月7日	—	やや少	(1) ほ場での発生量は少ない。 (2) 黄色水盤での誘殺数は平年並。 (3) 気象予報では気温は高く、降水量は少ない見込み。

## 2 注意報および警報

本年度、注意報を2回発表した。なお、警報の発表はなかった。

### 平成30年度病虫害発生予察注意報第1号

平成30年(2018年)5月22日  
滋賀県

#### 果樹カメムシ類による被害多発のおそれ

1. 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
2. 対象作物：果樹（モモ、ウメ、ナシ、カキ等）
3. 発生地域：県内全域
4. 発生程度：多
5. 注意報発表の根拠
  - (1) フェロモントラップにおける果樹カメムシ類（図1）の誘殺数が、5月第4半旬に急増した（図2）。5月第4半旬までの累積誘殺数は、過去10年間で最も多い。
  - (2) 平成30年1～2月に調査したチャバネアオカメムシ越冬成虫数も過去10年間で最も多く、平年の約4倍であった。
  - (3) 気温の上昇とともに、果樹カメムシ類の活動がさらに活発になり、果樹園への飛来が増加するため、被害の発生が懸念される。
6. 防除対策
  - (1) 果樹カメムシ類は、気温が高く風の弱い夜に果樹園に飛来する習性がある。果樹カメムシ類の飛来を認めたら早朝か夕方に薬剤を散布する。
  - (2) 防虫ネット（6mm以下）を備える果樹園では、早急にネットを設置する。
  - (3) 必要以上の薬剤散布は、天敵を減少させ、ハダニ類やカイガラムシ類の増加につながるので注意する。
  - (4) 果樹カメムシ類は局地的に飛来し、集中的に加害する傾向がある。山林に隣接する果樹園や過去に被害を受けた果樹園では特に注意する。
  - (5) 薬剤の散布にあたっては、ラベルを確認し農薬使用基準を遵守する。



図1 チャバネアオカメムシ

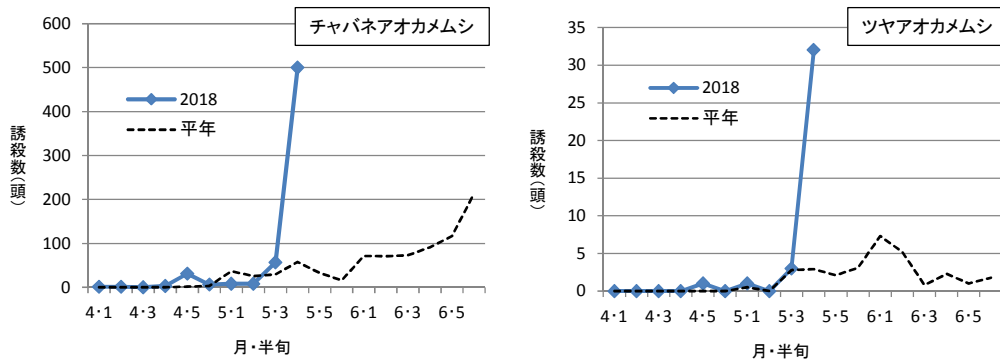


図2 チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数(栗東市荒張)

平成 30 年 (2018 年) 7 月 19 日  
滋賀県

果樹カメムシ類 (第 1 世代成虫) による被害多発のおそれ

1. 病虫害名：果樹カメムシ類 (第 1 世代成虫)
2. 対象作物：果樹 (カキ、ナシ、ブドウ等)
3. 発生地域：県内全域
4. 発生程度：多
5. 注意報発表の根拠
  - (1) フェロモントラップおよび予察灯による果樹カメムシ類の誘殺数は 6 月第 6 半旬から急増し、7 月第 3 半旬の誘殺数はフェロモントラップで平年の約 2.0 倍、予察灯で約 3.5 倍に達した (図 1、2)。
  - (2) 今後、果樹カメムシ類が果樹園に多数飛来し、カキ、ナシおよびブドウ等で吸汁被害が多発するおそれがある。なお、優占種はチャバネアオカメムシ (図 3)、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシである。
6. 防除対策
  - (1) ネット (6 mm 以下) のある果樹園では、ネットの裾をペグや土嚢等で固定するとともに、ネットの破損がないか点検する。
  - (2) 果樹カメムシ類は、気温が高く風の弱い夜に果樹園に飛来する習性がある。果樹カメムシ類の飛来を認めたら早朝か夕方に薬剤を散布する。
7. 防除上、注意すべき事項
  - (1) 果樹カメムシ類は局地的に飛来し、集中的に加害する傾向がある。山林に隣接する果樹園や過去に被害を受けた果樹園では特に注意する。
  - (2) 薬剤の散布にあたっては、ラベルを確認し農薬使用基準を遵守する。

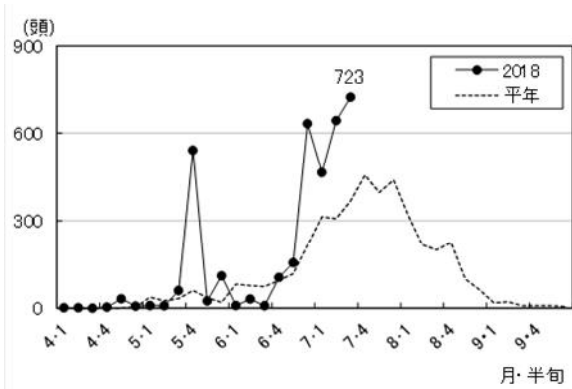


図 1 果樹カメムシ類のフェロモントラップへの誘殺数 (栗東市荒張)

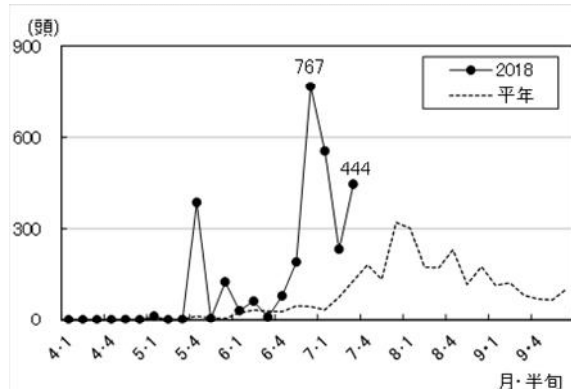


図 2 果樹カメムシ類の予察灯への誘殺数 (栗東市荒張)



図 3 ナシ果実上のチャバネアオカメムシ

### 3 特殊報

本年度は、特殊報を発表しなかった。

### 4 防除情報

本年度、6回発表した。

---

#### 平成 30 年度防除情報第 1 号

平成 30 年(2018 年) 5 月 10 日  
滋賀県病害虫防除所

ムギ赤かび病の防除を徹底しましょう

対象作物：ムギ類

対象病害虫名：ムギ赤かび病

5 月 8 日～9 日に行ったムギ類赤かび病調査（小麦 17 地点、大麦 12 地点）において、小麦 5 地点、大麦 7 地点で赤かび病の発生を確認しました。

5 月 3 日付け大阪管区気象台の 1 か月予報では、気温は高く、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されています。今後の気象によっては、赤かび病の感染の拡大の可能性がありますので、降雨が続く場合は追加防除を実施しましょう。

なお、使用する農薬の使用回数および収穫前日数には十分に注意してください。

---

#### 平成 30 年度防除情報第 2 号

平成 30 年(2018 年) 8 月 23 日  
滋賀県病害虫防除所

ダイズほ場のハダニ類に要注意！

対象作物：ダイズ

対象病害虫名：ハダニ類

夏季の気象が高温・少雨であったことから、県内全域のダイズほ場でハダニ類が発生しています。

8 月下旬の巡回調査結果では、地域やほ場間差はありますが、発生株率、発生ほ場率ともに平年値よりも「やや多」となりました（表参照）。

今後も気温は高いと予報されており、ハダニ類の増殖に好適な状況が継続すると考えられます。現状で被害株が目立つほ場では、ダイズの樹勢が落ち、子実肥大に影響すると思われるので、必要に応じて防除を実施してください。

表. ダイズほ場におけるハダニ類の発生状況  
(8月25日基準、本年の調査日:8月20日～21日)

	本年	平年値
発生株率(%)	18.7	7.2
発生ほ場率(%)	59.6	35.3

※本年は26地点において52ほ場を調査。平年値は平成20年～29年の10年間の平均値。

防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤が葉の裏に十分かかるように散布する。
- (2) 薬剤の使用にあたっては、県農作物病害虫雑草防除基準を参照する。

平成 30 年 (2018 年) 8 月 28 日  
滋賀県病虫害防除所

茶園におけるカンザワハダニの多発に注意

対象作物：チャ  
対象病虫害名：カンザワハダニ

茶園において、カンザワハダニが多発しています。8月中旬の巡回調査では、寄生葉率は15.5%（平年5.2%）と過去10年間で最も高く、寄生数（成虫＋幼虫＋卵）も2.28頭/葉と平年（0.54頭/葉）の約4倍でした。

今後も気温は高いと予報されており、ハダニの増殖に好適な状況が継続すると考えられます。ほ場を確認し、発生の多い園では薬剤による防除を実施してください。

防除上の注意事項

- (1) 葉裏に生息しているので、薬剤が葉裏に十分にかかるように散布してください。
- (2) 薬剤抵抗性が出現する恐れがあるので、同系統の薬剤の連用は避けてください。
- (3) 秋番茶の収穫を予定している園では、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意してください。

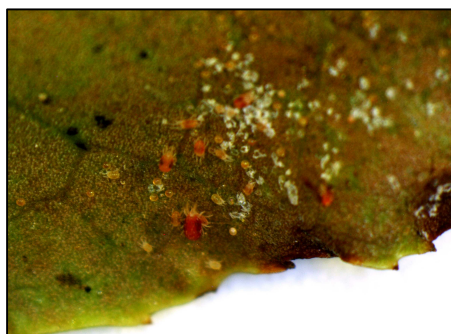


図 葉裏に寄生するカンザワハダニ

平成30年(2018年)9月13日  
滋賀県病虫害防除所

ハスモンヨトウの多発に注意！

対象作物：ダイズ、野菜類  
対象病虫害名：ハスモンヨトウ

病虫害防除所（近江八幡市安土町大中）に設置しているフェロモントラップでのハスモンヨトウ成虫の誘殺数が9月第2半旬に急増しました（図1）。また、ダイズでは幼虫の食害による白変葉（被害葉、図2）の発生がすでに各地で認められています。

大阪管区気象台の発表では、向こう1か月の気温は高いと予想されています。今後も発生に好適な気象が続くため、キャベツなどの露地野菜でも被害の急増が懸念されます（図3）。

ほ場をよく見回って、ハスモンヨトウの若齢幼虫が群せいしている被害葉は除去しましょう。また、薬剤防除に当たっては、老齢幼虫に対しては効果が劣るため、若齢期に実施しましょう。



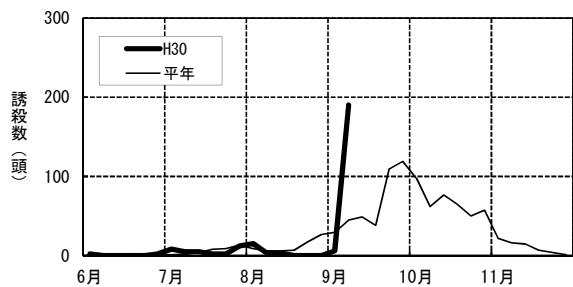


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺状況（近江八幡市安土町大中）  
平年値は平成20年～29年の10年間の平均値。



図2 ダイズ白変葉（若齢幼虫による食害）



図3 キャベツを食害するハスモンヨトウ老齢幼虫

### 平成30年度防除情報第5号

平成30年(2018年) 10月5日  
滋賀県病害虫防除所

水稻収穫後の秋耕を徹底しましょう

対象作物：水稻

対象病害虫名：イネ縞葉枯病（ヒメトビウンカ）

イネ縞葉枯病は、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病です。水稻収穫後の刈株再生芽（図1）を調査したところ、一部地域で本病の発病株率は平年を大きく上回っていました（図2）。

刈株再生芽は、イネ縞葉枯病ウイルスを保有したヒメトビウンカの越冬場所となるとともに、病原ウイルスの伝染源となります。

本病の蔓延を防止するため、刈株再生芽でイネ縞葉枯病の発生が目立つほ場では、速やかに刈株をすき込むとともに、次作ではヒメトビウンカに効果のある育苗箱施用剤による防除を実施しましょう。



図1. イネ縞葉枯病が発生した刈株再生芽

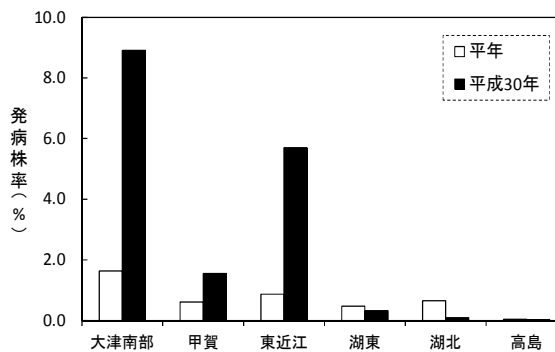


図2. 地域ごとの刈株再生芽でのイネ縞葉枯病の発病株率（県内36地点における10月1日基準での調査）

平年値は平成22年から29年までの8年間の平均値。

平成31(2019年)3月13日  
滋賀県病虫害防除所

タマネギベと病の発生に注意

タマネギベと病(図1, 2)の発生が増加しています。3月11日~13日にかけて県内巡回調査を8地点で実施したところ、発病ほ場率は50%、発病株率は1.3%でした。

大阪管区気象台発表の気象予報(3月7日発表)によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並で、本病の発生にとって好適な気象条件が続くと予想されます。

本病の発生が多くなると、枯死するなど減収につながることから、次の対策をしてください。

- (1) ほ場の排水をよくし、発病株を認めたら抜き取り、ほ場からの持ち出しを徹底する。
- (2) 前年発生があったほ場や、例年発病が認められるほ場では、予防剤の散布を実施する。
- (3) 発病を認めたら、治療効果のある剤で防除する。



図1 タマネギベと病



図2 タマネギベと病の発生ほ場

## ○本県の病害虫防除所業務の発表・広報

- ・イネ縞葉枯病ウイルスの接種時期の違いがイネ縞葉枯病の発生に及ぼす影響  
平成 31 年 3 月 25 日(月)～27 日(水) 第 63 回日本応用動物昆虫学会大会 口頭発表  
・・・・・・・・塚本敬之

## ○研修会等

- ・農薬アドバイザー講習会 平成 30 年 6 月 22 日(金), 11 月 27 日(火)  
さきら中ホール 農薬取締法の概要について 講演 ・・・・・・・・重久眞至
- ・大津市食の安全講座 平成 30 年 10 月 16 日(火) 農業技術振興センター  
農薬の適正使用と安全性について 講演 ・・・・・・・・江波義成

# 第6 試験成績

## 1) IPMの環境保全効果の評価

### ア 指標生物を用いた生物多様性の評価

2015年から消費・安全対策交付金事業（病害虫の防除の推進）において、IPMの環境保全効果の検証を行ってきた。生物多様性保全効果は、2012年に農林水産省より刊行された「農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル」に従い、指標生物の種・個体数を調査し、スコア化することで評価することができる。

2017年は、農業技術振興センター内の農薬・化学肥料不使用栽培ほ場（以下試験ほ場）において、本マニュアルに基づき調査を実施し、総合評価は「A判定」で生物多様性が高い結果となった。

今年度は、昨年を引き続き、農業技術振興センター内の試験ほ場（機械除草2回区、3回区）と、環境こだわり栽培である対照ほ場で調査した。

表1. 調査ほ場の概要

ほ場	試験ほ場 (機械除草2回区)	試験ほ場 (機械除草3回区)	対照ほ場
栽培品種	「滋賀78号」 <sup>1)</sup>	「滋賀78号」 <sup>1)</sup>	「秋の詩」
移植日	5月25日	5月25日	5月25日
施肥(主なもの)	有機アグレット 米ぬかベレット	有機アグレット 米ぬかベレット	有機入りセラコートR355
中干し	なし	なし	6月27日～7月17日
出穂期	8月24日頃	8月24日頃	8月19日頃
本田除草	機械除草2回 (6/4, 6/13)	機械除草3回 (6/4, 6/13, 6/22)	除草剤
畦畔除草	刈り払い機	刈り払い機	刈り払い機
種子消毒	- (温湯消毒)	- (温湯消毒)	- (温湯消毒)
殺菌剤(育苗箱粒剤)	-	-	ピロキロン
殺虫剤(育苗箱粒剤)	-	-	チアメトキサム
除草剤	-	-	イプフェンカルバゾン・プロモブチド ・ペンシルフロメチル
出穂期の殺虫剤	-	-	-
成分数	0	0	5

1)「滋賀78号」は、いもち病抵抗性遺伝子導入系統品種である。

表2. 指標生物の調査日と調査方法

指標生物名	調査日	調査方法 <sup>1)</sup>
水生コウチュウ類	6月29日	水中すくい取り: 畦畔ざわ5m×4か所の合計個体数
ダルマガエル類	6月29日	畦畔見取り: 畦畔10m×4か所の合計個体数
イトトンボ類	6月29日	畦畔見取り: 畦畔10m×4か所の合計個体数
アシナガゴモ類	8月3日	すくい取り: 20回振り×2か所の合計個体数
コモリゴモ類	8月29日	イネ株見取り: 5株×4か所の合計個体数

1)『農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル』に基づく。

表3. 確認した指標生物の個体数および多様性の評価<sup>1)</sup>

ほ場	水生コウ チュウ類	ダルマ ガエル類	イトトンボ類 成虫	アシナガ ゴモ類	コモリ ゴモ類	総スコア	総合評価 <sup>2)</sup>
試験ほ場 (機械除草2回区)	個体数 6 スコア 2	0 0	3 2	15 2	10 2	8	S
試験ほ場 (機械除草3回区)	個体数 3 スコア 2	3 1	2 2	6 1	8 2	8	S
対照ほ場	個体数 3 スコア 2	3 1	3 2	4 0	2 0	5	A

1)『農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル』に基づき、各生物ごとに定められた換算表により、個体数をスコア化した。

2) 総合評価については以下のとおりである。ただし)内の数値は総スコアを表す。S(8以上): 生物多様性が非常に高い。取り組みを継続するのが望ましい。A(7~5): 生物多様性が高い。取り組みを継続するのが望ましい。B(4~2): 生物多様性がやや低い。取り組みの改善が必要。C(1~0): 生物多様性が低い。取り組みの改善が必要。

試験ほ場は、機械除草2回区、3回区とも総合評価で「S」判定で生物多様性が非常に高く、対照ほ場は「A」判定で生物多様性が高い結果となった(表3)。試験ほ場の機械除草2回区でダルマガエルが確認されなかったのは、隣接ほ場との境界がコンクリート畦畔であり、ダルマガエル類が侵入できなかったためと思われる。また、試験ほ場でクモ類が多く確認されたのは、水稻生育後半にほ場内でコナギやホタルイ等の雑草が生え、クモ類の生育に適した環境になったためと考えられる。

昨年度と今年度の試験結果より、農薬・化学肥料不使用の水稻栽培ほ場では、天敵等生物が生息しやすい環境となり、生物多様性が高くなるとともに、同様の栽培を継続して行うことにより、高い生物多様性を維持できると考えられた。

## (2) 紋枯病に登録のある育苗箱施薬剤の防除効果試験

### ア 目的

低コスト化技術として、水稻育苗の高密度播種が期待されている。育苗箱が従来の半分以下となることから、10a 当たり育苗箱施薬剤の投下量も半量となる。そこで、育苗箱施薬剤の施用量を減量した場合の防除効果について検討を行う。

### イ 方法

ア) 供試品種：みずかがみ

イ) 試験区の構成

表1に試験区を示した。

- ・1ポット(直径12cm・5本植)の施薬量は、10a 当たり18000株(60株/3.3㎡)植え、必要育苗箱数16箱(幼苗)で算出した。(稲作指導指針参照)
- ・各試験区6ポット(1ポット5本植)を1反復とし、3反復(合計18ポット)を設けた。ハウス内においてポットに植付後、育苗箱施薬剤を株元に施用した(表1)。その後分けつ期に接種を行い、朝夕に15分(12mm)のスプリンクラーでの散水を行った。

表1 試験の概要

試験区	施用時期・施用量
チフルザミド粒剤区	移植当日・50g/箱(44mg/ポット)
チフルザミド粒剤半量区	移植当日・25g/箱(22mg/ポット)
無処理区	—

ウ) 接種：イネ紋枯病菌 (*Thanatephorus cucumeris* (Frank) Donk、センター保存菌) を1%ペプトン加用ふすま粃殻培地(10a 当たりふすま1.5kg、乾燥粃殻1.5kg、1%ペプトン水5L)で28℃、10日培養し、3倍量の乾燥もみ殻と混和して約20L/10a(1.9g/ポット)を稲株元に散布した。

エ) 調査時期・方法

接種時期：5月30日(最高分けつ期頃)

調査時期：接種15日後(6月13日)、37日後(7月6日)、44日後(7月13日)

調査方法：発病茎数、最上位病斑高平均を調査した。

### ウ 結果の概要

(ア) 10a 当たり育苗箱施薬剤の投下量を半量(25g/箱)にしても、発病抑制効果が認められたが、発病茎率、最上位病斑高平均とも全量投下(50g/箱)に比べて、高い傾向となった(表)。

[具体的データ]

表 紋枯病の調査結果

供試薬剤	使用時期及び方法 使用量	区				発病茎率 %	最上位病斑高の 平均 cm
			調査株数	全茎数	発病茎数		
チフルザミド粒剤区	50g/箱 移植当日	I	6	90	15	16.7	6.3
		II	6	67	4	6.0	1.5
		III	6	73	9	12.3	3.2
		平均		76.7	9.3	12.2	a <sup>※1</sup>
チフルザミド粒剤 半量区	25g/箱 移植当日	I	6	81	28	34.6	7.3
		II	6	91	14	15.4	2.1
		III	6	81	18	22.2	4.0
		平均		84.3	20.0	23.7	a
無処理区		I	6	70	48	68.6	11.8
		II	6	72	49	68.1	11.5
		III	6	89	46	51.7	10.0
		平均		77.0	47.7	61.9	b

※1 発病茎率は角変換後にTukeyの多重比較で検定を行った。異なるアルファベット間には有意差(1%水準)があることを示す。

※2 最上位病斑高の異なるアルファベット間にはTukeyの多重比較で有意差(5%水準)があることを示す。

### 3) 紋枯病発生予察手法の検討

#### ア 目的

イネ紋枯病菌 (*Thanatephorus cucumeris* (A. B. Frank) Donk) は越冬した菌核が翌年の第一次伝染源となる。春の入水後、田面水中に浮遊する紋枯病菌DNAを検出し、その量を測定できれば、その後の発病程度を予測出来る可能性がある。現時点では、田面水からの紋枯病菌の検出手法は開発されていないため、PCR法によって、田面水中の本病DNAの検出を試みる。

#### イ 方法

##### ア) 採水ほ場・時期・方法

農業技術振興センター内ほ場330号田（紋枯病防除一部有）、230号田（紋枯病防除無）および140号田（紋枯病防除有）から表1に示す日程で田面水の採水を行った。各ほ場の四隅と中央の計5か所から田面水を10 mlずつ採水し、混合して計50 mlをサンプルとして供試した（図1）。

##### イ) DNA抽出

各サンプル50 mlの田面水を0.45 μmのフィルターを装着したシリンジで濾過したのち、フィルターを回収した。フィルターに付着した田面水中からDNeasy PowerWater Kit (QIAGEN)を用いて100 μlのDNA溶液を抽出した（図2）。

##### ウ) PCR法による検出

抽出したDNAを鋳型として、PCR法による検出を行った。PCR酵素はKOD FX Neo (TOYOBO)を使用し、表2に示したプライマー(Sayler *et al.* Plant Disease, 2007)を用いて、表3の反応条件でPCRを行い、各増幅産物5 μlを3%アガロースゲルで電気泳動した。アガロースゲルをGel Redに浸漬してDNAの染色を行い、紫外光下で検出し、撮影した。

#### ウ 結果の概要

ア) 紋枯病菌の防除を行っていない230号田より採水したサンプルの内、6月22日、8月7日、9月12日のサンプルから、紋枯病菌を示す140bpのバンドが検出された（図3）。

イ) 紋枯病菌の防除が実施された140号田と330号田では、紋枯病菌を示すバンドは検出されなかった。これは、田面水中の菌密度が低く、検出できなかったと考えられる。

ウ) 代かき直後の田面水からは、すべてのほ場において紋枯病菌は検出されなかった。今回供試した50 mlでは、代掻き直後の田面水中に浮遊する微量の紋枯病菌を捉えることは困難と考えられる。

以上のことより、PCR法を活用した手法によって、田面水から紋枯病菌を検出できることが示された。

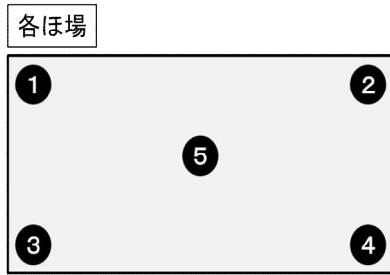


図1 各ほ場の田面水の採水箇所

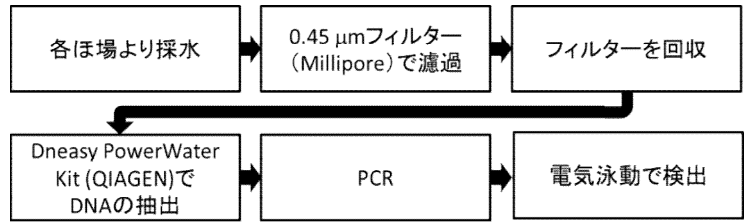


図2 田面水からの紋枯病菌検出の流れ

表1 田面水の採水ほ場、採水日、品種および栽培管理

ほ場	採水日				品種	移植日	中干	紋枯病 薬剤防除日
	1回目	2回目	3回目	4回目				
330	4月25日	6月22日	8月7日		みずかがみ	4月26日	6月1日-6月5日	7月9日*1
230	6月6日	6月22日	8月7日	9月12日	キヌヒカリ	6月7日	7月18日-8月1日	-
140	4月27日	6月22日	8月7日		みずかがみ	4月27日	6月9日-6月20日	4月27日/7月20日*2

\*1: ほ場の一部にハリダマイシ液剤などの紋枯病を対象とした薬剤の散布を実施

\*2: 4月27日にイダクワドリ・スピノサト・イソチアニル・チルサミド箱施用剤、7月20日にフルラニル剤による防除を実施

表2 紋枯病菌検出プライマーの配列

	配列	増幅産物
primer F	GCCTTTTCTACCTTAATTTGGCAG	140 bp
primer R	GTGTGTAAATTAAGTAGACAGCAAATG	

表3 PCR反応条件

94°C	2分	40 cycles
98°C	10秒	
65°C	30秒	
68°C	60秒	
68°C	5分	

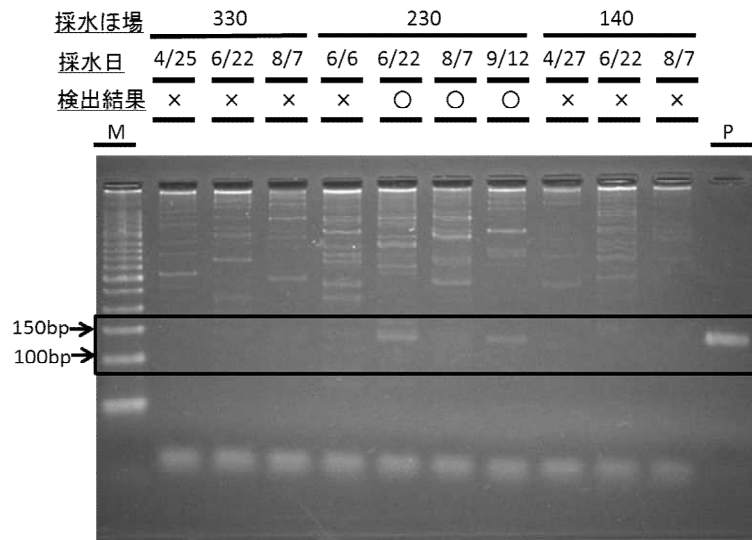


図3 紋枯病菌検出PCR産物の電気泳動結果

PCR産物5 μlを3%アガロースゲルで電気泳動し、Gel Redで染色し、紫外光下で検出を行った。Mは50 bp Ladder marker。Pは培養紋枯病菌から抽出したDNAを鋳型にしたPCR産物。

## 4) ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率調査

### ア 目的

県内でのイネ縞葉枯病の発生は、昭和 60 年代以降、ほとんど見られなかったが、平成 21 年の発生予察調査において、立毛中に本病の発生が確認され、平成 23 年には再び立毛中に一部地域で、刈株再生芽（ひこばえ）で県全域で本病が確認された。また、平成 28 年の刈株再生芽での発病調査において、本病の発病株率の急激な上昇を確認した。

現在まで、本県では本病による大きな被害を認めていないが、関東、近畿および九州地方の一部地域では本病が多発し、減収が生じている。また、ヒメトビウンカはイネ以外にも小麦に寄生することができる。小麦は大津市と高島市を除く地域で作付されており、イネ縞葉枯病ウイルス（以下、RSV）を保毒したヒメトビウンカが小麦ほ場から水田に移動し、イネの吸汁・感染によって立毛中での本病の蔓延が危惧される。

本病の発生は、RSV を保毒したヒメトビウンカに大きく影響されることから、ヒメトビウンカの RSV 保毒虫率を把握するため、平成 23 年以降、調査を継続実施している。

### イ 方法

(ア) RSV 保毒虫検定に供試したヒメトビウンカ

①越冬個体群（越冬世代）

4 月 3 日～4 日に、前年のイネ刈株再生芽が残る水田ほ場において、すくい取りにより採集した。

②小麦ほ場個体群（第 1 世代）

5 月 18 日～6 月 14 日に、小麦ほ場において、すくい取りにより採集した。

③7 月および 8 月の夏期個体群（第 2～3 世代）

7 月 4 日～10 日および 8 月 8 日～17 日に、県内 36 地点の水田ほ場において、すくい取りにより採集した。

(イ) 検定方法

判定にはマイクロプレートリーダー（バイオラッド・ラボラトリーズ(株)製）を用い、簡易 ELISA 法（柴ら、2013）により検定した。

### ウ 結果の概要

(ア) 越冬個体群の採集個体数は、表 1 に示した県内 15 地点において採集されたが、県全域で 27 頭と少なく、RSV 保毒虫は 1 頭も確認されなかった。

(イ) 小麦ほ場個体群の採集個体数は調査 8 地点では合計 101 頭であり、越冬個体群同様、個体数は少なく、その RSV 保毒虫は野洲市上屋での 1 頭のみと少なかった（表 2）。

(ウ) 7 月の夏期個体群の採集個体数は計 268 頭であり、RSV 保毒虫は、湖北および高島を除く 4 地域 9 地点で確認された（表 3）。しかし、各地点における RSV 保毒虫数は、1～2 頭と少なかった。

(エ) 8 月の夏期個体群の採集個体数は、7 月から急増し、計 6,279 頭となった（表 3）。RSV 保毒虫率は、大津・南部、甲賀、および東近江地域で高く、これらの地点では、イネ立毛期間中から縞葉枯病の発病株が確認され、刈株再生芽における発病株率も高かった（P. 25）。RSV 保毒虫率は地域によって大きな差が見られるが、県全域での RSV 保毒虫率は 13.6%となり、平成 28 年以降高い値で推移している。



表1 ヒトビウンカ越冬個体群のRSV保毒虫率検定結果

地域	地名	採集日	採集虫数 (検定虫数) (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
大津・南部	大津市 和邇	4/3	1	0	0
	草津市 下笠町	4/3	1	0	0
	守山市 赤野井町	4/3	3	0	0
	野洲市 北	4/3	5	0	0
甲賀	甲賀市 甲賀町滝	4/3	2	0	0
	信楽町黄瀬	4/3	2	0	0
東近江	東近江市 大森町	4/4	3	0	0
	川合町	4/4	2	0	0
	近江八幡市 若宮町	4/3	1	0	0
湖東	甲良町 法養寺	4/4	1	0	0
	多賀町 大岡	4/4	1	0	0
湖北	米原市 入江	4/3	1	0	0
	世継	4/3	1	0	0
	長浜市 余呉町坂口	4/3	2	0	0
高島	高島市 今津町下弘部	4/3	1	0	0
計			27	0	0

前年の刈株が残る36地点(1地点1ほ場)で50回すくい取り調査を実施し、採集された個体を簡易ELISA法で検定した。ただし、21地点(大津市里、草津市下笠町、栗東市上砥山、湖南市岩根、甲賀市水口町伴谷、近江八幡市安土町上豊浦、安土町大中、日野町日田、竜王町小口、東近江市石谷町、栗見新田町、鈴江町、彦根市新海町、愛荘町東門堂、米原市本市場、長浜市永久寺町、湯次、早崎町、高月町柳野中、高島市安曇川町北船木、新旭町北畑)では、ヒトビウンカは採集されなかった。

表2 ヒトビウンカ小麦ほ場個体群のRSV保毒虫率検定結果

地域	地名	採集日	採集虫数 (頭)	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
大津・南部	守山市 赤野井町	6/8	1	1	0	0
	栗東市 上砥山	6/12	4	2	0	0
	野洲市 上屋	5/18~6/4	15	13	1	7.7
甲賀	湖南市 岩根	5/18~6/4	48	27	0	0
東近江	竜王町 小口	5/18~6/1	10	7	0	0
	東近江市 福堂	5/18~6/8	19	11	0	0
湖東	甲良町 法養寺	6/14	1	1	0	0
湖北	米原市 世継	6/14	3	3	0	0
計			101	65	1	1.5

小麦ほ場(1地点1ほ場)で50回すくい取り調査を実施し、採集された個体を全て簡易ELISA法で検定した。ただし、4地点(草津市下笠町、野洲市北、甲賀市水口町野人、近江八幡市安土町大中)では、ヒトビウンカは採集されなかった。なお、高島市では、コムギを栽培しておらず、調査未実施。

表3 ヒトビウンカ夏期個体群(7月と8月)のRSV保毒虫率検定結果

地域	地名	移植日	育苗箱 施用剤*	出穂期 防除*	7月の夏期個体群(7/11基準)			8月の夏期個体群(8/20基準)						
					採集日	採集虫数 (検定虫数) (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)	採集日	採集虫数 (頭)	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)	
大津・南部	大津市	関津	5/20	-	●	7/10	5	2	40.0	8/17	138	31	2	6.5
		和邇南浜	5/10	-	-	7/4	0	0	0	8/10	136	31	2	6.5
	草津市	下笠町	5/10	-	-	7/10	3	0	0	8/10	239	30	10	33.3
		赤野井町	5/12	-	-	7/10	19	0	0	8/10	631	37	4	10.8
		栗東市 上砥山	5/15	-	●	7/10	8	1	12.5	8/16	191	28	2	7.1
野洲市 北	5/3	-	●	7/10	19	1	5.3	8/10	501	57	18	31.6		
甲賀	湖南市	岩根	5/22	●	●	7/10	3	1	33.3	8/16	30	20	5	25.0
		水口町山	5/3	●	●	7/10	2	0	0	8/17	18	9	1	11.1
	甲賀市	甲賀町滝	5/4	●	-	7/10	2	0	0	8/16	133	23	4	17.4
	信楽町黄瀬	5/6	●	●	7/10	6	0	0	8/17	37	16	3	18.8	
	東近江	近江八幡市 野村町	4/27	-	●	7/10	5	0	0	8/10	64	44	7	15.9
湖東	彦根市	新海町	5/18	●	-	7/9	19	1	5.3	8/9	658	41	7	17.1
		東門堂	5/12	-	●	7/9	1	0	0	8/16	460	67	10	14.9
	愛荘町	十禅師	5/6	-	●	7/10	13	1	7.7	8/16	57	18	5	27.8
		小口	4/23	●	●	7/9	16	0	0	8/17	436	44	9	20.5
	甲賀市	林田町	5/7	●	●	7/9	1	0	0	8/17	93	23	4	17.4
		川合町	5/2	●	●	7/9	6	0	0	8/17	3	10	1	10.0
		石谷町	5/21	●	●	7/9	16	0	0	8/9	169	30	6	20.0
		五個荘平阪町	5/17	-	●	7/9	4	0	0	8/8	22	16	3	18.8
		栗見新田町	4/27	-	●	7/9	42	1	2.4	8/17	41	12	2	16.7
		鈴江町	5/1	-	●	7/9	1	0	0	8/8	36	27	1	3.7
湖北	米原市	新海町	5/24	-	-	7/9	22	2	9.1	8/8	989	67	3	4.5
		東門堂	5/19	-	●	7/9	21	1	4.8	8/8	335	40	1	2.5
	法養寺	4/25	●	●	7/9	12	0	0	8/8	316	27	1	3.7	
	多賀町 月之本	4/29	●	●	7/9	1	0	0	8/8	17	13	1	7.7	
	本市場	5/27	●	●	7/9	2	0	0	8/8	3	2	0	0	
長浜市	西門寺	西門寺	5/3	●	●	7/9	4	0	0	8/8	24	12	1	8.3
		永久寺町	5/7	●	-	7/9	0	0	0	8/8	12	9	0	0
	湯次町	5/3	●	●	7/9	3	0	0	8/8	7	5	0	0	
	早崎町	4/30	-	-	7/10	7	0	0	8/10	123	44	0	0	
	高月町柳野中	5/2	-	-	7/10	1	0	0	8/10	120	26	0	0	
高島	高島市 余呉町坂口	5/18	●	-	7/4	0	0	0	8/10	15	10	1	10.0	
高島	マキノ町知内	マキノ町知内	5/7	-	●	7/10	1	0	0	8/10	32	19	0	0
		今津町上弘部	5/9	●	-	7/10	2	0	0	8/10	70	19	0	0
	安曇川町北船木	5/19	-	●	7/10	1	0	0	8/10	50	19	1	5.3	
	新旭町北畑	4/28	-	-	7/10	0	0	0	8/10	73	36	0	0	
	計					268	11	4.1		6279	962	115	13.6	

1地点1ほ場で50回すくい取り調査を実施した。\*)育苗箱施用剤および出穂期防除では、殺ウンカ成分を含む薬剤を「●」で示した。

## 5) 薬剤感受性検定および薬剤抵抗性遺伝子診断

### (1) 施設イチゴのハダニ類の薬剤感受性検定

#### ア 目的

施設イチゴ栽培において、ハダニ類は、薬剤感受性が低下しやすいことから難防除害虫となっている。そこで、県内3地点の施設イチゴ栽培ほ場（本ほ）において採集したハダニ類について、殺ダニ剤に対する感受性を検定し、有効な殺ダニ剤を明らかにすることで、生産現場に資する。

#### イ 方法

##### (ア) 供試虫の採集と飼育

2018年4月および5月、2019年2月に県内3地点の施設栽培イチゴからハダニ類（いずれもナミハダニ黄緑型と同定）を採集し（表1）、雌成虫を検定に供試した。

表1 個体群ごとの採集年月日と供試薬剤

採集地点	採集年月日	供試薬剤数	有効成分(商品名) 稀釈倍数						
			シエノ ピラフェン (スターマイト フロアブル <sup>®</sup> )	ピフェナ ゼート (マイトコーネ フロアブル <sup>®</sup> )	シフル メトフェン (ダニサラバ フロアブル <sup>®</sup> )	アセキノシル (カネマイトフロ アブル <sup>®</sup> )	フェンピロ キシメート (ダニトロン フロアブル <sup>®</sup> )	ミルベ メクチン (コロマイト 水和剤 <sup>®</sup> )	エマメクチン 安息香酸塩 (アファーム 乳剤 <sup>®</sup> )
			×2,000	×1,000	×1,000	×1,000	×1,000	×2,000	×2,000
長浜市湖北町	2018年4月13日	5	●	●	●	-	●	-	●
東近江市曾根町	2018年5月16日	5	●	●	●	-	-	●	●
竜王町	2019年2月5日	5	-	●	●	●	-	●	●

表中の「-」は、検定未実施を示す。

##### (イ) 供試薬剤と感受性検定

防除履歴を基に供試薬剤（表1）を選定した。ハダニ類の薬剤感受性検定マニュアルに基づき、4 cm<sup>2</sup> (2 cm×2 cm) のインゲンマメ葉片上に雌成虫10頭前後を接種し、蒸留水で湿らせた脱脂綿上に置いた。シャーレ内に既定濃度の薬液を2~3mg/cm<sup>2</sup> (100~200 $\mu$ l/10a) 散布後、25°C、16L8D条件の恒温器に静置し、2日後に生・死虫数を計数した。

薬剤散布には、エアブラシ（TAMIYA社製、SPRAY-WORK HG-T）とコンプレッサー（同、SPRAY-WORK HG AIR COMPRESSOR REVO II）を組み合わせて作製した散布装置を用いた（國本・今村、2016）。

#### ウ 結果の概要

- (ア) 表2に各薬剤に対する補正死虫率を示した。長浜市湖北町の個体群では、供試した5薬剤のうち、シフルメトフェンの補正死虫率は100%と最も高く、次いでエマメクチン安息香酸塩、フェンピロキシメート、ピフェナゼートの順に高かった。一方、シエノピラフェンの補正死虫率は約80%と供試した5薬剤の中で最も低かった。
- (イ) 東近江市曾根町の個体群では、供試した5薬剤のうち、エマメクチン安息香酸塩の補正死虫率は96%と最も高く、次いでシフルメトフェン、シエノピラフェンの順に高かった。一方、ピフェナゼートとミルベメクチン水和剤の補正死虫率は60%台と供試した他の3薬剤と比較して低かった。
- (ウ) 竜王町の個体群では、供試した5薬剤のうち、エマメクチン安息香酸塩、ミルベメクチンおよびピフェナゼートは90%以上の高い補正死虫率となり、アセキノシルは80%台と、効果がやや劣った。一方、シフルメトフェンの補正死虫率は63.5%と、他4剤と比較して、効果が劣った。

表2 ナミハダニ雌成虫に対する殺ダニ剤の補正死虫率

採集地点	有効成分(商品名) 希釈倍数						
	シエノ ピラフェン (スターマイト フロアブル <sup>®</sup> )	ビフェナ ゼート (マイトコーネ フロアブル <sup>®</sup> )	シフル メトフェン (ダニサラバ フロアブル <sup>®</sup> )	アセキノシル (カネマイトフロ アブル <sup>®</sup> )	フェンピロ キシメート (ダニロン フロアブル <sup>®</sup> )	ミルベ メクチン (コロマイト 水和剤 <sup>®</sup> )	エマメクチン 安息香酸塩 (アフーム 乳剤 <sup>®</sup> )
	×2,000	×1,000	×1,000	×1,000	×1,000	×2,000	×2,000
長浜市湖北町	80.8	87.1	100	-	88.5	-	95.8
東近江市曾根町	69.8	63.4	80.9	-	-	60.0	96.4
竜王町	-	91.3	63.5	80.5	-	97.3	94.3

表中の「-」は検定未実施を示す。

補正死虫率 (%) = {(無処理区の生存率-処理区の生存率) / 処理区の生存率} × 100

## (2) コナガの薬剤抵抗性遺伝子診断

### ア 目的

コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいことから難防除害虫となっている。また、近年、全国的にジアミド系剤（クロラントラニリプロール、フルベンジアミドなど）抵抗性コナガの発生が確認されている。本県においても、葉片散布法の結果、効果が劣り、抵抗性を有する可能性のある薬剤が確認された。そこで、県内5地点の予察灯に誘殺された個体群を用いて、ジアミド系剤（クロラントラニリプロールおよびフルベンジアミド）に対する抵抗性遺伝子診断を実施した。

### イ 方法

#### (ア) 供試虫

2018年5月に県内5地点（大津市里、守山市矢島町、近江八幡市安土町大中、長浜市難波町、高島市今津町日置前）に設置された予察灯に誘殺されたコナガを検定に用いた。

#### (イ) 抵抗性遺伝子診断

コナガのDNAを抽出し、抵抗性型、感受性型および共通型の3種類のプライマペアを混合したプライマ-ミックスを作成し、マルチプレックスPCRに用いた。得られたPCR産物を電気泳動し、遺伝子型を判定した。

### ウ 結果の概要

調査した5地点全てにおいて抵抗性個体群が確認された（表）。抵抗性個体の割合は、地点によって大きく異なり、県内5地点の中で、近江八幡市安土町大中の予察灯に誘殺されたコナガでジアミド抵抗性個体の割合が最も高かった。

表 コナガのジアミド系剤抵抗性に関する遺伝子診断結果

予察灯の設置地点	誘殺日	個体数	抵抗性遺伝子型			表現型頻度	
			S/S	S/R	R/R	感受性	抵抗性
						(S/S,S/R)	(R/R)
大津市里	5/1~5/17	14	7	6	1	0.93	0.07
守山市矢島町	5/2~5/22	10	4	5	1	0.90	0.10
近江八幡市安土町大中	5/13~5/27	15	8	3	4	0.73	0.27
長浜市難波町	5/1~5/20	9	5	2	2	0.78	0.22
高島市今津町日置前	5/1~5/21	12	6	4	2	0.83	0.17

表中のアルファベット「S」はジアミド感受性、「R」はジアミド抵抗性を示す。

平成30年度植物防疫事業年報  
発行 平成31年(2019年)3月  
滋賀県病害虫防除所

〒521-1301 近江八幡市安土町大中516

TEL : 0748-46-4926、6160

FAX : 0748-46-5559

Email : GC70@pref.shiga.lg.jp

<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/index.html>